

平成 21 年度『学生による授業評価』集計結果

教育改善委員会

目次

1. はじめに.....	5
2. 部局からのコメント.....	7
2.1 教育学部.....	7
2.2 経済学部.....	7
2.3 医学部医学科.....	8
2.4 歯学部.....	8
2.5 薬学部.....	9
2.6 工学部.....	10
2.7 環境科学部.....	10
2.8 水産学部.....	11
2.9 医学部保健学科.....	12
2.10 教育学研究科.....	12
2.11 生産科学研究科.....	12
2.11.1 工学系.....	12
2.11.2 水産系.....	13
2.11.3 環境系.....	13
2.12 国際健康開発研究科.....	13
2.13 医歯薬学総合研究科.....	14
2.13.1 博士課程・博士後期課程について.....	14
2.13.2 熱帯医学専攻について.....	14
2.14 熱帯医学研究所.....	14
3. 科目委員会からのコメント.....	16
3.1 教養セミナー科目.....	16
3.2 健康・スポーツ科学科目.....	16
3.3 外国語科目.....	16
3.4 教養特別講義.....	17
3.5 情報処理科目（情報処理入門）.....	17
3.6 情報処理科目（コンピュータ入門）.....	17
3.7 人文・社会科学科目.....	18
3.8 人間科学科目.....	18
3.9 自然科学科目.....	18
3.10 総合科学科目.....	18

3.11	留学生用科目（日本語）	19
4.	カテゴリー別集計結果	20
4.1	実施状況	20
4.2	全学教育	21
4.2.1	教養セミナー	21
4.2.2	健康・スポーツ科学科目（健康科学）	24
4.2.3	健康・スポーツ科学科目（演習）	25
4.2.4	外国語科目	27
4.2.5	教養特別講義	29
4.2.6	情報処理科目（情報処理入門）	30
4.2.7	情報処理科目（コンピュータ入門）	32
4.2.8	人文・社会科学科目	34
4.2.9	人間科学科目	35
4.2.10	自然科学科目	36
4.2.11	総合科学科目	37
4.2.12	留学生用科目（日本語）	40
4.2.13	全学（その他）	42
4.3	教育学部	43
4.3.1	講義	43
4.3.2	演習・実験・実習・実技	44
4.4	経済学部	46
4.4.1	講義	46
4.4.2	演習・実験・実習	47
4.5	医学部医学科	48
4.5.1	科目	48
4.5.2	教員	51
4.6	歯学部	53
4.6.1	講義	53
4.6.2	演習・実験・実習	54
4.7	薬学部	56
4.7.1	講義	56
4.7.2	演習・実験・実習	58
4.8	工学部	59
4.8.1	講義	59
4.8.2	演習	61
4.8.3	実験・実習	63

4.8.4	卒業研究	65
4.9	環境科学部	66
4.9.1	講義	66
4.9.2	演習・実験・実習（環境政策）	69
4.9.3	演習・実験・実習（環境保全設計）	70
4.10	水産学部	72
4.10.1	概論・基礎	72
4.10.2	コース	75
4.10.3	実験・実習	78
4.10.4	その他	81
4.10.5	卒業研究	82
4.11	医学部保健学科	83
4.11.1	講義	83
4.11.2	演習・実験・実習	84
4.12	教育学研究科	86
4.12.1	大学院	86
4.13	生産科学研究科	88
4.13.1	大学院（工学）	88
4.13.2	大学院（水産）	90
4.13.3	大学院（環境）	91
4.13.4	大学院（後期）	93
4.13.5	修士論文	94
4.14	国際健康開発研究科	95
4.14.1	大学院	95
4.15	医歯薬学総合研究科	97
4.15.1	大学院（医）	97
4.15.2	大学院（薬）	98
4.15.3	大学院（特別コース）	99
4.15.4	大学院（熱研：講義）	101
4.15.5	大学院（熱研：実習）	103
4.16	熱帯医学研究所	105
4.16.1	熱帯医学研究所研修課程	105
5.	全学共通項目集計結果	106
5.1	実施状況	106
5.2	大学全体	107
5.3	全学教育	109

5.4	教育学部	111
5.5	経済学部	113
5.6	医学部医学科	115
5.7	歯学部	117
5.8	薬学部	119
5.9	工学部	121
5.10	環境科学部	123
5.11	水産学部	125
5.12	医学部保健学科	127

1. はじめに

本学では、平成 14 年度から全授業科目を対象として「学生による授業評価」を実施している。「学生による授業評価」の目的は、『学習に対する学生の自覚及び意欲を引き出すとともに、教員個人又は学部等による教育改善を図り、もって本学における教育の質の向上に資すること』であり、『本学の教育に関する説明責任を果たすため、この授業評価結果を適切な方法により学内外に公表すること』と、「学生による授業評価の実施に関する申合せ」に定めている。

本学では「学生による授業評価」を総括的に捉えるために全学共通項目を設けている。この全学共通項目に加え、全学教育（1～2 年次生）においては科目別追加項目を、専門教育においては部局別追加項目をカテゴリー（評価項目の集まり）として設定している。さらに担当教員は、授業評価毎に個別の追加項目を加えることもできる。

平成 21 年度においては 3,572 件（通期 318 件、前期 1,937 件、後期 1,317 件）の「学生による授業評価」が実施された。表 1 はこれらの実施状況である。

表 1 平成 21 年度「学生による授業評価」の実施状況

	実施数	有効回答数
通 期	318 (119)	1,931 (371)
前 期	1,937 (130)	66,284 (1,881)
後 期	1,317 (106)	46,794 (1,108)
年度合計	3,572 (355)	115,009 (3,360)

()は内数でオンラインによる回答形式

これら 3,572 件のうちカテゴリー別集計対象のカテゴリーで実施された「学生による授業評価」は 3,572 件で、全学共通項目を含んで実施された「学生による授業評価」は 1,722 件である。それぞれの実施状況を表 2 および表 3 に示す。

表 2 カテゴリーを用いた「学生による授業評価」の実施状況

	実施数	有効回答数
通 期	318	1,931
前 期	1,937	66,284
後 期	1,317	46,794
年度合計	3,572	115,009

表 3 全学共通項目を含んだ「学生による授業評価」の実施状況

	実施数	有効回答数
通 期	10	417
前 期	941	46,100
後 期	771	33,425
年度合計	1,722	79,942

また、各部局別の授業評価科目実施率は、49.3%～100.0%となっており、大学全体での実施率は83.3%となっている。表 4は、各部局別の実施率である。なお、表 4の実施科目数は全学的に実施された『学生による授業評価』の他、各部局および教員個人が実施した授業評価を含んだものとなっている。

表 4 各部局の授業評価科目実施率

部局名	対象科目数	実施科目数	実施率(%)
全学教育	859	817	95.1%
教育学部	874	833	95.3%
教育学研究科	294	256	87.1%
経済学部	338	224	66.3%
経済学研究科	67	33	49.3%
工学部	552	524	94.9%
環境科学部	245	184	75.1%
水産学部	227	214	94.3%
生産科学研究科	595	344	57.8%
医学部	73	45	61.6%
歯学部	115	65	56.5%
薬学部	100	94	94.0%
保健学科	270	240	88.9%
医歯薬学総合研究科	164	96	58.5%
国際健康開発研究科	28	28	100.0%
大学全体	4,801	3,997	83.3%

本報告では、表 2 で取り上げた 3,572 件の授業評価結果についてはカテゴリー別の集計結果を、加えて、表 3 で取り上げた 1,722 件の授業評価結果については大学全体および部局別の集計結果と 3 年間の推移を示し、本学における教育改善への取り組みを支援する。

2. 部局からのコメント

2.1 教育学部

2.1.1 カテゴリー別集計結果について

(1) 講義の共通項目について

- ・全ての設問において、肯定的な評価（そう思う、どちらかといえばそう思う）が 75.4% 以上（20 年度は 69.3%）を占めており、講義に対する全体的な評価の向上が見られる。
- ・設問 2「授業は目的達成のため計画的に進められた。」においては肯定的な評価が 87.1%（20 年度は 83.7%）を占めており、授業の計画的な実施が更に心がけられた結果と言える。
- ・設問 5「自分は、シラバスに記載された授業目標を達成することができた。」においては肯定的な評価が 75.4%（20 年度は 69.3%）に向上しているが、更に達成度が高まるような工夫が求められる。

(2) 演習・実験・実習・実技（以下、演習等と記す）の共通項目について

- ・全ての設問において、肯定的な評価（そう思う、どちらかといえばそう思う）が 83.0% 以上（20 年度は 83.2%）を占めており、演習等に対する全体的な評価は昨年同様高いと言える。
- ・設問 8「この授業を通して、新しい知識・思考法・技術・技能等を習得できた。」においては肯定的な評価が 89.9%（20 年度は 92.8%）を占めており、演習等の授業の効果は昨年同様高いと言える。

2.1.2 全学共通項目集計結果について

(1) 共通項目に関する過去 3 年間の推移について

- ・全ての設問において、肯定的な評価（そう思う、どちらかといえばそう思う）の向上が見られ、昨年同様授業改善が功を奏しつつあると言える。

2.2 経済学部

本学部は、①広い教養と専門的知識、②情報処理・計量的処理・コミュニケーション等の知的技術をもち、③知識と知的技術を駆使して問題解決方法を生み出す思考能力をもった『21 世紀が求める実践的エコノミストの育成』を教育理念としている。本学部での開講科目のうち、専門科目は①や②と関連し、演習科目は①と②に加えて③とも関連しているといえるだろう。

本学部学生による講義科目の授業評価結果は、過去 3 年間毎年改善してきており、平成 21 年度は、シラバスの記述内容の適切さ（設問 1）、計画的な授業進行（設問 2）の肯定的回答が 80%を超え、教授方法の適切さ（設問 3）、講義の総合的満足度（設問 7）も肯定的回答が 70%台になった。しかし、学生が質問や相談をしやすい環境・雰囲気作り（設問 4）、学生自身の授業目標の達成度（設問 5）、学生が学習意欲を喚起されたかどうか（設問 6）

は肯定的回答が未だ 60%台であり、今後一層の改善努力を要することが分かる。特に、学生が学習意欲を喚起されたかどうか（設問 6）は、否定的回答が 11.7%（2. どちらかといえば そう思わない 6.5% 1. そう思わない 5.2%）であり、講義内容の面白さ・興味深さを学生に十分に伝えることができていないことが分かる。原因として、本学部の昼間コースの全講義科目 91 科目中、履修人数 100 名以上の大規模クラスが 60 科目（約 66%）あり、その環境・雰囲気作りが困難なことが少なからず影響していると思われる。また、教授方法に関する全学 FD の活用や学部 FD の開催が不十分なことも一因であると思われる。今後は、FD において、学習意欲を喚起する技術について研修を行うなどの措置が必要であると思われる。

演習科目（ゼミナール）の授業評価結果は、受講生全体の約 90 パーセントの者が、すべての設問に対して肯定的回答（5. そう思う, 4. どちらかといえばそう思う, と回答）をしている。このことから、専門的知識の学習や情報処理・計量的処理・コミュニケーション技術等の修得、それを踏まえての問題解決（卒業論文）という専門ゼミから卒研ゼミへとつながる一連の演習科目の流れが学生に非常に高く評価されていることが窺われる。ただし、演習担当者による適切な助言（設問 5）と、学生が学習意欲を喚起されたかどうか（設問 6）が昨年よりポイントを若干落としているので、参加学生の様子にもっと気を配るなどの配慮が必要と思われる。

2.3 医学部医学科

(1) 共通項目について

設問 1, 2, 3 については肯定的評価がそれぞれ 84.8%, 83.8%, 78.2%であり、シラバスの適切性、授業目的達成のための計画性および講義方法の適切性については高く評価されているとあってよい。

一方で、設問 4 にあるように学生が質問しやすい環境作り、授業目標達成感学習意欲については肯定的評価が医学科（科目）では 69.9%と昨年同様に若干低く、学生の授業への参加意識をより高めるための工夫が必要と思われる。

(2) 学生の積極性について

学生の積極性などを調査するための設問 16 の項目を設けたが、この設問に対しては 87.2%が肯定的であり学生の意欲がうかがえた。

(3) 成績との相関について

医学科（科目）設問 5, 12, 17 については肯定的評価がそれぞれ 58.2%, 61.3%, 28.1%と他の設問の肯定的評価と比べ低い数値であり、成績の結果と授業評価結果との関係には相関があるように思われるが、分析にはデータの蓄積が必要であると思われる。

2.4 歯学部

講義科目は 7 設問中すべてにおいて評価 5（そう思う）が最頻値であった。前年度では 4 設問において評価 5 が最頻値であり、前々年度においては全設問において評価 4（ほぼそう

思う)が最頻値であったことから年々改善している。共通項目の評価結果の過去3年(2007-2009)の推移は、評価5(そう思う)の回答が年ごとに増加しており、改善している。この傾向は大学全体でも同様ではあるが、2009年度で見ると、項目1~7すべての項目で歯学部の評価5の回答率が、全学のそれらを5.6~12.2%(7項目平均8.6%)上回っており、歯学部の教育が歯学部学生に、より肯定的に受け入れられている証拠である。

演習、実験、実習科目では全10設問において評価5(そう思う)が50%を超えており、こちらも前年度、前々年度から徐々に上昇している。大学全体に比べて高い理由は、歯学部では全て必修科目であるということも考えられる。また、年々改善傾向にあるのは全学的に見ても同様の傾向であることから、学生の気質の変化にもよるかもしれない。いずれにせよ、全体としてほぼ満足できる状態である。

これらの評価が毎年改善してきている要因としては以下のことが考えられる。

(1) 教員の多くがFDに積極的に参加している。

(2) 実験設備(麻酔科自習用マネキン、病理用顕微鏡、生化学実験用分光光度計、歯科臨床実習室マルチメディア機器導入(H18)および切削器具整備(H19,20)等の更新があった。

(3) 5年生8科目でのPBL授業を導入(H20)した。

(4) H21年度より医歯薬共修というユニークな形式で、五島における「離島歯科保健医療実習」を臨床実習生全員を対象に開始した。

また外部要因として全国統一の共通試験(CBTとOSCE)がH19年度より本格導入され、当部局では5年生がこれを受験している。そのため、学生、教員ともわかりやすい目的ができ、授業に対する取り組みにより真剣さを増す結果となったのかもしれない。

一方、評価1(そう思わない)、評価2(どちらかというと思わない)は例年変化が少なく併せて3~7%程度で推移している。今後は、これら感想をもつ学生を減らすことが重要である。また、授業評価の実施率は8割程度である。授業形態や実施の時期が様々であり、100%の実施は困難かもしれないが、実施率は更に向上させるべきであろう。全ての教員が教育の目標、計画、方法、評価の一連のつながりを十分に意識し、学生のモチベーションを上げ、理解しやすい授業や実習を実施することが重要と思われる。この「授業評価の公開」が各教員へのよいフィードバックになることを期待する。

2.5 薬学部

薬学部の講義科目に於いては、2007年から2009年の3年間で、7つの共通評価項目の全てについて「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合計した割合が増加している。教員の真摯な取り組みによる授業改善の効果が「学生による授業評価」集計結果に表れている。特に「シラバス」、「授業計画」、「教え方」の評価は高く、概ね8割~9割の学生が高く評価している。「雰囲気」、「学習意欲の喚起」、「授業の満足度」に於いてはやや劣る評価であったが、7割程度の学生が高く評価している。

唯一「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合計した割合が6割5分程度であ

ったのは、「授業目標の達成感」であった。これは薬学部の授業担当教員が目標とするレベルや、薬学部学生の意識の高さに基づいているものであり、問題ないと思われる。実際、この項目においても「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」を合計した割合は7.7%であり、否定的な回答は少なかった。

薬学部独自に設定した項目である「講義の進度」、「講義の分量」、「どこが重要なポイントか良くわかった」については「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合計した割合が74-78%であり、学生の評価は高い。

演習・実験・実習に対する学生の評価は非常に高く、「進度」、「分量」、「重要なポイント」、「雰囲気」、「内容の理解」の5つの共通項目、いずれも「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合計した割合が83-92%であった。

以上のように、薬学部の授業評価の統計値としての結果は悪くなく、今後も充実した授業内容の継続が期待されている。

2.6 工学部

平成21年度の工学部の授業評価実施率は94.9%であった（6ページ表4参照）。授業評価の対象科目数が他部局と比較してかなり多いにもかかわらず95%近い実施率を実現できたのは、組織をあげて授業評価を実施し、授業改善に役立てようとする工学部教員の意識の現れであろう。評価結果についても、全学共通評価項目に関する評価結果の過去3年間の推移（122ページ図5.9.2参照）によれば、設問1から設問7の全ての項目で肯定的な意見が増加しており、工学部で実施されている全ての授業科目の総合評価は年々高まっている。これこそ工学部教員の継続的な授業改善の成果と考えられる。一方で、学期終わりに集中することが多い現在の授業評価アンケートのあり方や、膨大な学生からの声をいかに授業改善にフィードバックするのかなど、今後も議論が必要な課題も多く残されている。

7つの全学共通評価項目において「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と回答した肯定的評価が60%を越えたものは4項目であり、授業目標の達成と学習意欲の喚起に関する2つの質問に対しては、肯定的評価が55%程度であった。より理解を促進し、知的好奇心をかき立てる工夫が必要であろう。また「この授業の予習・復習をおこなった」との質問に肯定的回答をした学生は50%に達していない。このデータをそのまま解釈すれば、自己学習を推進して工学部学生が自ら学ぼうとする意識の変革と学習環境の整備が急務と言えるが、「復習」中心の学習でその科目の目標を達成できる科目も多く、「この授業の予習、あるいは復習をおこなった」に設問を変更することも一案かと思われる。

2.7 環境科学部

学部＜共通項目＞においては、シラバスの内容の適切さや計画的な授業、担当者の教え方や熱意については概ね肯定的な評価を得ている。過去3年間の推移を見ると、いずれの項目においても肯定的な評価が年々増加している状況にある。しかし、効果的に学生の参加を促したか、適切な助言を与えたかといった点については、満足度としてはまだそれほ

ど高くないので、今後も学生の満足を高めるよう授業の充実に努めたい。＜演習・実験・実習＞においては、概ね8割以上の肯定的な回答が得られた。実験や実習の際に望まれる安全性や設備等では高い評価を得ており、改修後の評価が反映される来年度では、更に高い評価が予想される。一方、提出物（レポート）の添削や返却を心掛けていたかという点と、学生に適切な助言を与えて相談に乗ってくれたかという点でスコアがやや低くなっている。今後、改善に努める。

2.8 水産学部

(1) 授業評価実施率

水産学部の実施率は大学全体（83.3%）を10ポイント以上（94.3%）上回り、意識の高さが伺える。長崎大学水産学部・水産学プログラム（NUEPFS）の取り組みの表れかも知れない。

(2) カテゴリー別集計結果について

概論・基礎科目、また、コース科目においては、シラバスの内容（設問：シラバスは、授業の目標や計画および評価方法を適切に示していた。）、授業の目的達成（設問：授業は目的達成のため計画的に進められた。）や授業内容の体系に関して高い評価が得られている。一方、学生による図書館の利用（設問：この授業を理解するために図書館を利用した。）、文献の利用（設問：教科書・参考書を自習に役立てた。）や、理解の徹底（設問：授業から得た知識や技術を論理的に記述でき、第三者に説明できる。）に関しては、例年ながら低い評価となっている。

この結果を単純に解釈すると、「提供される授業のアウトラインはある程度評価されるものの、それを受講する学生側の積極的な姿勢が欠如している。」と言えるかもしれない。現在、全学的にFDが重要視され、教員による授業改善が注目され推し進められている反面、学生側は受動的になっている姿が表れた可能性がある。しかしながら、水産学部では教員が独自の講義用資料を作成し、配布していることも図書館利用の低さの原因の一旦とも考えられるが、いずれにせよ、学生自身による自主的な取り組みを強く期待する。

(3) 実験実習の集計結果について

実験実習においても、概して講義と同様な傾向がみられた。すなわちシラバスの適正や計画性は評価が高かったが、学生の授業目標達成度や図書館を利用するなどの自主的な勉学意欲に欠けている傾向にあった。一方、教員は、学生が質問しやすい環境や雰囲気をつくっていることは評価できる。

(4) 全体として

デジタル的なマークシート用紙やオンライン入力による調査結果を過信することなく、アナログ的に学生と教員との親密なコミュニケーションを通して、授業改善の効果を現場の視点で把握し、それを生かすような努力を今後も継続して行うことが重要であると思われる。

2.9 医学部保健学科

- ・授業評価科目の実施率は88.9%（対象科目数270，実施科目数240）であり，大学全体での実施率83.3%（49.3%～100%）を考慮すると良好な実施率であった（表4；P6）。
- ・講義科目において設問への同意率（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計）が最も高かった項目は設問1「シラバスは，授業の目標や計画及び評価方法を適切に示していた」（92.8%）であった。一方，同意率が最も低かった項目は設問5「自分は，シラバスに記載された授業目標を達成することができた」（79.7%）であった（表4.11.1，図4.11.1；P83）。
- ・演習・実験・実習科目において設問への同意率（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計）が最も高かった項目は設問1「シラバスは，学習目標や内容及び評価方法を適切に示していた」（95.6%）であった。一方，同意率が最も低かった項目は設問5「発表をする機会があり，有意義であった」（87.7%）であった（表4.11.2；P84，図4.11.2；P85）。
- ・過去3年間（2007～2009年度）の同意率（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計）の推移をみるとすべての設問（1～7）において同意率は増加していた（図5.12.2；P128）。

2.10 教育学研究科

2.10.1 教育学研究科の共通項目について

- ・設問1～3，6，8において肯定的な評価（そう思う，どちらかといえばそう思う）が80%以上を，設問4，5，7において70%台後半を占めているので，これらについてはおおよそ良い評価が得られたと思われる。
- ・設問9が肯定的な評価が72.0%，設問10が72.3%，設問11が73.7パーセントであり，これらは今後，改善の余地があろう。
- ・設問9は，予習・復習に関わる自学への配慮を受講生が求めていると見ることができるので，改善すべきであるし，またこの点の改善を図れば，おのずと設問1および4の評価もさらに上がる可能性があるあろう。
- ・設問10の「受講生一人ひとりの理解度への配慮」について「そう思う」が38.1%と低いことには，本研究科の性格として実務経験のある現職教諭と実務経験のない進学学生が机を並べる面が影響しているかもしれない。だが，その面は設問11の評価方法の問題ともども，今後の講義者の努力に期待するところである。

2.11 生産科学研究科

2.11.1 工学系

生産科学研究科全体で見れば，対象科目数595に対し，授業評価を実施したのは60%弱の科目にあたる344科目であった。しかし，大学院の学生に対して実施されている科目の中には受講生数が5名にも満たないような少人数科目も多くあり，このような少人数科目で

アンケートを実施することの意義を問う声や、実施の方法に対する疑問の声も聞かれている。一方で、実施されたアンケートの総合評価を見ると、ほぼ全ての項目で肯定的回答が70%を越えている。しかし、「授業担当者は適切な助言を与え、相談にのってくれた」、「新しい知識や考え方などを習得でき、さらに勉強したくなった」という2つの質問に対する肯定的回答は68%程度であり改善の余地があると言えよう。

2.11.2 水産系

(1) 生産科学研究科全体の授業評価実施率は学部の実施率と比べ大幅に下回っており、一見、教員の意識が低いように見える。これは大学院の授業は少人数であることや、携帯電話での評価には反対意見が多いことも原因であろう。

設問（授業を理解できた）に対して、肯定的な解答が80%以上を占め、おおむね良好な結果が得られている。受講生は少人数であるので学生との対話が行われ、理解できているものと考えられる。

(2) 全体として

デジタル的なマークシート用紙やオンライン入力による調査結果を過信することなく、アナログ的に学生と教員との親密なコミュニケーションを通して、授業改善の効果を現場の視点で把握し、それを生かすような努力を今後も継続して行うことが重要であると思われる。

2.11.3 環境系

大学院<共通項目>においては、「授業の理解」は、74%が肯定的評価であり、昨年よりやや上昇している。他の項目もほぼ70%以上で、否定的な回答は少ない。今後さらに学生への適切な助言を与え、授業の理解をさらに高めるよう努めたい。<修士論文>においては、ほとんどの学生が「研究の目的を理解」し、「主体的」に修士論文研究に取り組んでいる。自らの研究活動を「有意義」であったと省み、「プレゼンテーション能力を獲得した」と自己評価する学生を多数輩出した結果は、研究目的の明確な理解と主体的な就学姿勢が大いに関連しているものと考え、今後もこれに沿って指導していく。

2.12 国際健康開発研究科

本研究科はH20年度に設置された新しい研究科であり、大教センターを通じた学生による授業評価は今年が2年目である。本年度の評価項目には、昨年度の評価項目に新たに「授業を理解できたか」を加えている点を除いて同じ評価項目を使用している。

評価結果の全体的傾向は、昨年度と類似しており、最も評価が高かったのは昨年同様「授業担当者は学生が質問を相談しやすい環境・雰囲気づくりを行った」（「そう思う、どちらかといえばそう思う」を合わせて86.4%）であった。これは一学年10人前後（1年生9人、2年生11人）という小規模のコースであることを反映しているためであろう。昨年度と同

様今年度も「自分はシラバスに記載されて授業目標を達成することができた」（「そう思う，どちらかといえばそう思う」を合わせて 60.4%）が評価項目全体の中で一番評価が低かった。昨年度もこの項目が，一番評価が低かった（同上 64.9%）が，この評価項目に関連していると考えられる「授業担当者の教え方は適切だった」に対する評価が，昨年度は「そうおもう，どちらかと思えばそう思う」を合わせて 81.4%であったのが，本年度のそれは 69.7%と低下している。そのため，学生自身が自分の学習の達成度の評価を比較的 low に評価している要因として，教員の教え方が適切でない部分があると考えているのかもしれない。可能であればさらに学生の直接の意見を聞き情報を得て問題点を把握し，改善に結びつけたい。研究科独自で実施している学生のカリキュラムに対するフィードバック（ディスカッションとアンケート）では，本研究科は外部資金を得て国内外の外部講師を招聘して講義，セミナー等を実施するほか，研究科教員の海外出張等が多いことなどから，スケジュール変更が多いことに関して少し不満がきかれたが，そのことと関連する評価項目 2 と 3 は，比較的評価は高かった。

全体としては，「自分はこの授業によって学習意欲が喚起された。」と「総合的にみてこの授業は自分にとって満足できるものである」という評価項目は，ともに「そうおもう，どちらかといえばそう思う」をあわせてそれぞれ 80.3%，75.8%と，昨年同様比較的高い割合を示しているので，総合的にみて，学生が研究科のカリキュラムを通じて総合的に学習意欲を高めていると判断できる。

2.13 医歯薬学総合研究科

2.13.1 博士課程・博士後期課程について

20 年度と大きな変動はなく，いずれの項目についても 80%以上の学生が 4 または 5 の評価をつけていた。高い評価は歓迎すべきことで，これを公表することで大学院入学志願者の増加にも役立つことを期待する。その一方で，学生に批判的思考が欠けているために高評価が出ていることも懸念される。従って，今後も高評価を維持すべく努力する一方，学生からの具体的な要望や指摘には注意していきたい。

2.13.2 熱帯医学専攻について

設問 1～5 全てに対し，75.9%～81.7%で「そう思う」が選択されており内容，講義量，提示方法において，概ね満足している結果となっている。今後もこれを継続し，更に改善するよう努める。

2.14 熱帯医学研究所

カリキュラムをはじめ研修生から全般に良好な評価が得られ，大きな問題なく実施できたと思われる。2005 年度以降変更のあった分野横断的カリキュラム構成，コーディネータ

一の設置，試験の実施等についても，よい方向で定着しつつあるようである。しかし一方で，例年類似した内容の改善要望が出されていることも事実である。講義内容や講師の調整は難しい部分もあるが，各分野に協力を仰ぎながら可能な限り反映させる必要がある。

3. 科目委員会からのコメント

3.1 教養セミナー科目

教養セミナー評価項目は、教養セミナーの4つの到達目標「①知的活動への動機付け（設問1）、②科学的思考方法と学習・実験のデザイン能力（設問2-5）、③レポートとプレゼンテーション、ディスカッションによる自己表現力（設問6-14）、④学生間、学生と教員間のコミュニケーション力（設問15-16）」と目標以外の基本データ（設問17-19）に対応している。全ての設問項目とも60%以上が肯定的評価を示しており、教養セミナーの到達目標は概ね達成されているといえるだろう。とりわけ、設問1-7、12、14-16については肯定的評価が80%以上で、設問8、13についても80%であった。一方、設問9-11では、他の評価項目と比べて若干肯定的評価が低くようで、61-73%の評価であった。全項目の中で最も低かったのは設問11（61%）であった。これらのことから、学生は他の学生との授業内でのディスカッションの機会があったものの実際は行っていないことや、とりわけ教員とのディスカッションは機会もなく、また実際に行わなかったと評価する学生が相対的に多いことが分かる。教員のディスカッションを促す更なる働きかけが必要と思われる。設問17を総合的評価と見なせば、肯定的評価は78%で、この評価からも概ね科目目標は達成したものと考えられるだろう。加えて、設問18、19の評価から、学生は学部混成型セミナーの継続に肯定的といえる。

3.2 健康・スポーツ科学科目

健康・スポーツ科学科目は「健康科学（講義形式）」と「スポーツ演習（演習形式）」から成る。

健康科学の授業評価は概ね良好であるが、設問4「授業担当者は学生が質問や相談をしやすい環境・雰囲気作りを行った」に対する評価が低い傾向にあった（他の科目と比べて著しく低い結果ではない）。これは講義形式であること、クラスサイズが大きいこと（100～200名程度）が原因のひとつであると考えられる。平成23年度は、クラス数を増やす予定であるのでクラスサイズを小さくして改善を目指す（70～90名程度）。

スポーツ演習は実際に体を動かしながら実施する科目である。講義形式とは異なり、学生と教員の双方向または学生同士のコミュニケーションが図りやすい特長を有する。また、クラスサイズが30名程度と適切である。そのため授業評価項目全般にわたって評価は良好であった。これはプラクティカルな学問分野の特長でもある。

3.3 外国語科目

外国語科目に関するコメントは「そう思う」「思う」の合計が、「シラバスの適切さ」（設問1）、「視聴覚教材の利用や音声面での訓練」（設問2）、「授業の進度」（設問4）、「授業担当者の授業に対する熱意」（設問7）の4項目に関しては80%を超え、全体的に高評価を受けていると考えられる。

ただし、「授業の内容のわかりやすさ」（設問3）、「外国語を使う機会」（設問5）、「適切な助言と質問への適切な回答」（設問6）「自発的な学習の促し」（設問8）の4項目に関しては78～79%と、80%に至っていない。

また、学生の状況に関しては「出席」（設問11）に関しては88%と真面目に授業に参加しているものの、「授業への意欲的な取り組み」（設問10）は76%、特に「予習・復習」（設問9）は69%と非常に低い評価となっている。

以上のことから、学生に対し、自習学習を促すだけではなく、課題提出や小テストの実施等で、予習・復習を徹底させることを目指すよう努力していく必要があると考えられる。また外国語を使う機会を増やし、適切な助言を与えながら、学生の興味を引き学習意欲を高めさせるような授業内容の改善を図るために、CALLシステムの有効活用、及び外国語のFDを活性化させることも重要だと思われる。

今後はすべての評価項目で80%以上の回答が得られるように、さらなる向上を目指し努力したい。

3.4 教養特別講義

設問1-3については肯定的評価がそれぞれ81%、81%、74%であり、シラバスの適切性、授業目的達成のための計画性および講義方法の適切性については高く評価されているとあってよい。一方で、設問4-6にあるように学生が質問しやすい環境作り、授業目標達成感、学習意欲については肯定的評価が55-64%と低く、学生の授業への参加意識をより高めるための工夫が必要と思われる。設問7の総合的評価に対する肯定的評価は約66%で、概ね学生の2/3は授業に満足していると考えられるものの、どちらともいえない(21%)を含めて約1/3が満足していない評価結果は、設問4-6の結果を反映しているものと考えられる。授業の満足度向上を目指していきたい。

3.5 情報処理科目（情報処理入門）

各設問に対して、69%から85%が肯定的な評価を行っており、設問1, 2, 8, 9, 10については、肯定的な評価が80%を超えていた。特に授業内容の目標の一つである設問9の「ワープロ、表計算ソフト、プレゼンテーションソフトの操作方法を適切に学べた」については85%の評価を得た。設問6の学習意欲の喚起は、昨年度67.6%であったが、今年度は68.6%であり、若干好評価となった。

3.6 情報処理科目（コンピュータ入門）

設問8, 9, 11の情報機器の構成・機能、情報通信ネットワーク、情報セキュリティに関する知識や重要性に関する設問が、92%、90%、88%と肯定的な評価であった。一方、学生が質問しやすい環境・雰囲気づくりに関しては、講義形式の授業であることから他の設問と比べると若干低い値となった。

3.7 人文・社会科学科目

設問1の、シラバスの記述の適否については、「そう思う」が5割以上で、「どちらかといえばそう思う」を加えると、9割近くの学生が、一定の評価をしている。

次に、シラバスの記述等をふまえ、授業が計画的に実行されたか否かについて問う、設問2の結果を見ると、ほぼ先のシラバスに関係した問いの結果と一致している。

教え方の適否を問う設問3の結果は、「そう思う」が5割、「どちらかといえばそう思う」を加えると、8割の学生が、一定の評価をしていることが分かる。

設問4の相談・質問のしやすい環境づくりについては、「そう思う」が4割で、「どちらかといえばそう思う」を加えて、7割の学生が一定の評価をしている。改善の余地はありそうではある。

設問5の授業目標の達成については、「そう思う」は3割程度に留まっているが、「どちらかといえばそう思う」を加えれば、7割近くには達する。

設問6の学習意欲の喚起については、「そう思う」が4割程度であるが、「どちらかといえばそう思う」を加えると、7割を超える。

設問8の満足度については、「そう思う」が5割近くあり、「どちらかといえばそう思う」を加えると、8割近くに達する。

3.8 人間科学科目

「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」というポジティブな回答は設問1（シラバスの内容）、設問2（授業の計画性）、設問3（担当者の教え方）で80%を越えていたが、設問5（授業目標の達成）、設問6（意欲の喚起）では70%台で、設問4（質問・相談しやすい雰囲気）では60%台であった。

人間科学科目は生命科学領域の科目が多く、これまでの「専門的すぎる」との学生の意見もあり、設問4（質問・相談しやすい雰囲気）や設問5（授業目標の達成）等でポジティブな回答が他の設問に比べ少なかったと思われる。分かり易い用語での講義など、全学教育としての工夫が必要と考える。

3.9 自然科学科目

設問1,2のシラバスによる授業計画や授業の進め方、設問3の担当者の教え方は8割～7割台後半の高い評価が見られる。一方で設問4,5,6の教室内の質問しやすい雰囲気作り、授業目標の達成度、学習意欲の高まりについては6割台で余り高いとはいえない評価である。自然科学系科目は、1クラス50名に満たない少人数クラスも多く、学生の意欲を更に高める工夫が可能かと思われる。総合評価の設問7は肯定的評価が73%であった。

3.10 総合科学科目

総合科学科目の授業の位置づけは次のようにまとめられる。

教養教育において、特定のテーマについて多方面からアプローチして学習すること

により、総合的にものを見る目を身につけることを目的とする。

総合科学科目は、①創造性・独創性の涵養、②人間性の確立、③総合のための方法論・思考力・学問論の育成、④問題意識の深化、を到達目標とし、特定のテーマについて多方面から総合的にものを見て、創造的な意見を持ち、説明できるようになる。

平成 21 年度の学生による授業アンケートによれば、①の創造性・独創性の涵養については、60%が「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」と回答しており、到達目標を達成している。②の人間性の確立については、設問 11 の「この授業科目によって人間性が豊かになった」で評価すれば、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の計が 60%でこの項目も到達目標を達成している。③総合のための方法論・思考力・学問論の育成については、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の計が 80%に達しており、十分に到達目標を達成している。さらに、④問題意識の深化を設問 12 で評価すると、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の計が 65%でこの項目も目標を到達できたといえる。

設問 14 の「この授業科目によって教養が身に付いた」と設問 15 の「この授業科目は私のこれからの人生にプラスになるであろう」はともに 80%になっており、教養教育の役目を果たしている。

設問 1 から設問 4 は、シラバスと授業の進め方の設問であるが、設問 4 のみが他の設問に比べて、低い結果となっている。この「この授業担当者は、学生が質問や相談しやすい環境・雰囲気作りを行った」が低い原因は、総合科学科目にはオムニバス形式の授業が多いことによるものであろう。

これについては、改善の工夫が必要である。

3.11 留学生用科目（日本語）

共通項目である設問 1 から設問 9 までの全ての設問において、5 段階評価の 5 「そう思う」と 4 「どちらかといえばそう思う」を足すと 90%以上となっている。また、9 つの設問中、6 つの設問において、5 「そう思う」と評価した学生は 80%以上にのぼっている。このことから、留学生用科目「日本語」は受講者から総体的に高い評価を得ていると言えるであろう。

ただし、設問 5 と設問 6 については、5 「そう思う」と評価した学生は 69.5%と 66.1%と 70%を割り込んでおり、他の項目に比較して低い評価となっている。設問 5 は学生の達成感に関するもので、設問 6 は学生の学習意欲喚起に関するものであるが、これらについては何らかの対応策を検討する必要があるかと思われる。ここ数年、海外の協定校からの交換留学生が増加しており、現在、全学教育日本語科目には正規学部生と科目等履修生（交換留学生）が混在している。それぞれのニーズには異なる点もあり、それに対応した授業内容・方法等について今後とも検討していきたい。

4. カテゴリー別集計結果

4.1 実施状況

平成21年度の部局・カテゴリー別の授業評価実施状況は表4.1.1の通りである。

表 4.1.1 授業評価部局・カテゴリー別実施状況

部局名	カテゴリー名	実施数	有効回答数	最小回答数	最大回答数	平均回答数
全学教育	教養セミナー	144	1,402	3	16	9.7
	健康・スポーツ科学科目(健康科学)	10	1,263	54	171	126.3
	健康・スポーツ科学科目(スポーツ演習)	54	1,499	18	38	27.8
	外国語科目	409	14,718	1	60	36.0
	教養特別講義	63	5,920	30	197	94.0
	情報処理科目(情報処理入門)	34	1,221	11	55	35.9
	情報処理科目(コンピュータ入門)	4	59	5	36	14.8
	人文・社会科学科目	46	2,674	3	181	58.1
	人間科学科目	31	2,036	4	182	65.7
	自然科学科目	41	1,748	1	96	42.6
	総合科学科目	18	1,483	11	258	82.4
	留学生用科目(日本語)	7	118	9	25	16.9
	全学(その他)	7	155	9	52	22.1
	小計		868	34,296	7	258
教育学部	講義	386	11,247	1	231	29.1
	演習・実験・実習・実技	58	697	1	58	12.0
	小計	444	11,944	1	231	26.9
経済学部	講義	131	8,776	2	194	67.0
	演習・実験・実習	97	853	1	20	8.8
	小計	228	9,629	1	194	42.2
医学部	科目	64	3,736	5	101	58.4
	教員	2	113	47	66	56.5
	小計	66	3,849	5	101	58.3
歯学部	講義	57	2,467	24	50	43.3
	演習・実験・実習	26	1,212	34	52	46.6
	小計	83	3,679	24	52	44.3
薬学部	講義	80	4,073	1	90	50.9
	演習・実験・実習	27	1,003	1	86	37.1
	小計	107	5,076	1	90	47.4
工学部	講義	361	15,998	1	127	44.3
	演習	48	2,147	2	90	44.7
	実験・実習	76	2,428	2	94	31.9
	卒業研究	32	193	1	32	6.0
	小計	517	20,766	1	127	40.2
環境科学部	講義	106	5,160	6	132	48.7
	演習・実験・実習(環境政策)	43	321	1	106	7.5
	演習・実験・実習(環境保全設計)	35	484	1	59	13.8
	小計	184	5,965	1	132	32.4
水産学部	概論・基礎	40	2,775	5	118	69.4
	コース	43	1,483	11	80	34.5
	実験・実習	39	1,044	4	115	26.8
	その他	19	303	3	27	15.9
	卒業研究	49	314	1	27	6.4
	小計	190	5,919	1	118	31.2
医学部保健学科	講義	133	6,090	5	120	45.8
	演習・実験・実習	82	1,346	2	73	16.4
	小計	215	7,436	2	120	34.6
教育学研究科	大学院	47	339	1	19	7.2
	小計	47	339	1	19	7.2
生産科学研究科	大学院(工学)	103	1,264	1	50	12.3
	大学院(水産)	43	100	1	19	2.3
	大学院(環境)	43	149	1	24	3.5
	大学院(後期)	38	88	1	28	2.3
	修士論文	7	28	2	6	4.0
	設問なし	5	60	8	23	12.0
	小計	239	1,689	1	50	7.1
国際健康開発研究科	大学院	28	132	1	9	4.7
	小計	28	132	1	9	4.7
医歯薬学総合研究科	大学院(医)	33	226	1	57	6.8
	大学院(薬)	54	682	1	42	12.6
	大学院(特別コース)	12	41	1	5	3.4
	大学院(熱研:講義)	113	1,301	10	12	11.5
	大学院(熱研:実習)	17	189	10	12	11.1
	小計	229	2,439	1	57	10.7
熱帯医学研究所	熱帯医学研究所研修課程	127	1,851	12	15	14.6
	小計	127	1,851	12	15	14.6
総計		3,572	115,009	1	258	32.2

4.2 全学教育

4.2.1 教養セミナー

(1) 共通項目

- 設問1: 自ら調べて学ぶ機会があった。
- 設問2: 問題意識または問題点の分類と整理についての方法を学ぶ機会があった。
- 設問3: 学習あるいは実験の方法を学ぶ機会があった。
- 設問4: 学内施設（図書館等）を活用する適切な資料収集方法を学ぶ機会があった。
- 設問5: 収集した資料や情報の組み立て方やまとめ方について学ぶ機会があった。
- 設問6: プレゼンテーションをする機会があった。
- 設問7: レポートの作成法について理解できた。
- 設問8: 他の学生とディスカッションをする機会があった。
- 設問9: 私は他の学生とディスカッションを実際に行った。
- 設問10: 教員とディスカッションをする機会があった。
- 設問11: 私は教員とディスカッションを実際に行った。
- 設問12: 授業内で発言する機会があった。
- 設問13: 私は授業内で実際に発言した。
- 設問14: 教員からディスカッションが活発になるような働きかけがあった。
- 設問15: 教員と授業内容についての話をする機会があった。
- 設問16: 他の学生と授業内容についての話をする機会があった。
- 設問17: 「教養セミナー」は今後の大学での学習に有益な授業であると思った。
- 設問18: 「教養セミナー」は今後も続けるべきだと思った。
- 設問19: 「学部混成型」は今後も続けるべきだと思った。

(2) 集計表

表 4.2.1 全学教育(教養セミナー)

	5	4	3	2	1	n
設問1	1,160 82.7%	210 15.0%	21 1.5%	7 0.5%	4 0.3%	1,402 100.0%
設問2	735 52.5%	527 37.6%	114 8.1%	19 1.4%	6 0.4%	1,401 100.0%
設問3	670 47.9%	537 38.4%	146 10.4%	36 2.6%	11 0.8%	1,400 100.0%
設問4	916 65.3%	340 24.3%	103 7.3%	24 1.7%	19 1.4%	1,402 100.0%
設問5	818 58.4%	443 31.6%	97 6.9%	31 2.2%	12 0.9%	1,401 100.0%
設問6	1,082 77.3%	183 13.1%	103 7.4%	13 0.9%	19 1.4%	1,400 100.0%
設問7	658 46.9%	516 36.8%	174 12.4%	39 2.8%	15 1.1%	1,402 100.0%
設問8	729 52.3%	384 27.6%	180 12.9%	53 3.8%	47 3.4%	1,393 100.0%
設問9	643 46.2%	371 26.7%	231 16.6%	73 5.2%	74 5.3%	1,392 100.0%
設問10	509 36.6%	466 33.5%	296 21.3%	67 4.8%	54 3.9%	1,392 100.0%
設問11	437 31.5%	414 29.8%	368 26.5%	82 5.9%	88 6.3%	1,389 100.0%
設問12	848 61.1%	364 26.2%	133 9.6%	28 2.0%	16 1.2%	1,389 100.0%
設問13	765 55.0%	347 24.9%	187 13.4%	55 4.0%	37 2.7%	1,391 100.0%
設問14	712 51.1%	422 30.3%	199 14.3%	33 2.4%	26 1.9%	1,392 100.0%
設問15	634 45.6%	488 35.1%	208 15.0%	36 2.6%	25 1.8%	1,391 100.0%
設問16	768 58.0%	382 28.9%	137 10.3%	22 1.7%	15 1.1%	1,324 100.0%
設問17	612 46.2%	420 31.7%	181 13.7%	66 5.0%	46 3.5%	1,325 100.0%
設問18	577 43.5%	358 27.0%	251 18.9%	80 6.0%	59 4.5%	1,325 100.0%
設問19	742 57.3%	242 18.7%	257 19.8%	31 2.4%	24 1.9%	1,296 100.0%

5 そう思う 4 どちらかといえばそう思う 3 どちらともいえない 2 どちらかといえばそう思わない 1 そう思わない

(3) グラフ

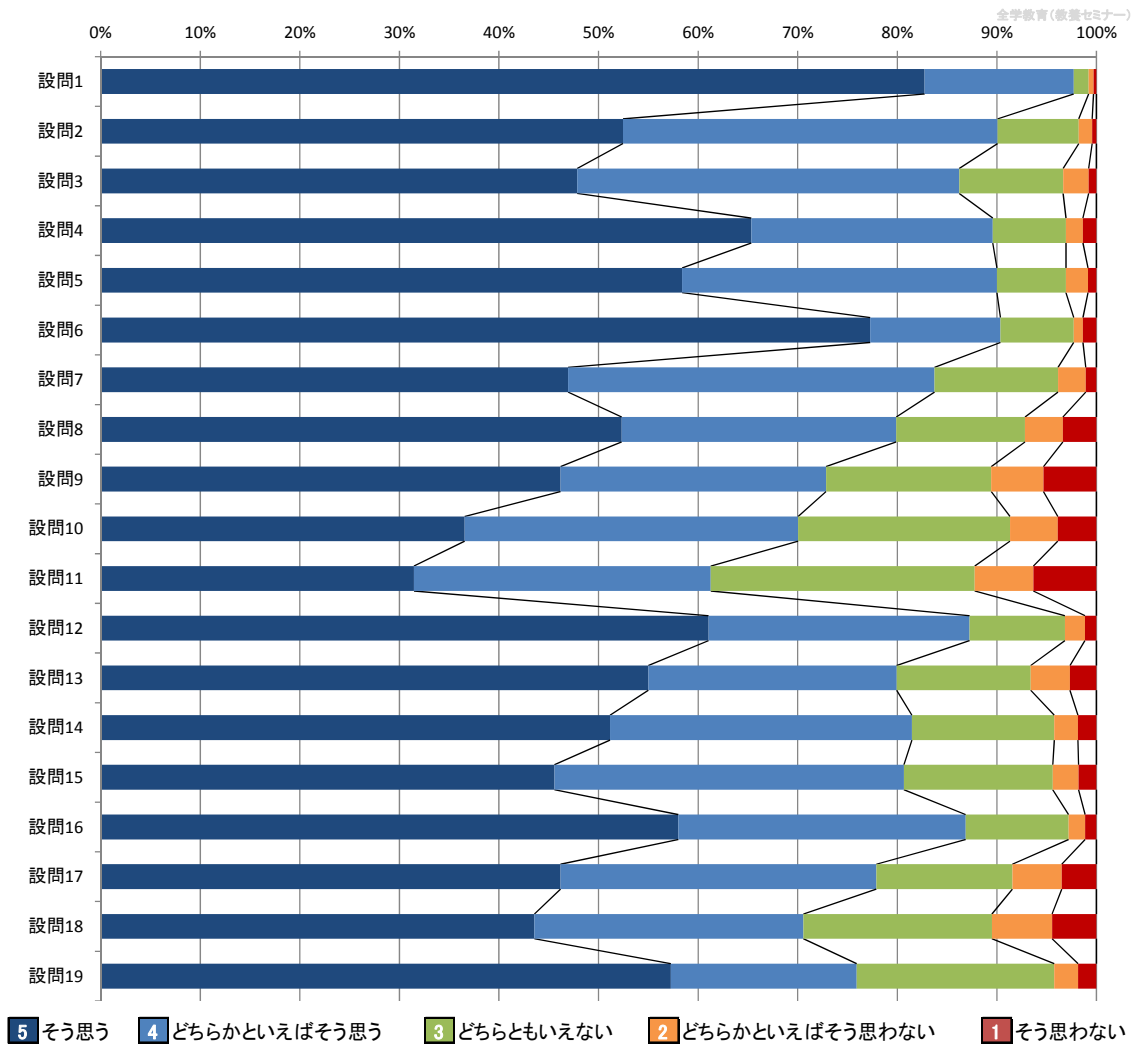


図 4.2.1 全学教育(教養セミナー)

4.2.2 健康・スポーツ科学科目（健康科学）

(1) 共通項目

設問1: シラバスは、授業の目標や計画及び評価方法を適切に示していた。

設問2: 授業は目的達成のため計画的に進められた。

設問3: 授業担当者の教え方は適切だった。

設問4: 授業担当者は、学生が質問や相談をしやすい環境・雰囲気作りを行った。

設問5: 自分は、シラバスに記載された授業目標を達成することができた。

設問6: 自分は、この授業によって学習意欲が喚起された。

設問7: 総合的にみて、この授業は自分にとって満足できるものであった。

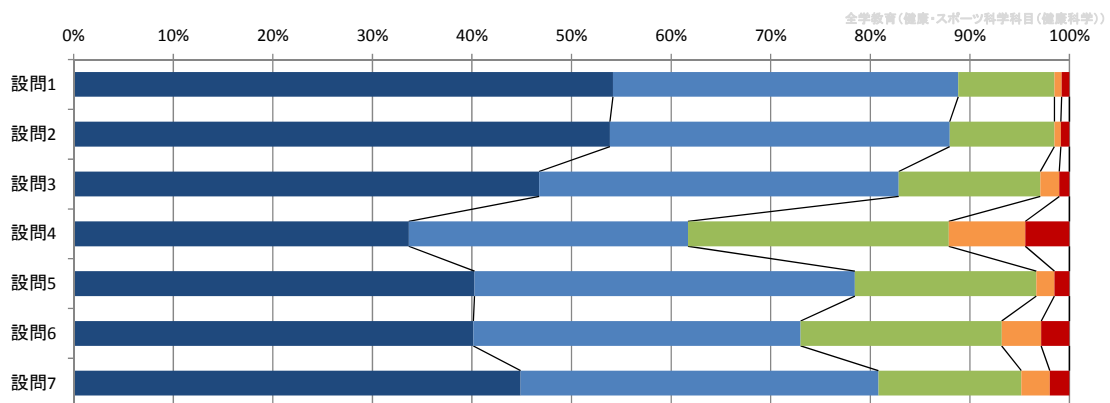
(2) 集計表

表 4.2.2 全学教育(健康・スポーツ科学科目(健康科学))

	5	4	3	2	1	n
設問1	684 54.2%	438 34.7%	122 9.7%	9 0.7%	10 0.8%	1,263 100.0%
設問2	680 53.8%	431 34.1%	133 10.5%	8 0.6%	11 0.9%	1,263 100.0%
設問3	589 46.7%	455 36.1%	179 14.2%	24 1.9%	13 1.0%	1,260 100.0%
設問4	425 33.7%	354 28.0%	331 26.2%	97 7.7%	56 4.4%	1,263 100.0%
設問5	508 40.3%	482 38.2%	230 18.2%	23 1.8%	19 1.5%	1,262 100.0%
設問6	507 40.1%	415 32.9%	255 20.2%	50 4.0%	36 2.9%	1,263 100.0%
設問7	566 44.9%	453 35.9%	181 14.4%	36 2.9%	25 2.0%	1,261 100.0%

5 そう思う 4 どちらかといえばそう思う 3 どちらともいえない 2 どちらかといえばそう思わない 1 そう思わない

(3) グラフ



5 そう思う 4 どちらかといえばそう思う 3 どちらともいえない 2 どちらかといえばそう思わない 1 そう思わない

図 4.2.2 全学教育(健康・スポーツ科学科目(健康科学))

4.2.3 健康・スポーツ科学科目（演習）

(1) 共通項目

- 設問1: 毎回授業の目標がはっきり明示されていた。
 設問2: 自分はこの授業に意欲的に取り組んだ。
 設問3: この授業の学生数は適切であった。
 設問4: この授業に満足した。
 設問5: 器材・用具の使われ方は適切だった。
 設問6: 授業担当者の指導はわかりやすかった。
 設問7: 授業担当者は学生に適切な助言を与えてくれた。
 設問8: 安全に対する適切な指導と配慮がなされていた。
 設問9: 新しい知識や技術を習得できた。
 設問10: 総合的に見て、この授業は自分にとって価値があった。

(2) 集計表

表 4.2.3 全学教育(健康・スポーツ科学科目(演習))

	5	4	3	2	1	n
設問1	958 63.9%	416 27.8%	103 6.9%	15 1.0%	7 0.5%	1,499 100.0%
設問2	1,142 76.2%	299 19.9%	53 3.5%	4 0.3%	1 0.1%	1,499 100.0%
設問3	1,133 75.6%	276 18.4%	63 4.2%	18 1.2%	8 0.5%	1,498 100.0%
設問4	1,121 74.8%	308 20.6%	49 3.3%	16 1.1%	4 0.3%	1,498 100.0%
設問5	1,172 78.2%	274 18.3%	50 3.3%	3 0.2%	0 0.0%	1,499 100.0%
設問6	1,090 72.8%	314 21.0%	77 5.1%	14 0.9%	3 0.2%	1,498 100.0%
設問7	987 65.8%	397 26.5%	96 6.4%	11 0.7%	8 0.5%	1,499 100.0%
設問8	1,017 67.9%	400 26.7%	69 4.6%	12 0.8%	0 0.0%	1,498 100.0%
設問9	960 64.0%	402 26.8%	115 7.7%	15 1.0%	7 0.5%	1,499 100.0%
設問10	1,117 74.7%	308 20.6%	58 3.9%	8 0.5%	4 0.3%	1,495 100.0%

5 そう思う 4 どちらかといえばそう思う 3 どちらともいえない 2 どちらかといえばそう思わない 1 そう思わない

(3) グラフ

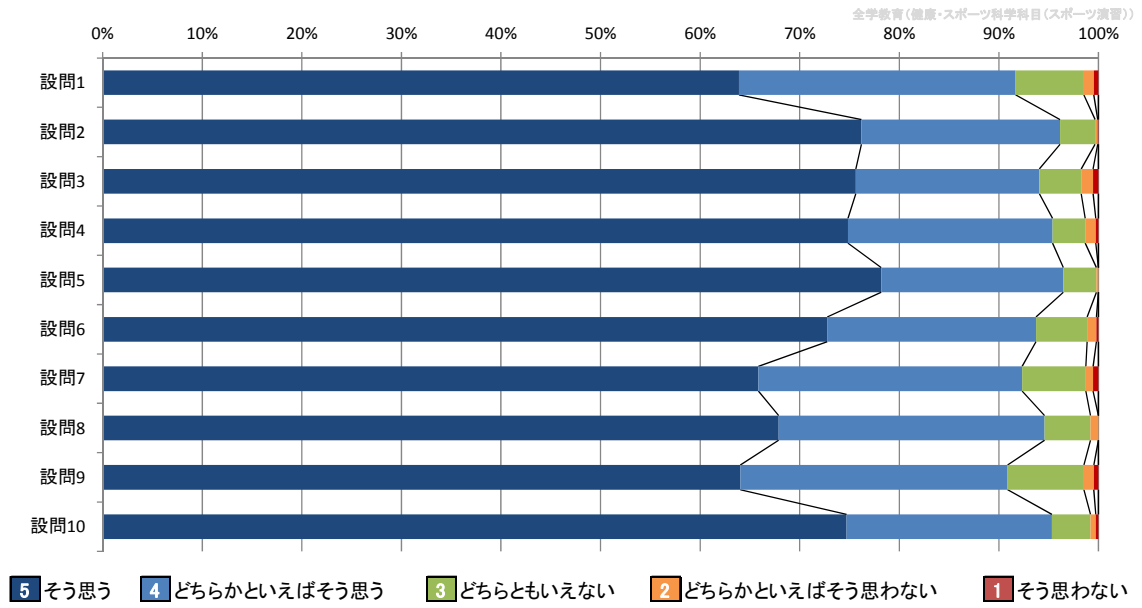


図 4.2.3 全学教育(健康・スポーツ科学科目(演習))

4.2.4 外国語科目

(1) 共通項目

- 設問1: シラバスは授業の目標や内容及び評価方法を適切に示していた。
 設問2: 視聴覚教材や音声教材などを有効に利用したり,あるいは音声面の訓練を有効に行っていた。
 設問3: 授業の内容はわかりやすかった。
 設問4: 授業の進度は適切だった。
 設問5: 授業担当者は効果的に学生に当該外国語を使う機会を与えてくれた。
 設問6: 授業担当者は学生に適切な助言を与え,質問にも適切に答えてくれた。
 設問7: 授業担当者の授業に対する熱意を感じた。
 設問8: 授業担当者は,自発的な学習をうながした。
 設問9: 自分はこの授業の予習・復習を行った。
 設問10: 自分はこの授業に意欲的に取り組んだ。
 設問11: 自分はこの授業に真面目に出席した。

(2) 集計表

表 4.2.4 全学教育(外国語科目)

	5	4	3	2	1	n
設問1	7,482 50.9%	5,329 36.2%	1,557 10.6%	171 1.2%	163 1.1%	14,702 100.0%
設問2	8,060 54.8%	4,293 29.2%	1,580 10.7%	453 3.1%	316 2.1%	14,702 100.0%
設問3	7,000 47.6%	4,663 31.7%	1,836 12.5%	712 4.8%	494 3.4%	14,705 100.0%
設問4	7,430 50.5%	4,698 31.9%	1,775 12.1%	507 3.4%	300 2.0%	14,710 100.0%
設問5	6,961 47.3%	4,550 30.9%	2,274 15.5%	612 4.2%	313 2.1%	14,710 100.0%
設問6	6,589 44.8%	4,852 33.0%	2,441 16.6%	518 3.5%	308 2.1%	14,708 100.0%
設問7	7,521 51.1%	4,697 31.9%	1,815 12.3%	391 2.7%	280 1.9%	14,704 100.0%
設問8	6,532 44.4%	5,159 35.1%	2,290 15.6%	462 3.1%	260 1.8%	14,703 100.0%
設問9	5,073 34.5%	5,112 34.8%	2,992 20.4%	948 6.4%	576 3.9%	14,701 100.0%
設問10	5,779 39.3%	5,356 36.4%	2,550 17.3%	652 4.4%	362 2.5%	14,699 100.0%
設問11	9,331 63.9%	3,523 24.1%	1,291 8.8%	311 2.1%	137 0.9%	14,593 100.0%

5 そう思う 4 どちらかといえばそう思う 3 どちらともいえない 2 どちらかといえばそう思わない 1 そう思わない

(3) グラフ

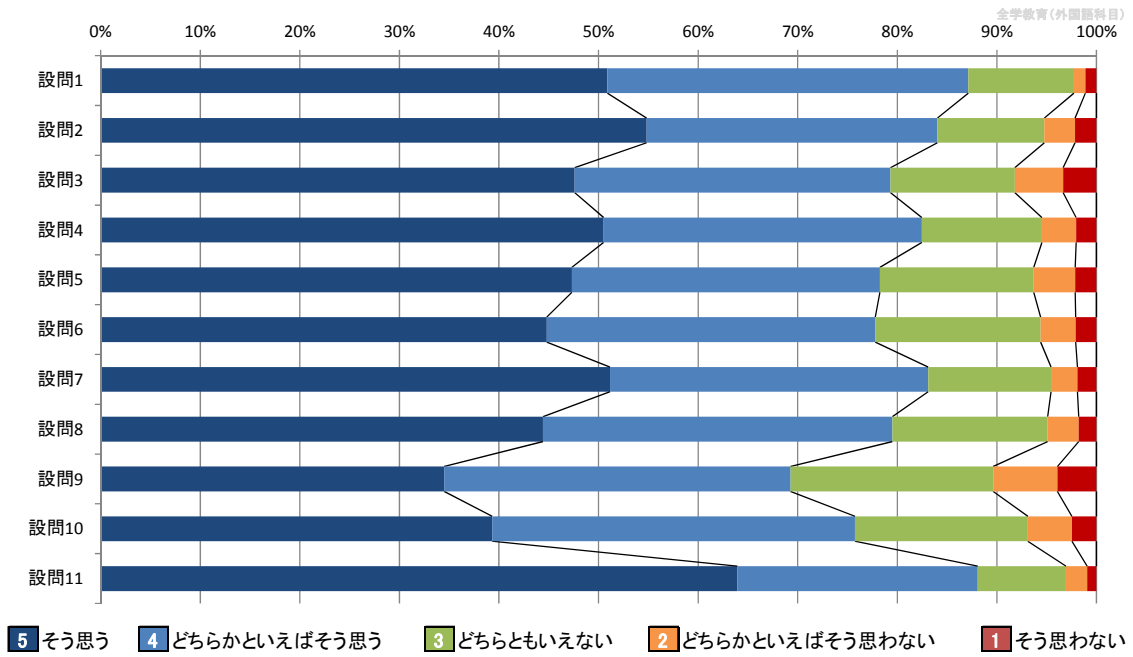


図 4.2.4 全学教育(外国語科目)

4.2.5 教養特別講義

(1) 共通項目

- 設問1: シラバスは、授業の目標や計画及び評価方法を適切に示していた。
 設問2: 授業は目的達成のため計画的に進められた。
 設問3: 授業担当者の教え方は適切だった。
 設問4: 授業担当者は、学生が質問や相談をしやすい環境・雰囲気作りを行った。
 設問5: 自分は、シラバスに記載された授業目標を達成することができた。
 設問6: 自分は、この授業によって学習意欲が喚起された。
 設問7: 総合的にみて、この授業は自分にとって満足できるものであった。

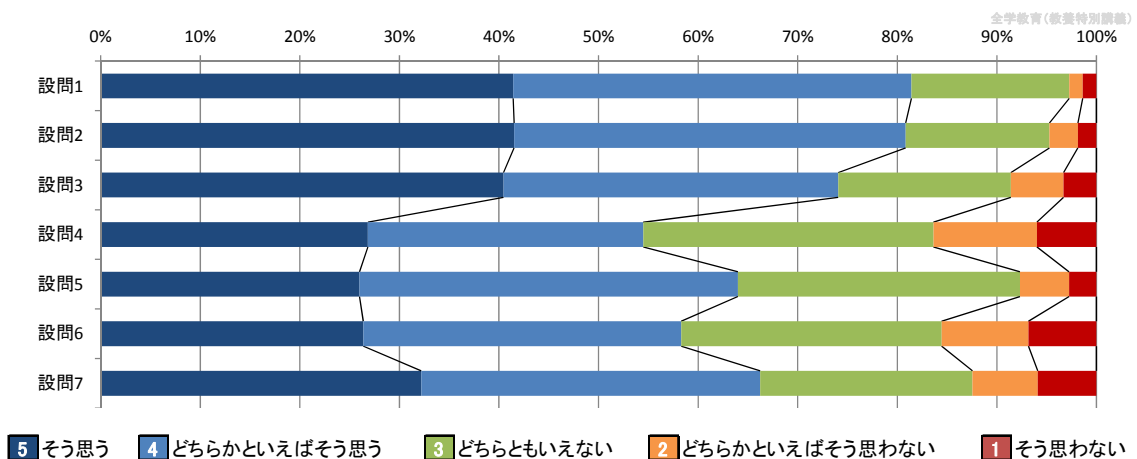
(2) 集計表

表 4.2.5 全学教育(教養特別講義)

	5	4	3	2	1	n
設問1	2,452 41.4%	2,367 40.0%	938 15.8%	80 1.4%	82 1.4%	5,919 100.0%
設問2	2,457 41.5%	2,327 39.3%	855 14.4%	169 2.9%	110 1.9%	5,918 100.0%
設問3	2,392 40.5%	1,987 33.6%	1,026 17.4%	313 5.3%	195 3.3%	5,913 100.0%
設問4	1,586 26.8%	1,635 27.7%	1,722 29.1%	614 10.4%	354 6.0%	5,911 100.0%
設問5	1,536 26.0%	2,246 38.0%	1,674 28.3%	292 4.9%	163 2.8%	5,911 100.0%
設問6	1,560 26.4%	1,888 31.9%	1,546 26.1%	516 8.7%	404 6.8%	5,914 100.0%
設問7	1,903 32.2%	2,013 34.0%	1,260 21.3%	388 6.6%	348 5.9%	5,912 100.0%

5 そう思う 4 どちらかといえばそう思う 3 どちらともいえない 2 どちらかといえばそう思わない 1 そう思わない

(3) グラフ



5 そう思う 4 どちらかといえばそう思う 3 どちらともいえない 2 どちらかといえばそう思わない 1 そう思わない

図 4.2.5 全学教育(教養特別講義)

4.2.6 情報処理科目（情報処理入門）

(1) 共通項目

- 設問1: シラバスは、授業の目標や計画及び評価方法を適切に示していた。
 設問2: 授業は目的達成のため計画的に進められた。
 設問3: 授業担当者の教え方は適切だった。
 設問4: 授業担当者は、学生が質問や相談をしやすい環境・雰囲気作りを行った。
 設問5: 自分は、シラバスに記載された授業目標を達成することができた。
 設問6: 自分は、この授業によって学習意欲が喚起された。
 設問7: 総合的にみて、この授業は自分にとって満足できるものであった。
 設問8: 情報機器や情報通信ネットワークの機能についての知識を得られた。
 設問9: ワードソフト、表計算ソフト、プレゼンテーションソフトの操作方法を適切に学べた。
 設問10: 電子メール等により情報発信ができるようになった。
 設問11: Webの検索機能などを用いて情報の収集・分析等を行えるようになった。
 設問12: 情報セキュリティおよび情報倫理の重要性が理解できた。
 設問13: ティーチング・アシスタントの補助は適切だった。

(2) 集計表

表 4.2.6 全学教育(情報処理科目(情報処理入門))

	5	4	3	2	1	n
設問1	460 40.5%	475 41.8%	172 15.1%	14 1.2%	15 1.3%	1,136 100.0%
設問2	553 48.7%	397 34.9%	138 12.1%	29 2.6%	19 1.7%	1,136 100.0%
設問3	431 37.9%	373 32.8%	215 18.9%	70 6.2%	47 4.1%	1,136 100.0%
設問4	461 40.6%	322 28.3%	243 21.4%	70 6.2%	40 3.5%	1,136 100.0%
設問5	288 25.4%	511 45.0%	267 23.5%	47 4.1%	23 2.0%	1,136 100.0%
設問6	345 30.4%	434 38.2%	249 21.9%	68 6.0%	40 3.5%	1,136 100.0%
設問7	427 37.6%	405 35.7%	200 17.6%	68 6.0%	36 3.2%	1,136 100.0%
設問8	477 42.0%	444 39.1%	175 15.4%	25 2.2%	15 1.3%	1,136 100.0%
設問9	539 47.4%	422 37.1%	128 11.3%	32 2.8%	15 1.3%	1,136 100.0%
設問10	578 50.9%	343 30.2%	174 15.3%	25 2.2%	16 1.4%	1,136 100.0%
設問11	489 43.0%	418 36.8%	190 16.7%	27 2.4%	12 1.1%	1,136 100.0%
設問12	425 37.4%	439 38.7%	212 18.7%	43 3.8%	16 1.4%	1,135 100.0%
設問13	550 48.5%	330 29.1%	200 17.6%	23 2.0%	31 2.7%	1,134 100.0%

5 そう思う 4 どちらかといえばそう思う 3 どちらともいえない 2 どちらかといえばそう思わない 1 そう思わない

(3) グラフ

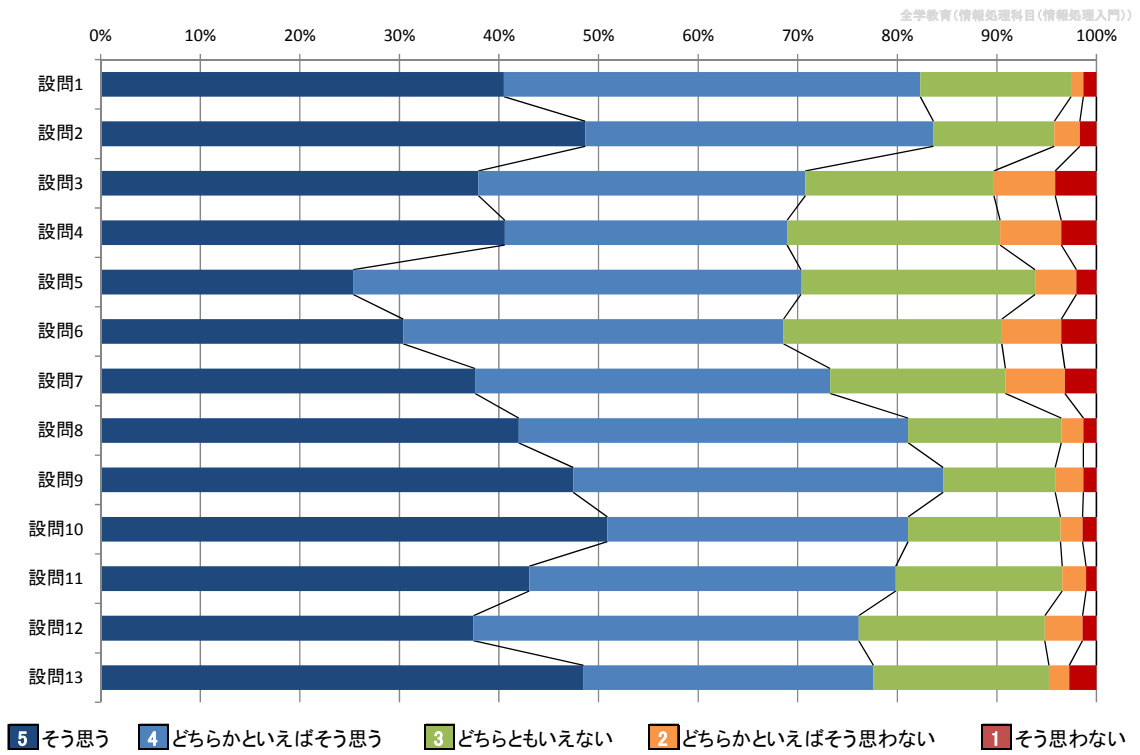


図 4.2.6 全学教育(情報処理科目(情報処理入門))

4.2.7 情報処理科目（コンピュータ入門）

(1) 共通項目

- 設問1: シラバスは、授業の目標や計画及び評価方法を適切に示していた。
 設問2: 授業は目的達成のため計画的に進められた。
 設問3: 授業担当者の教え方は適切だった。
 設問4: 授業担当者は、学生が質問や相談をしやすい環境・雰囲気作りを行った。
 設問5: 自分は、シラバスに記載された授業目標を達成することができた。
 設問6: 自分は、この授業によって学習意欲が喚起された。
 設問7: 総合的にみて、この授業は自分にとって満足できるものであった。
 設問8: 情報機器の構成・機能についての知識が得られた。
 設問9: 情報通信ネットワークの構成・機能についての知識が得られた。
 設問10: Webの検索機能などを用いて情報の収集・分析等を行えるようになった。
 設問11: 情報セキュリティおよび情報倫理の重要性が理解できた。

(2) 集計表

表 4.2.7 全学教育(情報処理科目(コンピュータ入門))

	5	4	3	2	1	n
設問1	18 30.5%	29 49.2%	11 18.6%	1 1.7%	0 0.0%	59 100.0%
設問2	21 35.6%	27 45.8%	9 15.3%	2 3.4%	0 0.0%	59 100.0%
設問3	15 25.4%	25 42.4%	12 20.3%	4 6.8%	3 5.1%	59 100.0%
設問4	16 27.1%	20 33.9%	14 23.7%	9 15.3%	0 0.0%	59 100.0%
設問5	9 15.3%	23 39.0%	19 32.2%	6 10.2%	2 3.4%	59 100.0%
設問6	15 25.4%	30 50.8%	9 15.3%	3 5.1%	2 3.4%	59 100.0%
設問7	16 27.1%	28 47.5%	9 15.3%	4 6.8%	2 3.4%	59 100.0%
設問8	22 37.3%	32 54.2%	2 3.4%	0 0.0%	3 5.1%	59 100.0%
設問9	20 33.9%	33 55.9%	4 6.8%	2 3.4%	0 0.0%	59 100.0%
設問10	15 25.4%	24 40.7%	15 25.4%	5 8.5%	0 0.0%	59 100.0%
設問11	22 37.3%	30 50.8%	5 8.5%	0 0.0%	2 3.4%	59 100.0%

5 そう思う 4 どちらかといえばそう思う 3 どちらともいえない 2 どちらかといえばそう思わない 1 そう思わない

(3) グラフ

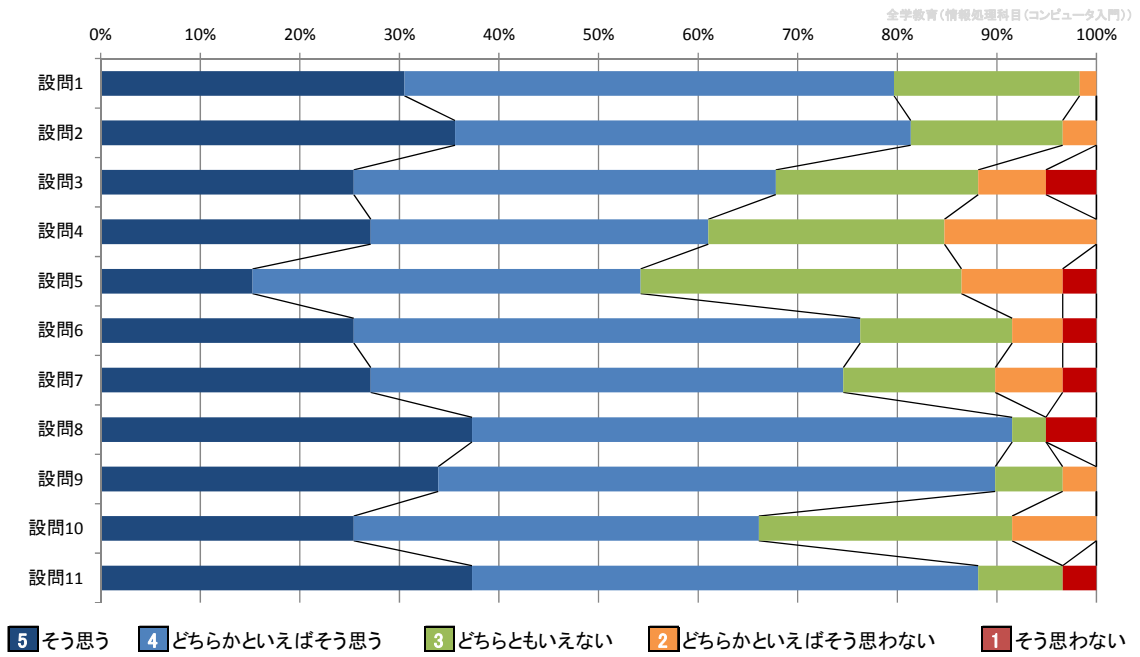


図 4.2.7 全学教育(情報処理科目(コンピュータ入門))

4.2.8 人文・社会科学科目

(1) 共通項目

設問1: シラバスは、授業の目標や計画及び評価方法を適切に示していた。

設問2: 授業は目的達成のため計画的に進められた。

設問3: 授業担当者の教え方は適切だった。

設問4: 授業担当者は、学生が質問や相談をしやすい環境・雰囲気作りを行った。

設問5: 自分は、シラバスに記載された授業目標を達成することができた。

設問6: 自分は、この授業によって学習意欲が喚起された。

設問7: 総合的にみて、この授業は自分にとって満足できるものであった。

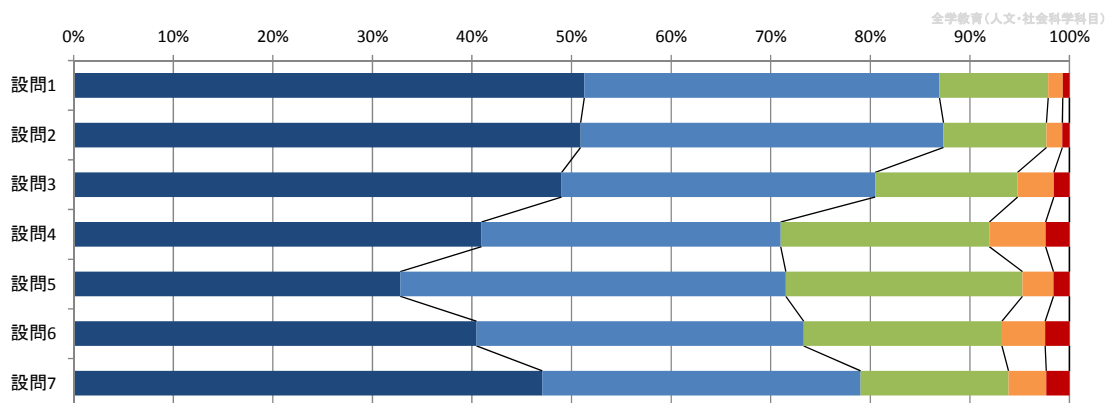
(2) 集計表

表 4.2.8 全学教育(人文・社会科学科目)

	5	4	3	2	1	n
設問1	1,371 51.3%	954 35.7%	292 10.9%	39 1.5%	18 0.7%	2,674 100.0%
設問2	1,361 50.9%	975 36.5%	276 10.3%	43 1.6%	19 0.7%	2,674 100.0%
設問3	1,309 49.0%	841 31.5%	382 14.3%	97 3.6%	42 1.6%	2,671 100.0%
設問4	1,095 41.0%	803 30.0%	560 21.0%	151 5.6%	64 2.4%	2,673 100.0%
設問5	876 32.8%	1,034 38.7%	635 23.8%	83 3.1%	43 1.6%	2,671 100.0%
設問6	1,081 40.5%	878 32.9%	532 19.9%	116 4.3%	65 2.4%	2,672 100.0%
設問7	1,256 47.1%	853 32.0%	397 14.9%	101 3.8%	62 2.3%	2,669 100.0%

5 そう思う 4 どちらかといえばそう思う 3 どちらともいえない 2 どちらかといえばそう思わない 1 そう思わない

(3) グラフ



5 そう思う 4 どちらかといえばそう思う 3 どちらともいえない 2 どちらかといえばそう思わない 1 そう思わない

図 4.2.8 全学教育(人文・社会科学科目)

4.2.9 人間科学科目

(1) 共通項目

設問1: シラバスは、授業の目標や計画及び評価方法を適切に示していた。

設問2: 授業は目的達成のため計画的に進められた。

設問3: 授業担当者の教え方は適切だった。

設問4: 授業担当者は、学生が質問や相談をしやすい環境・雰囲気作りを行った。

設問5: 自分は、シラバスに記載された授業目標を達成することができた。

設問6: 自分は、この授業によって学習意欲が喚起された。

設問7: 総合的にみて、この授業は自分にとって満足できるものであった。

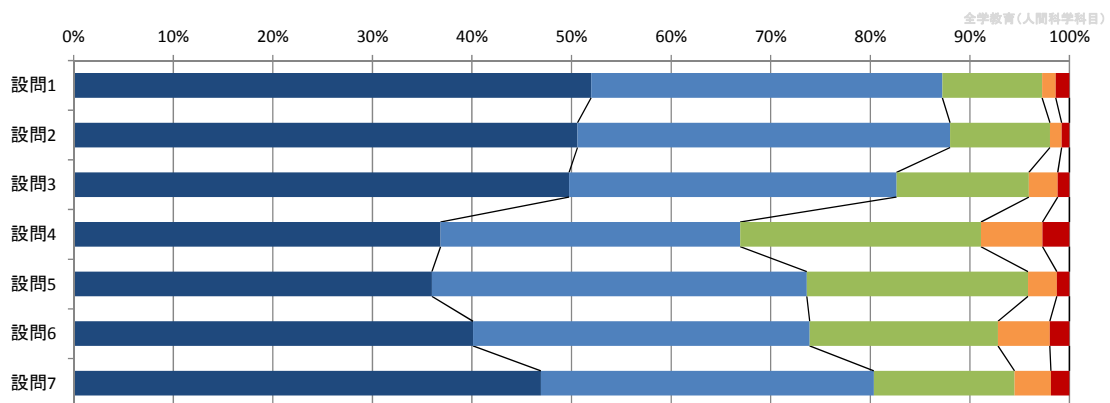
(2) 集計表

表 4.2.9 全学教育(人間科学科目)

	5	4	3	2	1	n
設問1	1,058 52.0%	718 35.3%	204 10.0%	28 1.4%	28 1.4%	2,036 100.0%
設問2	1,030 50.6%	762 37.4%	204 10.0%	24 1.2%	16 0.8%	2,036 100.0%
設問3	1,012 49.8%	669 32.9%	270 13.3%	59 2.9%	24 1.2%	2,034 100.0%
設問4	750 36.9%	612 30.1%	492 24.2%	126 6.2%	55 2.7%	2,035 100.0%
設問5	732 36.0%	766 37.6%	452 22.2%	59 2.9%	26 1.3%	2,035 100.0%
設問6	815 40.1%	687 33.8%	384 18.9%	106 5.2%	40 2.0%	2,032 100.0%
設問7	953 46.9%	679 33.4%	287 14.1%	74 3.6%	38 1.9%	2,031 100.0%

5 そう思う 4 どちらかといえばそう思う 3 どちらともいえない 2 どちらかといえばそう思わない 1 そう思わない

(3) グラフ



5 そう思う 4 どちらかといえばそう思う 3 どちらともいえない 2 どちらかといえばそう思わない 1 そう思わない

図 4.2.9 全学教育(人間科学科目)

4.2.10 自然科学科目

(1) 共通項目

設問1: シラバスは、授業の目標や計画及び評価方法を適切に示していた。

設問2: 授業は目的達成のため計画的に進められた。

設問3: 授業担当者の教え方は適切だった。

設問4: 授業担当者は、学生が質問や相談をしやすい環境・雰囲気作りを行った。

設問5: 自分は、シラバスに記載された授業目標を達成することができた。

設問6: 自分は、この授業によって学習意欲が喚起された。

設問7: 総合的にみて、この授業は自分にとって満足できるものであった。

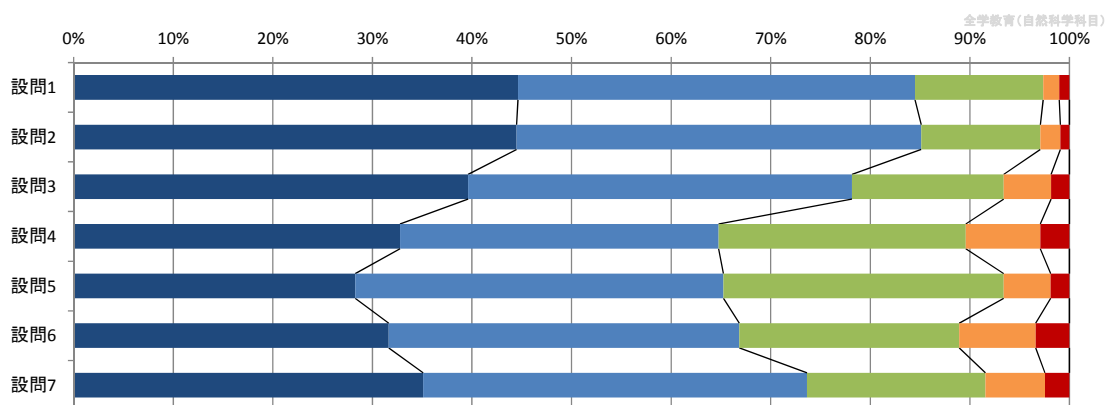
(2) 集計表

表 4.2.10 全学教育(自然科学科目)

	5	4	3	2	1	n
設問1	780 44.6%	697 39.9%	225 12.9%	28 1.6%	18 1.0%	1,748 100.0%
設問2	777 44.5%	710 40.6%	209 12.0%	35 2.0%	16 0.9%	1,747 100.0%
設問3	691 39.6%	672 38.5%	266 15.3%	83 4.8%	32 1.8%	1,744 100.0%
設問4	572 32.8%	559 32.0%	433 24.8%	131 7.5%	51 2.9%	1,746 100.0%
設問5	493 28.3%	645 37.0%	491 28.2%	82 4.7%	33 1.9%	1,744 100.0%
設問6	552 31.7%	614 35.2%	385 22.1%	134 7.7%	59 3.4%	1,744 100.0%
設問7	611 35.1%	671 38.5%	312 17.9%	104 6.0%	43 2.5%	1,741 100.0%

5 そう思う 4 どちらかといえばそう思う 3 どちらともいえない 2 どちらかといえばそう思わない 1 そう思わない

(3) グラフ



5 そう思う 4 どちらかといえばそう思う 3 どちらともいえない 2 どちらかといえばそう思わない 1 そう思わない

図 4.2.10 全学教育(自然科学科目)

4.2.11 総合科学科目

(1) 共通項目

- 設問1: シラバスは、授業の目標や計画及び評価方法を適切に示していた。
- 設問2: 授業は目的達成のため計画的に進められた。
- 設問3: 授業担当者の教え方は適切だった。
- 設問4: 授業担当者は、学生が質問や相談をしやすい環境・雰囲気作りを行った。
- 設問5: 自分は、シラバスに記載された授業目標を達成することができた。
- 設問6: 自分は、この授業によって学習意欲が喚起された。
- 設問7: 総合的にみて、この授業は自分にとって満足できるものであった。
- 設問8: この授業科目によって総合的・多面的にもものを見る目を養うことができた。
- 設問9: この授業科目によって創造力が培われた。
- 設問10: この授業科目によって独創力が培われた。
- 設問11: この授業科目によって人間性が豊かになった。
- 設問12: この授業科目によって、ものごとを深く掘り下げて考えるようになった。
- 設問13: この授業科目によって知的興奮を覚えさせられた。
- 設問14: この授業科目によって教養が身に付いた。
- 設問15: この授業科目は私のこれからの人生にプラスになるだろう。
- 設問16: 私は常にこの授業科目に出席しようと心掛けた。
- 設問17: 私はこの授業科目を真剣に学ぼうと努力した。

(2) 集計表

表 4.2.11 全学教育(総合科学科目)

	5	4	3	2	1	n
設問1	721 48.7%	548 37.0%	178 12.0%	16 1.1%	18 1.2%	1,481 100.0%
設問2	699 47.2%	541 36.5%	192 13.0%	30 2.0%	19 1.3%	1,481 100.0%
設問3	574 38.8%	522 35.3%	275 18.6%	66 4.5%	43 2.9%	1,480 100.0%
設問4	465 31.4%	401 27.1%	386 26.1%	140 9.5%	89 6.0%	1,481 100.0%
設問5	512 34.6%	559 37.8%	334 22.6%	50 3.4%	25 1.7%	1,480 100.0%
設問6	515 34.8%	506 34.2%	323 21.8%	90 6.1%	45 3.0%	1,479 100.0%
設問7	575 38.9%	510 34.5%	279 18.9%	72 4.9%	43 2.9%	1,479 100.0%
設問8	613 41.4%	551 37.3%	224 15.1%	55 3.7%	36 2.4%	1,479 100.0%
設問9	452 30.6%	443 30.0%	422 28.5%	99 6.7%	63 4.3%	1,479 100.0%
設問10	435 29.5%	409 27.7%	456 30.9%	105 7.1%	72 4.9%	1,477 100.0%
設問11	461 31.2%	431 29.2%	420 28.4%	105 7.1%	61 4.1%	1,478 100.0%
設問12	470 31.8%	513 34.8%	346 23.4%	92 6.2%	55 3.7%	1,476 100.0%
設問13	498 33.8%	471 32.0%	347 23.5%	94 6.4%	64 4.3%	1,474 100.0%
設問14	592 40.1%	584 39.5%	226 15.3%	37 2.5%	39 2.6%	1,478 100.0%
設問15	722 48.8%	487 32.9%	197 13.3%	38 2.6%	34 2.3%	1,478 100.0%
設問16	925 68.1%	317 23.3%	93 6.8%	16 1.2%	8 0.6%	1,359 100.0%
設問17	649 47.9%	487 35.9%	163 12.0%	31 2.3%	26 1.9%	1,356 100.0%

5 そう思う 4 どちらかといえばそう思う 3 どちらともいえない 2 どちらかといえばそう思わない 1 そう思わない

(3) グラフ

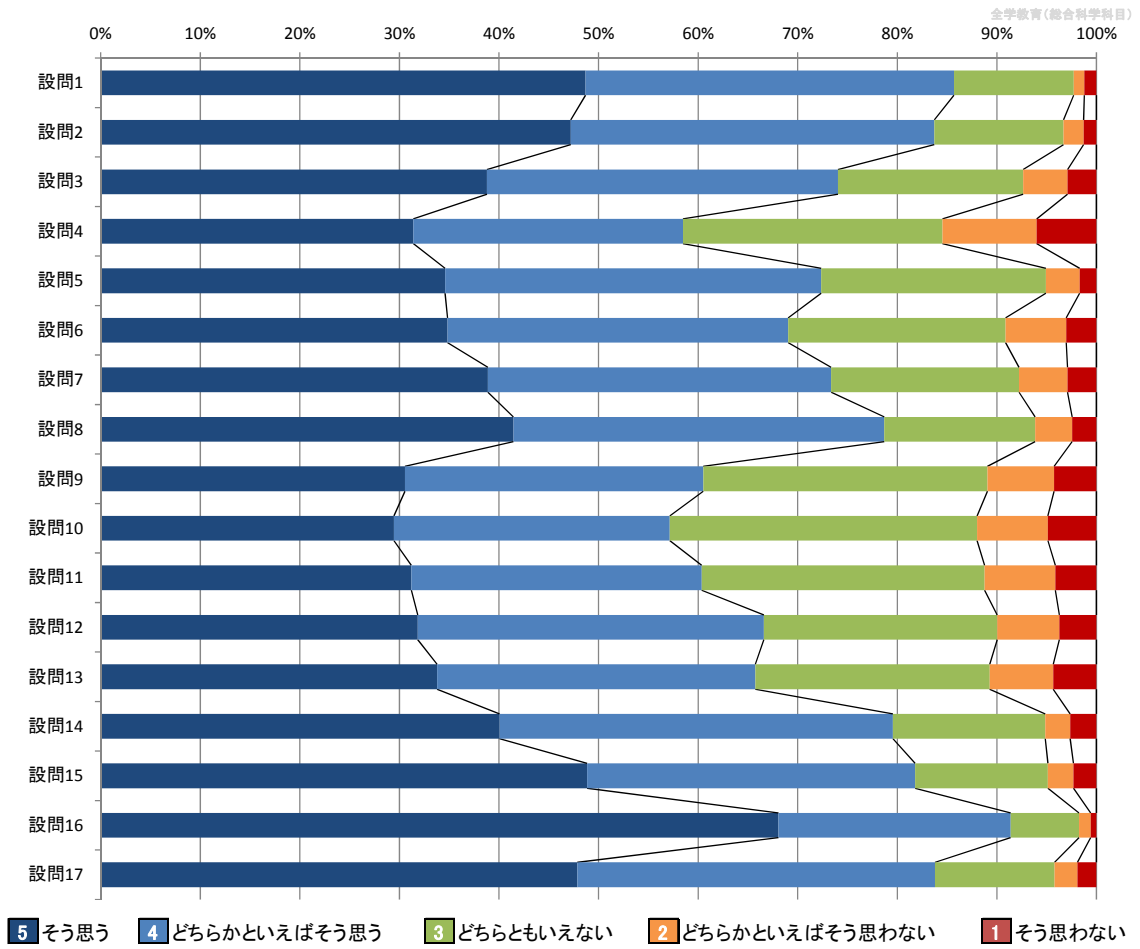


図 4.2.11 全学教育(総合科学科目)

4.2.12 留学生用科目（日本語）

(1) 共通項目

- 設問1: シラバスは、授業の目標や計画及び評価方法を適切に示していた。
 設問2: 授業は目的達成のため計画的に進められた。
 設問3: 授業担当者の教え方は適切だった。
 設問4: 授業担当者は、学生が質問や相談をしやすい環境・雰囲気作りを行った。
 設問5: 自分は、シラバスに記載された授業目標を達成することができた。
 設問6: 自分は、この授業によって学習意欲が喚起された。
 設問7: 総合的にみて、この授業は自分にとって満足できるものであった。
 設問8: 授業の進度は適切だった。
 設問9: 授業担当者は学生に当該外国語を使う機会を与えてくれた。

(2) 集計表

表 4.2.12 全学教育(留学生用科目(日本語))

	5	4	3	2	1	n
設問1	103 87.3%	14 11.9%	1 0.8%	0 0.0%	0 0.0%	118 100.0%
設問2	102 86.4%	14 11.9%	2 1.7%	0 0.0%	0 0.0%	118 100.0%
設問3	92 78.0%	22 18.6%	3 2.5%	0 0.0%	1 0.8%	118 100.0%
設問4	97 82.9%	16 13.7%	3 2.6%	0 0.0%	1 0.9%	117 100.0%
設問5	82 69.5%	26 22.0%	9 7.6%	1 0.8%	0 0.0%	118 100.0%
設問6	78 66.1%	31 26.3%	5 4.2%	2 1.7%	2 1.7%	118 100.0%
設問7	89 75.4%	21 17.8%	5 4.2%	3 2.5%	0 0.0%	118 100.0%
設問8	101 85.6%	13 11.0%	4 3.4%	0 0.0%	0 0.0%	118 100.0%
設問9	97 82.9%	16 13.7%	4 3.4%	0 0.0%	0 0.0%	117 100.0%

5 そう思う 4 どちらかといえばそう思う 3 どちらともいえない 2 どちらかといえばそう思わない 1 そう思わない

(3) グラフ

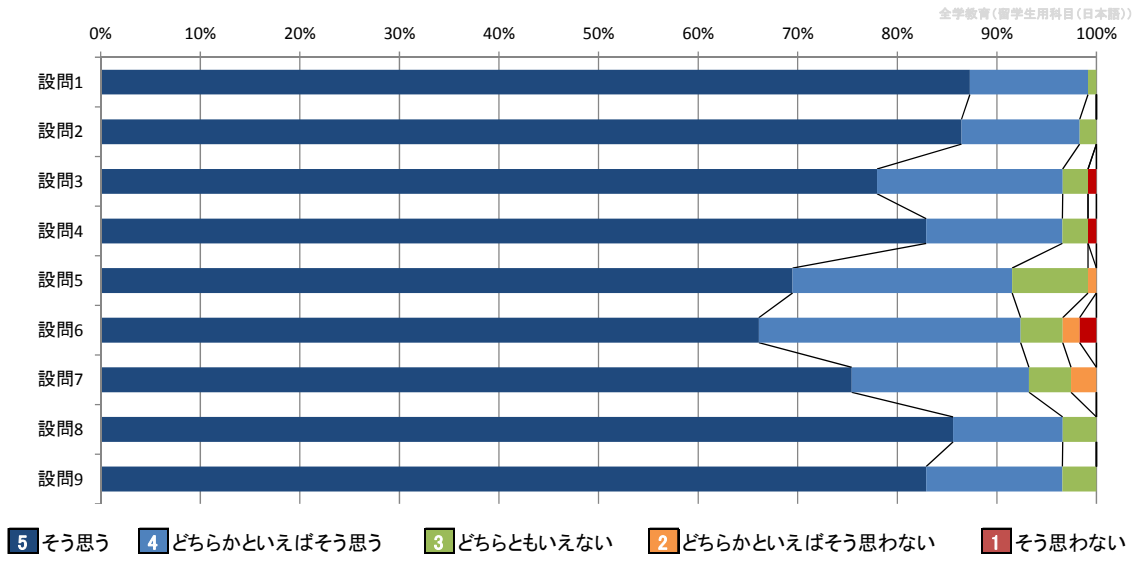


図 4.2.12 全学教育(留学生用科目(日本語))

4.2.13 全学（その他）

(1) 共通項目

設問1: シラバスは、授業の目標や計画及び評価方法を適切に示していた。

設問2: 授業は目的達成のため計画的に進められた。

設問3: 授業担当者の教え方は適切だった。

設問4: 授業担当者は、学生が質問や相談をしやすい環境・雰囲気作りを行った。

設問5: 自分は、シラバスに記載された授業目標を達成することができた。

設問6: 自分は、この授業によって学習意欲が喚起された。

設問7: 総合的にみて、この授業は自分にとって満足できるものであった。

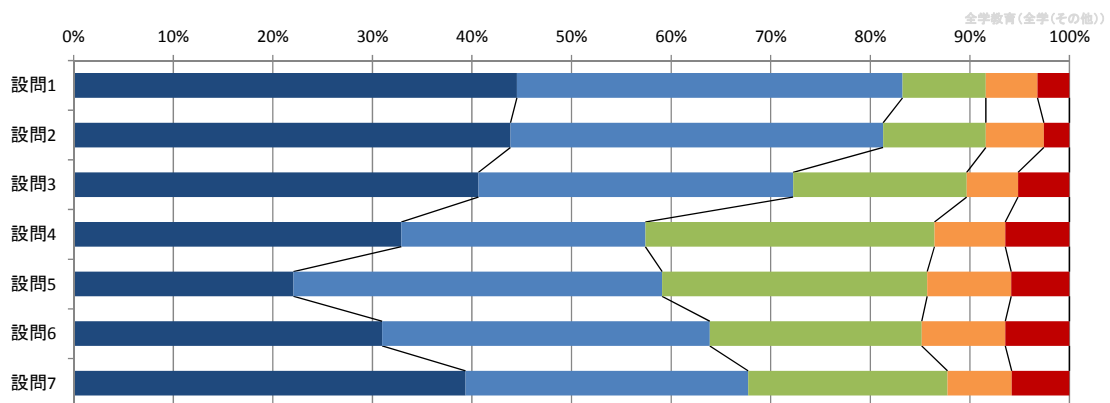
(2) 集計表

表 4.2.13 全学教育(全学(その他))

	5	4	3	2	1	n
設問1	69 44.5%	60 38.7%	13 8.4%	8 5.2%	5 3.2%	155 100.0%
設問2	68 43.9%	58 37.4%	16 10.3%	9 5.8%	4 2.6%	155 100.0%
設問3	63 40.6%	49 31.6%	27 17.4%	8 5.2%	8 5.2%	155 100.0%
設問4	51 32.9%	38 24.5%	45 29.0%	11 7.1%	10 6.5%	155 100.0%
設問5	34 22.1%	57 37.0%	41 26.6%	13 8.4%	9 5.8%	154 100.0%
設問6	48 31.0%	51 32.9%	33 21.3%	13 8.4%	10 6.5%	155 100.0%
設問7	61 39.4%	44 28.4%	31 20.0%	10 6.5%	9 5.8%	155 100.0%

5 そう思う 4 どちらかといえばそう思う 3 どちらともいえない 2 どちらかといえばそう思わない 1 そう思わない

(3) グラフ



5 そう思う 4 どちらかといえばそう思う 3 どちらともいえない 2 どちらかといえばそう思わない 1 そう思わない

図 4.2.13 全学教育(全学(その他))

4.3 教育学部

4.3.1 講義

(1) 共通項目

設問1: シラバスは、授業の目標や計画及び評価方法を適切に示していた。

設問2: 授業は目的達成のため計画的に進められた。

設問3: 授業担当者の教え方は適切だった。

設問4: 授業担当者は、学生が質問や相談をしやすい環境・雰囲気作りを行った。

設問5: 自分は、シラバスに記載された授業目標を達成することができた。

設問6: 自分は、この授業によって学習意欲が喚起された。

設問7: 総合的にみて、この授業は自分にとって満足できるものであった。

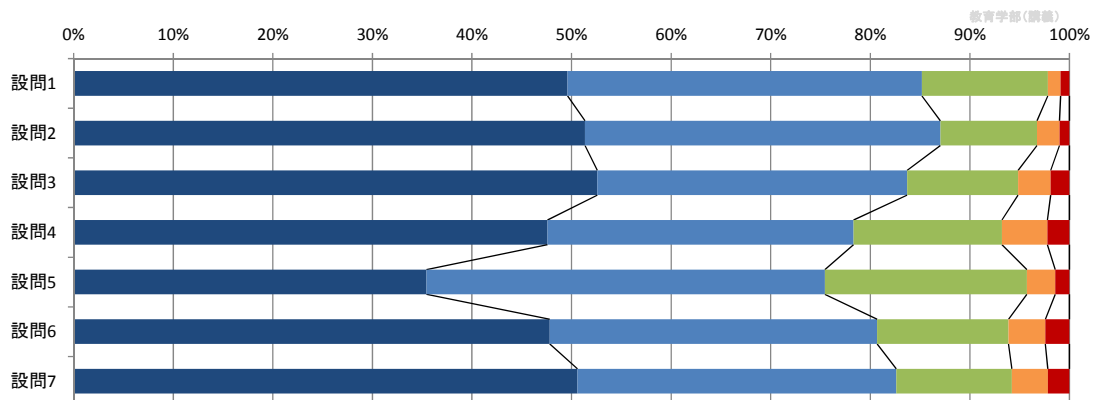
(2) 集計表

表 4.3.1 教育学部(講義)

	5	4	3	2	1	n
設問1	5,573 49.6%	3,999 35.6%	1,421 12.6%	144 1.3%	100 0.9%	11,237 100.0%
設問2	5,772 51.4%	4,012 35.7%	1,090 9.7%	253 2.3%	113 1.0%	11,240 100.0%
設問3	5,909 52.6%	3,496 31.1%	1,251 11.1%	368 3.3%	212 1.9%	11,236 100.0%
設問4	5,347 47.6%	3,453 30.7%	1,673 14.9%	513 4.6%	249 2.2%	11,235 100.0%
設問5	3,981 35.4%	4,496 40.0%	2,280 20.3%	320 2.8%	160 1.4%	11,237 100.0%
設問6	5,372 47.8%	3,695 32.9%	1,482 13.2%	415 3.7%	273 2.4%	11,237 100.0%
設問7	5,683 50.6%	3,595 32.0%	1,304 11.6%	406 3.6%	244 2.2%	11,232 100.0%

5 そう思う 4 どちらかといえばそう思う 3 どちらともいえない 2 どちらかといえばそう思わない 1 そう思わない

(3) グラフ



5 そう思う 4 どちらかといえばそう思う 3 どちらともいえない 2 どちらかといえばそう思わない 1 そう思わない

図 4.3.1 教育学部(講義)

4.3.2 演習・実験・実習・実技

(1) 共通項目

- 設問1: シラバスは、授業の目標や内容及び評価方法を適切に示していた。
 設問2: 教材・教具・機材・用具・器具等の利用が有効に図られていた。
 設問3: 授業の進度・分量は適切だった。
 設問4: 授業担当者（TAを含む）の授業の内容・方法は適切であった。
 設問5: この授業は、いつでも質問できる雰囲気があった。
 設問6: 授業担当者（TAを含む）は、適切な助言を与え、相談にのってくれた。
 設問7: 授業担当者（TAを含む）は、十分な準備や工夫をしていた。
 設問8: この授業を通して、新しい知識・思考法・技術・技能等を習得できた。
 設問9: この授業を通して、客観的・分析的思考能力または芸術的表現能力が向上した。
 設問10: この授業によって、学習意欲を喚起された。

(2) 集計表

表 4.3.2 教育学部(演習・実験・実習・実技)

	5	4	3	2	1	n
設問1	361 51.8%	243 34.9%	82 11.8%	9 1.3%	2 0.3%	697 100.0%
設問2	403 57.9%	188 27.0%	82 11.8%	18 2.6%	5 0.7%	696 100.0%
設問3	350 50.2%	229 32.9%	80 11.5%	24 3.4%	14 2.0%	697 100.0%
設問4	389 55.9%	226 32.5%	64 9.2%	11 1.6%	6 0.9%	696 100.0%
設問5	403 57.8%	180 25.8%	87 12.5%	21 3.0%	6 0.9%	697 100.0%
設問6	383 54.9%	208 29.8%	78 11.2%	20 2.9%	8 1.1%	697 100.0%
設問7	378 54.4%	209 30.1%	80 11.5%	16 2.3%	12 1.7%	695 100.0%
設問8	406 58.2%	221 31.7%	56 8.0%	10 1.4%	4 0.6%	697 100.0%
設問9	303 43.5%	275 39.5%	93 13.3%	17 2.4%	9 1.3%	697 100.0%
設問10	365 53.2%	225 32.8%	72 10.5%	15 2.2%	9 1.3%	686 100.0%

5 そう思う 4 どちらかといえばそう思う 3 どちらともいえない 2 どちらかといえばそう思わない 1 そう思わない

(3) グラフ

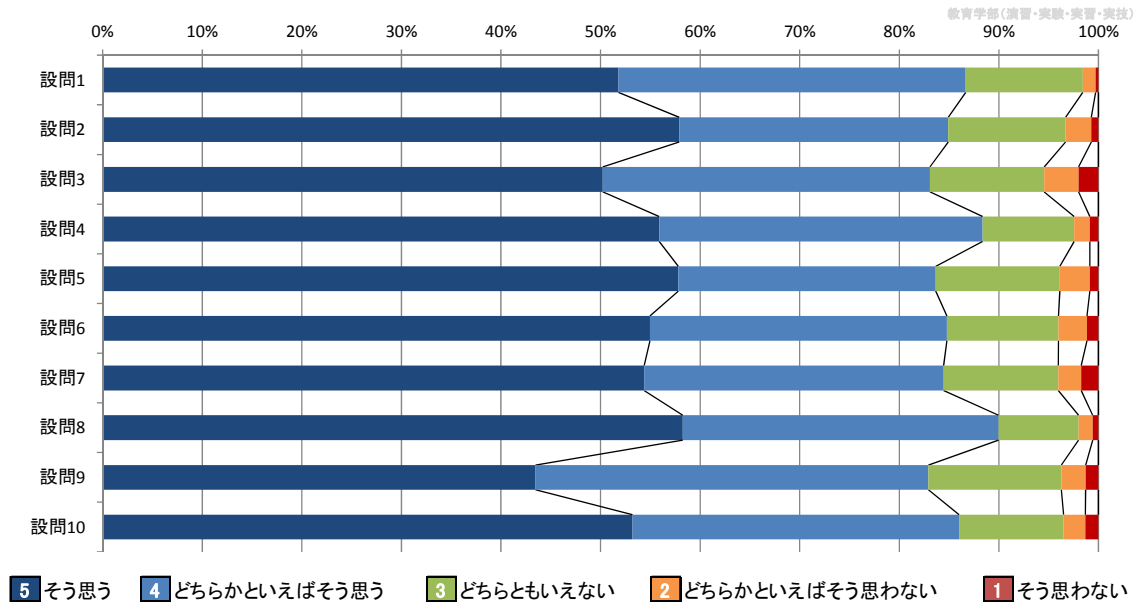


図 4.3.2 教育学部(演習・実験・実習・実技)

4.4 経済学部

4.4.1 講義

(1) 共通項目

設問1: シラバスは、授業の目標や計画及び評価方法を適切に示していた。

設問2: 授業は目的達成のため計画的に進められた。

設問3: 授業担当者の教え方は適切だった。

設問4: 授業担当者は、学生が質問や相談をしやすい環境・雰囲気作りを行った。

設問5: 自分は、シラバスに記載された授業目標を達成することができた。

設問6: 自分は、この授業によって学習意欲が喚起された。

設問7: 総合的にみて、この授業は自分にとって満足できるものであった。

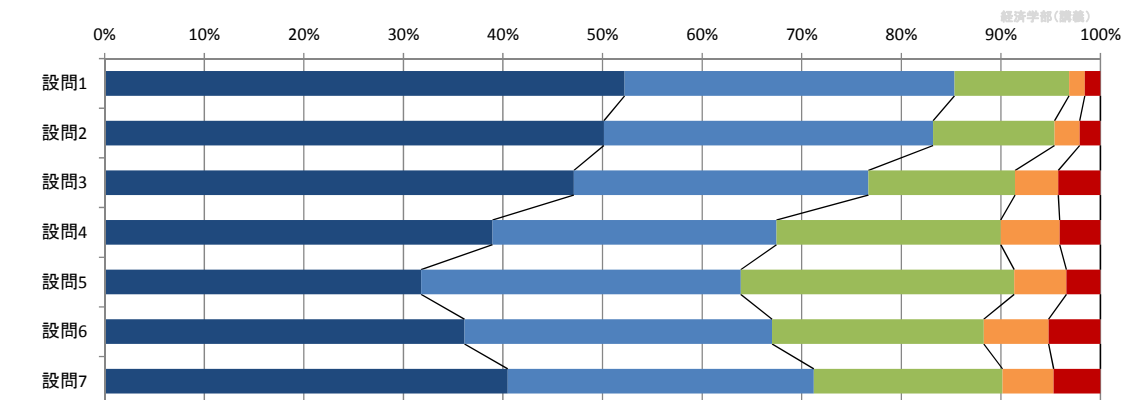
(2) 集計表

表 4.4.1 経済学部(講義)

	5	4	3	2	1	n
設問1	4,581 52.2%	2,905 33.1%	1,011 11.5%	137 1.6%	139 1.6%	8,773 100.0%
設問2	4,396 50.1%	2,901 33.1%	1,069 12.2%	221 2.5%	184 2.1%	8,771 100.0%
設問3	4,126 47.1%	2,591 29.6%	1,290 14.7%	381 4.4%	370 4.2%	8,758 100.0%
設問4	3,415 38.9%	2,501 28.5%	1,975 22.5%	520 5.9%	359 4.1%	8,770 100.0%
設問5	2,784 31.8%	2,813 32.1%	2,405 27.5%	460 5.3%	299 3.4%	8,761 100.0%
設問6	3,169 36.1%	2,709 30.9%	1,863 21.2%	571 6.5%	457 5.2%	8,769 100.0%
設問7	3,547 40.5%	2,695 30.7%	1,660 18.9%	451 5.1%	412 4.7%	8,765 100.0%

5 そう思う 4 どちらかといえばそう思う 3 どちらともいえない 2 どちらかといえばそう思わない 1 そう思わない

(3) グラフ



5 そう思う 4 どちらかといえばそう思う 3 どちらともいえない 2 どちらかといえばそう思わない 1 そう思わない

図 4.4.1 経済学部(講義)

4.4.2 演習・実験・実習

(1) 共通項目

- 設問1: シラバス（演習指針）は、演習のテーマや内容を適切に示していた。
 設問2: 演習の進度は適切だった。
 設問3: 演習の内容・方法は適切だった。
 設問4: 演習担当者は効果的に学生の参加（発言、作業など）を促した。
 設問5: 演習担当者は適切な助言を与え相談にのってくれた。
 設問6: この演習を通して、新しい知識・考え方等を習得できた。
 設問7: この演習は学習意欲を喚起されるものだった。
 設問8: 総合的にみて、この演習は自分にとって満足できるものであった。

(2) 集計表

表 4.4.2 経済学部(演習・実験・実習)

	5	4	3	2	1	n
設問1	569 66.9%	203 23.9%	70 8.2%	5 0.6%	3 0.4%	850 100.0%
設問2	581 68.1%	190 22.3%	67 7.9%	11 1.3%	4 0.5%	853 100.0%
設問3	575 67.5%	204 23.9%	53 6.2%	15 1.8%	5 0.6%	852 100.0%
設問4	639 74.9%	153 17.9%	46 5.4%	11 1.3%	4 0.5%	853 100.0%
設問5	571 66.9%	189 22.2%	75 8.8%	14 1.6%	4 0.5%	853 100.0%
設問6	613 71.9%	191 22.4%	40 4.7%	4 0.5%	5 0.6%	853 100.0%
設問7	513 60.1%	243 28.5%	76 8.9%	11 1.3%	10 1.2%	853 100.0%
設問8	565 66.5%	212 25.0%	57 6.7%	7 0.8%	8 0.9%	849 100.0%

5 そう思う 4 どちらかといえばそう思う 3 どちらともいえない 2 どちらかといえばそう思わない 1 そう思わない

(3) グラフ

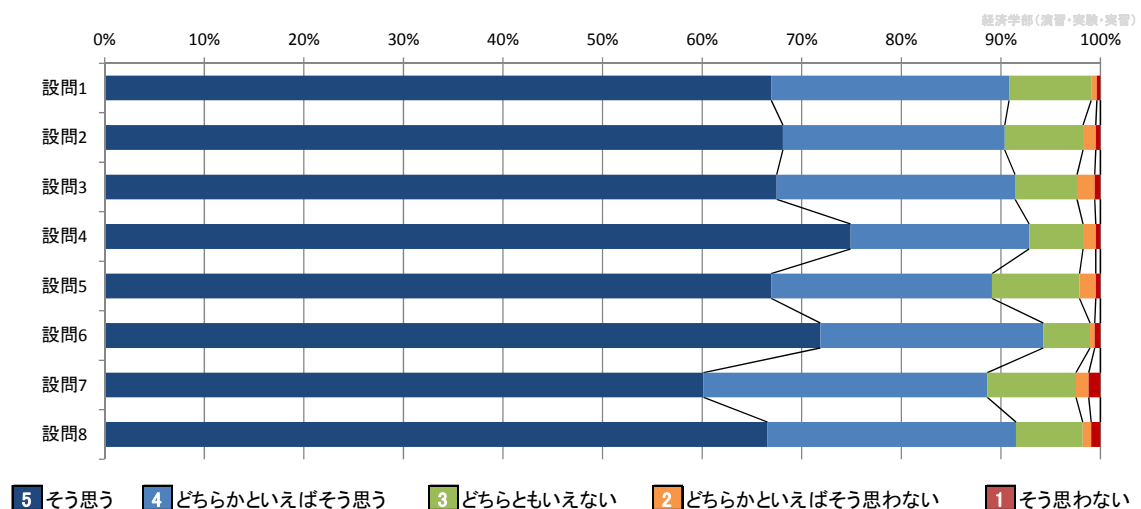


図 4.4.2 経済学部(演習・実験・実習)

4.5 医学部医学科

4.5.1 科目

(1) 共通項目

- 設問1: シラバスは、授業の目標や計画及び評価方法を適切に示していた。
- 設問2: 授業は目的達成のため計画的に進められた。
- 設問3: 授業担当者の教え方は適切だった。
- 設問4: 授業担当者は、学生が質問や相談をしやすい環境・雰囲気作りを行った。
- 設問5: 自分は、シラバスに記載された授業目標を達成することができた。
- 設問6: 自分は、この授業によって学習意欲が喚起された。
- 設問7: 総合的にみて、この授業は自分にとって満足できるものであった。
- 設問8: 授業科目全体の構成は適切だった。
- 設問9: 講義と実習のバランスは適切だった。
- 設問10: 各講義は授業計画に則して行われた。
- 設問11: 科目の内容は意欲的だった。
- 設問12: この科目の知識は十分に得られた。
- 設問13: 研究や医療に対する意欲が刺激される内容だった。
- 設問14: 講義の進度は適切だった。
- 設問15: 講義の分量は適切だった。
- 設問16: 講義には積極的に出席した。
- 設問17: 講義の予習をするように努めた。

(2) 集計表

表 4.5.1 医学部医学科(科目)

	5	4	3	2	1	n
設問1	1,749 46.9%	1,414 37.9%	482 12.9%	46 1.2%	38 1.0%	3,729 100.0%
設問2	1,688 45.2%	1,440 38.6%	494 13.2%	71 1.9%	38 1.0%	3,731 100.0%
設問3	1,508 40.4%	1,411 37.8%	634 17.0%	121 3.2%	56 1.5%	3,730 100.0%
設問4	1,316 35.3%	1,291 34.6%	904 24.2%	155 4.2%	62 1.7%	3,728 100.0%
設問5	904 24.3%	1,263 33.9%	1,232 33.1%	222 6.0%	104 2.8%	3,725 100.0%
設問6	1,175 31.5%	1,332 35.7%	883 23.7%	223 6.0%	115 3.1%	3,728 100.0%
設問7	1,195 32.0%	1,385 37.1%	833 22.3%	214 5.7%	105 2.8%	3,732 100.0%
設問8	1,293 34.7%	1,428 38.3%	807 21.7%	142 3.8%	57 1.5%	3,727 100.0%
設問9	1,057 28.4%	972 26.1%	1,334 35.9%	196 5.3%	159 4.3%	3,718 100.0%
設問10	1,546 41.5%	1,415 38.0%	627 16.8%	91 2.4%	47 1.3%	3,726 100.0%
設問11	1,357 36.4%	1,330 35.7%	802 21.5%	158 4.2%	78 2.1%	3,725 100.0%
設問12	950 25.5%	1,334 35.8%	1,110 29.8%	218 5.9%	114 3.1%	3,726 100.0%
設問13	1,218 32.7%	1,267 34.0%	931 25.0%	199 5.3%	112 3.0%	3,727 100.0%
設問14	1,311 35.2%	1,419 38.1%	776 20.8%	145 3.9%	72 1.9%	3,723 100.0%
設問15	1,271 34.2%	1,339 36.0%	832 22.4%	178 4.8%	101 2.7%	3,721 100.0%
設問16	2,350 64.3%	835 22.9%	363 9.9%	77 2.1%	28 0.8%	3,653 100.0%
設問17	479 13.1%	549 15.0%	980 26.8%	550 15.1%	1,092 29.9%	3,650 100.0%

5 そう思う 4 どちらかといえばそう思う 3 どちらともいえない 2 どちらかといえばそう思わない 1 そう思わない

(3) グラフ

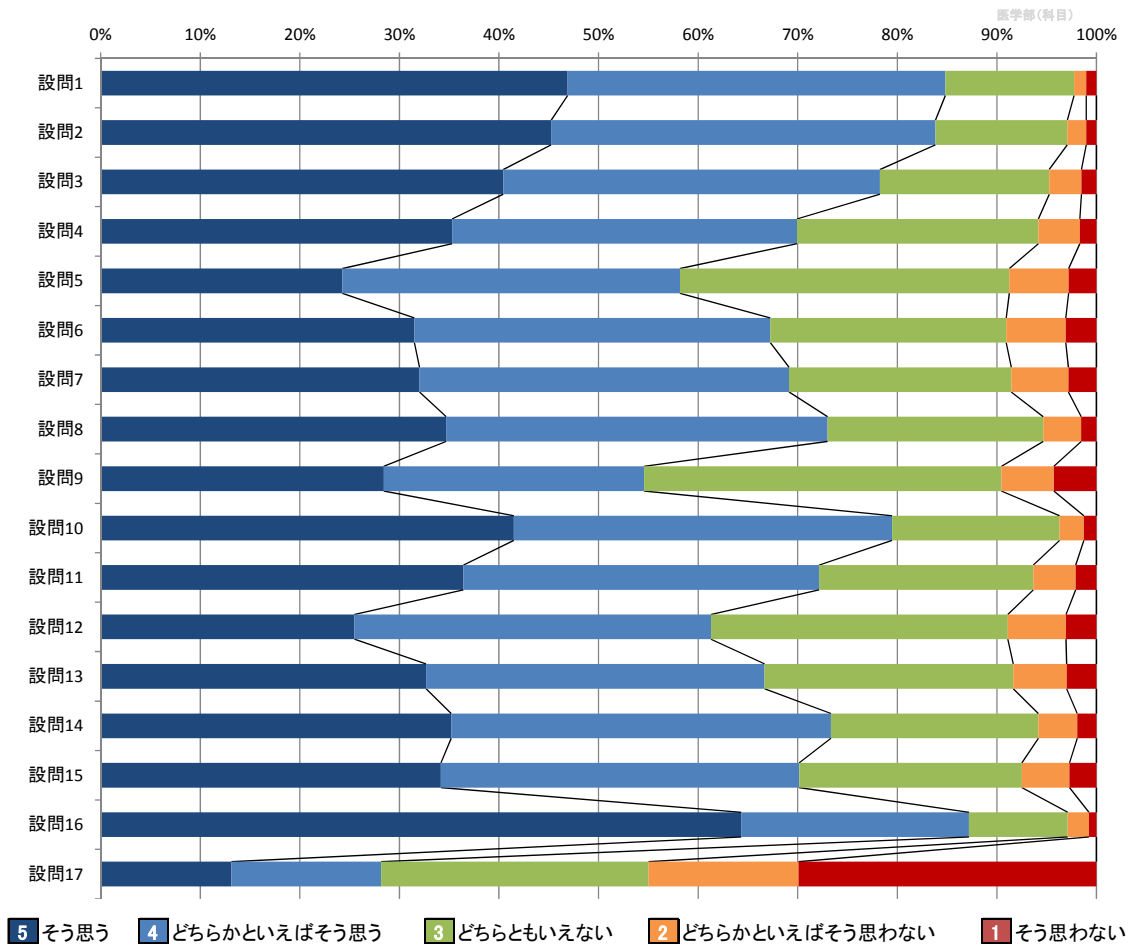


図 4.5.1 医学部医学科(科目)

4.5.2 教員

(1) 共通項目

- 設問1: シラバスは、授業の目標や計画及び評価方法を適切に示していた。
 設問2: 授業は目的達成のため計画的に進められた。
 設問3: 授業担当者の教え方は適切だった。
 設問4: 授業担当者は、学生が質問や相談をしやすい環境・雰囲気作りを行った。
 設問5: 自分は、シラバスに記載された授業目標を達成することができた。
 設問6: 自分は、この授業によって学習意欲が喚起された。
 設問7: 総合的にみて、この授業は自分にとって満足できるものであった。
 設問8: 講義のはじめに主題、概要、到達目標などの説明があった。
 設問9: 授業は質問しやすい雰囲気であった。
 設問10: 講義はよく準備されていた。
 設問11: 教員が学問分野の専門家として信頼できた。
 設問12: 授業は学生にとって適切な難易度だった。
 設問13: 授業は理解しやすかった。
 設問14: 講義はよく系統だった。
 設問15: 重要事項が強調されていた。

(2) 集計表

表 4.5.2 医学部医学科(教員)

	5	4	3	2	1	n
設問1	43 38.1%	59 52.2%	10 8.8%	1 0.9%	0 0.0%	113 100.0%
設問2	42 37.2%	62 54.9%	8 7.1%	0 0.0%	1 0.9%	113 100.0%
設問3	47 41.6%	49 43.4%	15 13.3%	1 0.9%	1 0.9%	113 100.0%
設問4	30 26.5%	37 32.7%	41 36.3%	4 3.5%	1 0.9%	113 100.0%
設問5	5 4.4%	51 45.1%	53 46.9%	2 1.8%	2 1.8%	113 100.0%
設問6	21 18.6%	54 47.8%	33 29.2%	4 3.5%	1 0.9%	113 100.0%
設問7	29 25.7%	56 49.6%	23 20.4%	3 2.7%	2 1.8%	113 100.0%
設問8	28 24.8%	45 39.8%	37 32.7%	2 1.8%	1 0.9%	113 100.0%
設問9	18 15.9%	39 34.5%	45 39.8%	8 7.1%	3 2.7%	113 100.0%
設問10	43 38.1%	53 46.9%	16 14.2%	0 0.0%	1 0.9%	113 100.0%
設問11	50 44.2%	45 39.8%	17 15.0%	1 0.9%	0 0.0%	113 100.0%
設問12	27 23.9%	38 33.6%	39 34.5%	6 5.3%	3 2.7%	113 100.0%
設問13	28 24.8%	47 41.6%	33 29.2%	1 0.9%	4 3.5%	113 100.0%
設問14	30 26.5%	51 45.1%	29 25.7%	3 2.7%	0 0.0%	113 100.0%
設問15	57 50.4%	30 26.5%	23 20.4%	3 2.7%	0 0.0%	113 100.0%

5 □ そう思う 4 □ どちらかといえばそう思う 3 □ どちらともいえない 2 □ どちらかといえばそう思わない 1 □ そう思わない

(3) グラフ

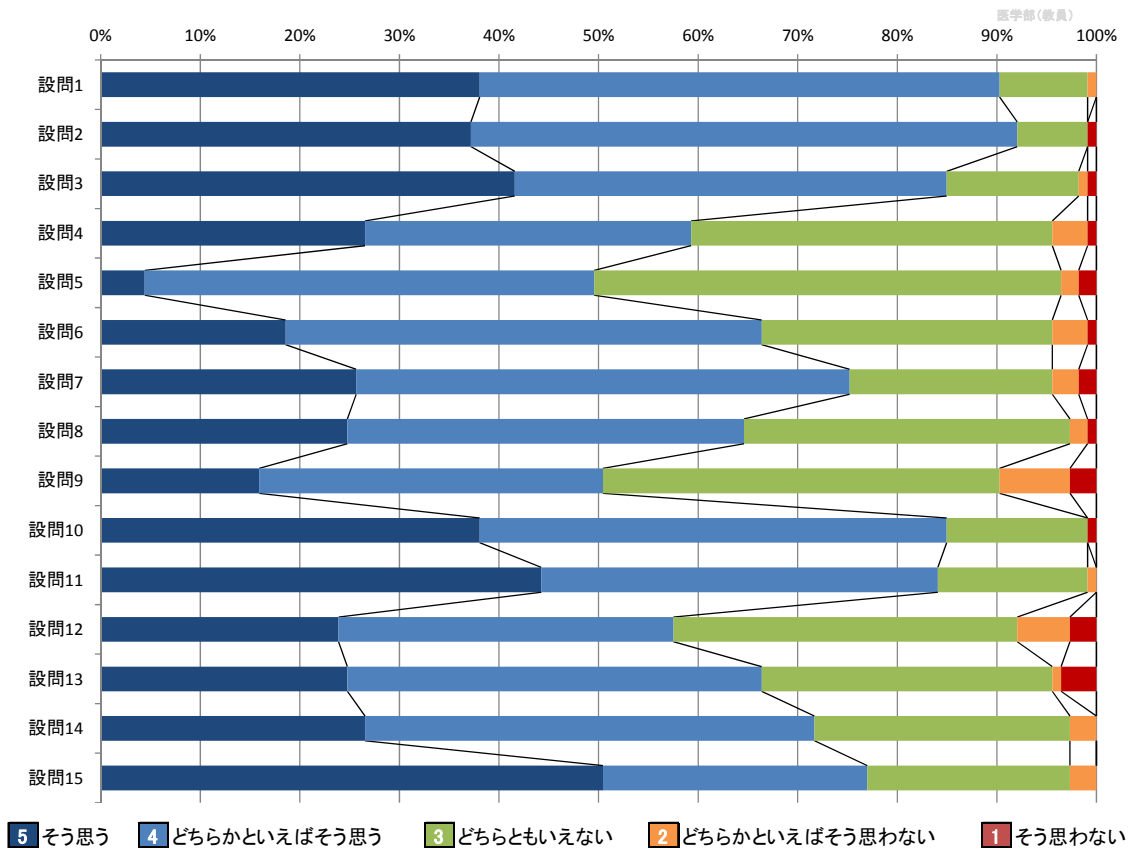


図 4.5.2 医学部医学科(教員)

4.6 歯学部

4.6.1 講義

(1) 共通項目

設問1: シラバスは、授業の目標や計画及び評価方法を適切に示していた。

設問2: 授業は目的達成のため計画的に進められた。

設問3: 授業担当者の教え方は適切だった。

設問4: 授業担当者は、学生が質問や相談をしやすい環境・雰囲気作りを行った。

設問5: 自分は、シラバスに記載された授業目標を達成することができた。

設問6: 自分は、この授業によって学習意欲が喚起された。

設問7: 総合的にみて、この授業は自分にとって満足できるものであった。

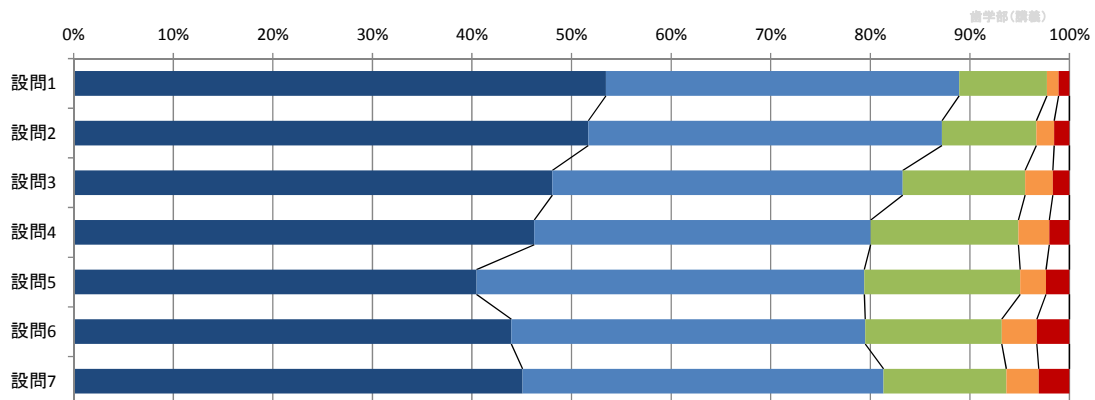
(2) 集計表

表 4.6.1 歯学部(講義)

	5	4	3	2	1	n
設問1	1,318 53.4%	875 35.5%	217 8.8%	29 1.2%	27 1.1%	2,466 100.0%
設問2	1,275 51.7%	876 35.5%	234 9.5%	44 1.8%	38 1.5%	2,467 100.0%
設問3	1,185 48.1%	867 35.2%	303 12.3%	69 2.8%	41 1.7%	2,465 100.0%
設問4	1,140 46.2%	833 33.8%	366 14.8%	76 3.1%	50 2.0%	2,465 100.0%
設問5	997 40.4%	960 38.9%	386 15.7%	64 2.6%	58 2.4%	2,465 100.0%
設問6	1,084 44.0%	876 35.5%	338 13.7%	87 3.5%	81 3.3%	2,466 100.0%
設問7	1,111 45.1%	893 36.2%	304 12.3%	80 3.2%	76 3.1%	2,464 100.0%

5 そう思う 4 どちらかといえばそう思う 3 どちらともいえない 2 どちらかといえばそう思わない 1 そう思わない

(3) グラフ



5 そう思う 4 どちらかといえばそう思う 3 どちらともいえない 2 どちらかといえばそう思わない 1 そう思わない

図 4.6.1 歯学部(講義)

4.6.2 演習・実験・実習

(1) 共通項目

- 設問1: シラバスや実習書は分かり易く、役に立った。
 設問2: 実験・実習材料は十分に用意されていた。
 設問3: 実験・実習器材はよく整備されていた。
 設問4: インストラクターの指導は適切だった。
 設問5: 実験・実習は創意・工夫の意欲向上に役立った。
 設問6: 実験・実習は遅刻・欠席も少なく、真面目に取り組むことができた。
 設問7: この実験・実習は将来に役立つと思った。
 設問8: 毎回、その日のステップの意義が明示されていた。
 設問9: 内容に見合うだけの回数・時間がとってあった。
 設問10: 実験・実習のレベルは適切であった。

(2) 集計表

表 4.6.2 歯学部(演習・実験・実習)

	5	4	3	2	1	n
設問1	679 56.1%	361 29.8%	130 10.7%	26 2.1%	14 1.2%	1,210 100.0%
設問2	769 63.4%	315 26.0%	89 7.3%	25 2.1%	14 1.2%	1,212 100.0%
設問3	731 60.4%	311 25.7%	116 9.6%	29 2.4%	24 2.0%	1,211 100.0%
設問4	749 61.8%	303 25.0%	96 7.9%	30 2.5%	33 2.7%	1,211 100.0%
設問5	692 57.2%	346 28.6%	123 10.2%	29 2.4%	20 1.7%	1,210 100.0%
設問6	867 71.6%	237 19.6%	75 6.2%	17 1.4%	15 1.2%	1,211 100.0%
設問7	756 62.4%	301 24.9%	103 8.5%	32 2.6%	19 1.6%	1,211 100.0%
設問8	739 61.1%	322 26.6%	98 8.1%	31 2.6%	19 1.6%	1,209 100.0%
設問9	665 55.0%	316 26.1%	148 12.2%	45 3.7%	36 3.0%	1,210 100.0%
設問10	687 57.2%	355 29.5%	113 9.4%	27 2.2%	20 1.7%	1,202 100.0%

5 そう思う
 4 どちらかといえばそう思う
 3 どちらともいえない
 2 どちらかといえばそう思わない
 1 そう思わない

(3) グラフ

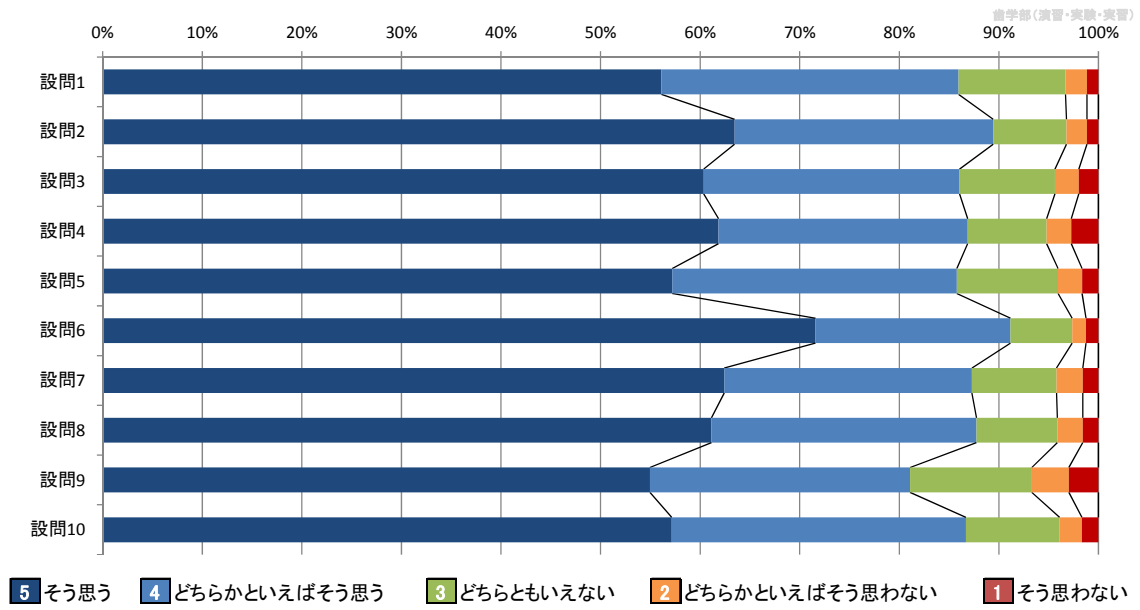


図 4.6.2 歯学部(演習・実験・実習)

4.7 薬学部

4.7.1 講義

(1) 共通項目

- 設問1: シラバスは、授業の目標や計画及び評価方法を適切に示していた。
 設問2: 授業は目的達成のため計画的に進められた。
 設問3: 授業担当者の教え方は適切だった。
 設問4: 授業担当者は、学生が質問や相談をしやすい環境・雰囲気作りを行った。
 設問5: 自分は、シラバスに記載された授業目標を達成することができた。
 設問6: 自分は、この授業によって学習意欲が喚起された。
 設問7: 総合的にみて、この授業は自分にとって満足できるものであった。
 設問8: 講義の進度は適切であった。
 設問9: 講義の分量は適切であった。
 設問10: どこが重要なポイントであるか良くわかった。

(2) 集計表

表 4.7.1 薬学部(講義)

	5	4	3	2	1	n
設問1	1,850 45.4%	1,735 42.6%	421 10.3%	39 1.0%	27 0.7%	4,072 100.0%
設問2	1,887 46.4%	1,619 39.8%	429 10.5%	102 2.5%	34 0.8%	4,071 100.0%
設問3	1,654 40.7%	1,556 38.2%	607 14.9%	181 4.4%	70 1.7%	4,068 100.0%
設問4	1,324 32.5%	1,562 38.4%	896 22.0%	216 5.3%	72 1.8%	4,070 100.0%
設問5	818 20.1%	1,783 43.8%	1,155 28.4%	239 5.9%	75 1.8%	4,070 100.0%
設問6	1,114 27.4%	1,655 40.7%	920 22.6%	262 6.4%	120 2.9%	4,071 100.0%
設問7	1,311 32.2%	1,696 41.7%	759 18.6%	216 5.3%	89 2.2%	4,071 100.0%
設問8	1,636 40.2%	1,553 38.2%	639 15.7%	175 4.3%	64 1.6%	4,067 100.0%
設問9	1,533 37.7%	1,506 37.1%	720 17.7%	224 5.5%	81 2.0%	4,064 100.0%
設問10	1,470 36.4%	1,543 38.2%	705 17.5%	216 5.4%	100 2.5%	4,034 100.0%

5 そう思う
 4 どちらかといえばそう思う
 3 どちらともいえない
 2 どちらかといえばそう思わない
 1 そう思わない

(3) グラフ

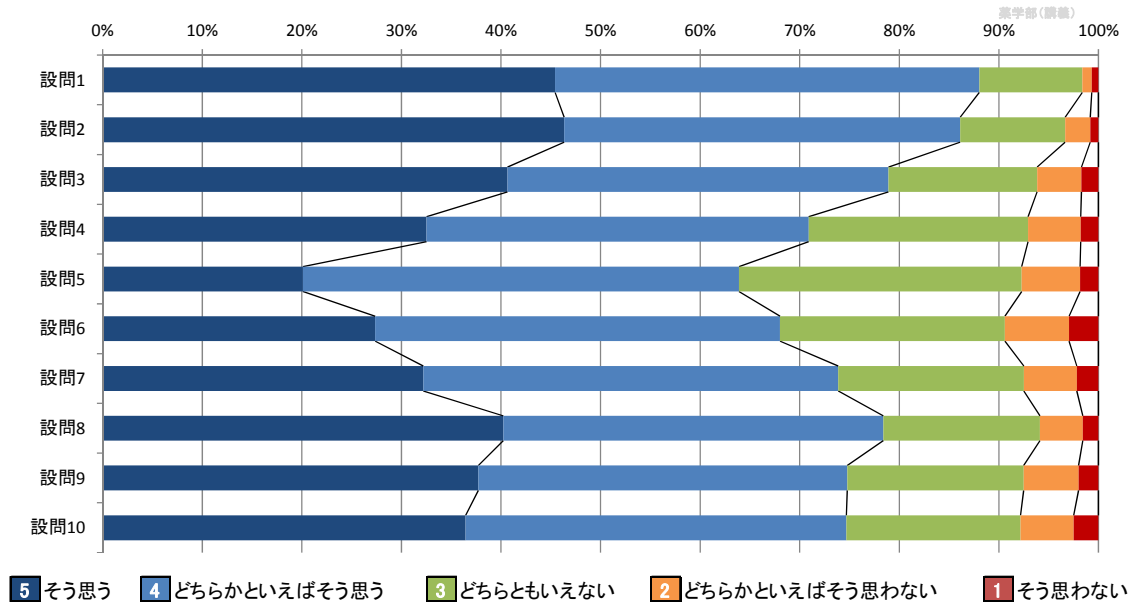


図 4.7.1 薬学部(講義)

4.7.2 演習・実験・実習

(1) 共通項目

設問1: 進度は適切であった。

設問2: 分量は適切であった。

設問3: どこが重要なポイントであるか良くわかった。

設問4: わからないときはいつでも質問できる雰囲気がある。

設問5: 内容を理解できた。

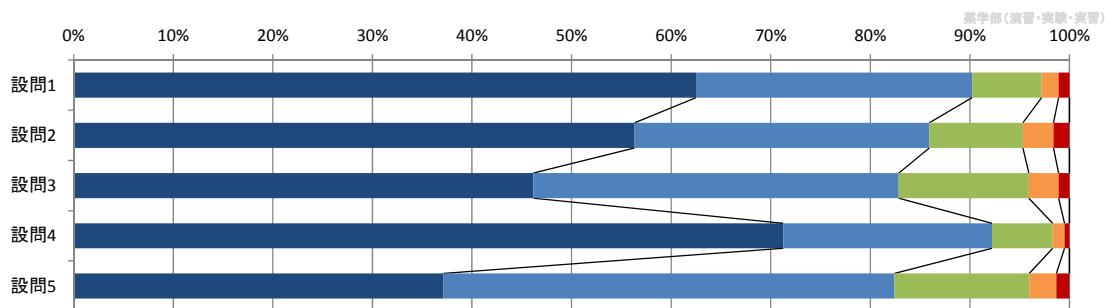
(2) 集計表

表 4.7.2 薬学部(演習・実験・実習)

	5	4	3	2	1	n
設問1	627 62.5%	278 27.7%	70 7.0%	17 1.7%	11 1.1%	1,003 100.0%
設問2	565 56.3%	297 29.6%	94 9.4%	31 3.1%	16 1.6%	1,003 100.0%
設問3	463 46.2%	368 36.7%	131 13.1%	30 3.0%	11 1.1%	1,003 100.0%
設問4	714 71.3%	210 21.0%	61 6.1%	12 1.2%	5 0.5%	1,002 100.0%
設問5	368 37.1%	449 45.3%	134 13.5%	27 2.7%	13 1.3%	991 100.0%

5 そう思う 4 どちらかといえばそう思う 3 どちらともいえない 2 どちらかといえばそう思わない 1 そう思わない

(3) グラフ



5 そう思う 4 どちらかといえばそう思う 3 どちらともいえない 2 どちらかといえばそう思わない 1 そう思わない

図 4.7.2 薬学部(演習・実験・実習)

4.8 工学部

4.8.1 講義

(1) 共通項目

- 設問1: シラバスは、授業の目標や計画及び評価方法を適切に示していた。
 設問2: 授業は目的達成のため計画的に進められた。
 設問3: 授業担当者の教え方は適切だった。
 設問4: 授業担当者は、学生が質問や相談をしやすい環境・雰囲気作りを行った。
 設問5: 自分は、シラバスに記載された授業目標を達成することができた。
 設問6: 自分は、この授業によって学習意欲が喚起された。
 設問7: 総合的にみて、この授業は自分にとって満足できるものであった。
 設問8: 授業の進度は適切だった。
 設問9: 授業の分量は適切だった。
 設問10: 授業内容は構造化され体系立てられていた。
 設問11: 毎回授業の目標がはっきり明示されていた。
 設問12: 進んで出席したくなる授業だった。
 設問13: 自分はこの授業に真面目に出席した。
 設問14: 自分はこの授業の予習・復習を行った。
 設問15: 自分で問題意識を持ち、考えようとした。
 設問16: 授業担当者の授業に対する熱意を感じた。

(2) 集計表

表 4.8.1 工学部(講義)

	5	4	3	2	1	n
設問1	4,995 31.2%	7,349 46.0%	3,140 19.6%	305 1.9%	204 1.3%	15,993 100.0%
設問2	5,076 31.7%	6,999 43.8%	3,125 19.5%	507 3.2%	285 1.8%	15,992 100.0%
設問3	4,718 29.5%	6,117 38.3%	3,603 22.5%	941 5.9%	605 3.8%	15,984 100.0%
設問4	4,199 26.3%	5,499 34.4%	4,493 28.1%	1,203 7.5%	588 3.7%	15,982 100.0%
設問5	3,166 19.8%	5,665 35.4%	5,656 35.4%	1,071 6.7%	429 2.7%	15,987 100.0%
設問6	3,462 21.7%	5,486 34.3%	4,921 30.8%	1,373 8.6%	740 4.6%	15,982 100.0%
設問7	3,897 24.4%	5,711 35.7%	4,478 28.0%	1,227 7.7%	670 4.2%	15,983 100.0%
設問8	4,635 29.0%	6,308 39.5%	3,694 23.1%	953 6.0%	398 2.5%	15,988 100.0%
設問9	4,512 28.2%	6,004 37.6%	3,982 24.9%	1,037 6.5%	452 2.8%	15,987 100.0%
設問10	4,411 27.6%	6,079 38.1%	4,257 26.6%	871 5.5%	358 2.2%	15,976 100.0%
設問11	4,580 28.7%	5,929 37.1%	4,144 25.9%	931 5.8%	395 2.5%	15,979 100.0%
設問12	3,570 22.4%	5,136 32.2%	5,049 31.6%	1,400 8.8%	812 5.1%	15,967 100.0%
設問13	7,508 47.0%	5,062 31.7%	2,589 16.2%	573 3.6%	236 1.5%	15,968 100.0%
設問14	2,794 17.5%	4,639 29.0%	5,410 33.9%	2,040 12.8%	1,087 6.8%	15,970 100.0%
設問15	3,374 21.1%	5,714 35.8%	5,176 32.4%	1,217 7.6%	481 3.0%	15,962 100.0%
設問16	5,469 35.2%	5,891 38.0%	3,201 20.6%	520 3.4%	437 2.8%	15,518 100.0%

5 □ そう思う 4 □ どちらかといえばそう思う 3 □ どちらともいえない 2 □ どちらかといえばそう思わない 1 □ そう思わない

(3) グラフ

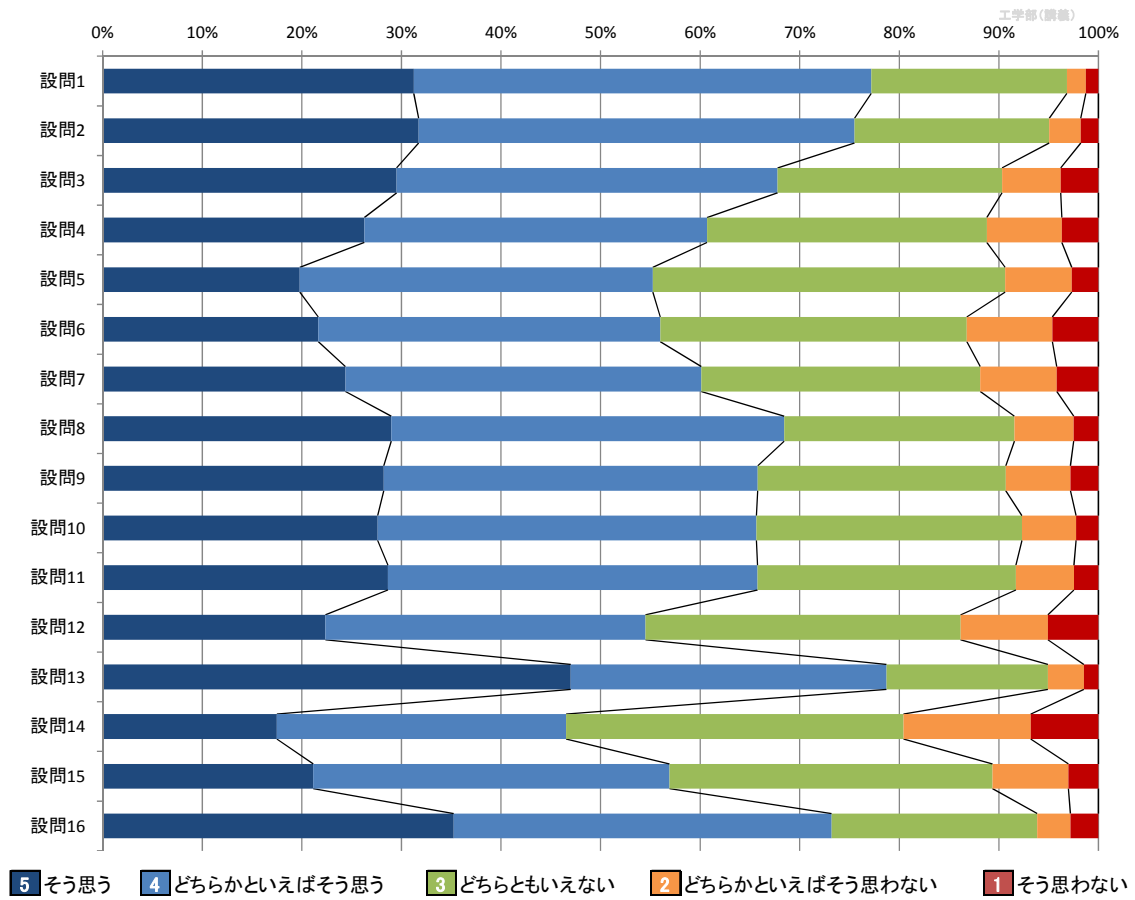


図 4.8.1 工学部(講義)

4.8.2 演習

(1) 共通項目

- 設問1: この演習に積極的に参加した。
 設問2: この演習の予習を十分に行った。
 設問3: この演習の復習を十分に行った。
 設問4: シラバスやテキストは、演習の目標や内容および評価方法を適切に示していた。
 設問5: 演習の内容は自分にとって興味深かった。
 設問6: 演習の範囲（量）は、自分にとって適当であった。
 設問7: 演習と他の授業との関連をよく理解できた。
 設問8: 演習の内容は役立つものであった。
 設問9: 担当者の説明はわかりやすかった。
 設問10: 演習の内容は、周到に準備されていた。
 設問11: テキストなどの資料は、演習に対する理解を深めるのに役立った。

(2) 集計表

表 4.8.2 工学部(演習)

	5	4	3	2	1	n
設問1	1,089 50.8%	766 35.7%	255 11.9%	27 1.3%	8 0.4%	2,145 100.0%
設問2	421 19.6%	700 32.6%	692 32.3%	216 10.1%	116 5.4%	2,145 100.0%
設問3	416 19.4%	765 35.7%	696 32.4%	179 8.3%	89 4.1%	2,145 100.0%
設問4	552 25.7%	947 44.2%	567 26.4%	58 2.7%	20 0.9%	2,144 100.0%
設問5	605 28.2%	850 39.7%	521 24.3%	109 5.1%	57 2.7%	2,142 100.0%
設問6	522 24.4%	790 36.9%	546 25.5%	199 9.3%	84 3.9%	2,141 100.0%
設問7	536 25.1%	842 39.4%	551 25.8%	147 6.9%	63 2.9%	2,139 100.0%
設問8	697 32.5%	913 42.6%	408 19.0%	88 4.1%	36 1.7%	2,142 100.0%
設問9	602 28.1%	806 37.7%	494 23.1%	160 7.5%	78 3.6%	2,140 100.0%
設問10	680 31.8%	825 38.5%	491 22.9%	104 4.9%	41 1.9%	2,141 100.0%
設問11	618 29.0%	820 38.5%	541 25.4%	98 4.6%	55 2.6%	2,132 100.0%

5 そう思う 4 どちらかといえばそう思う 3 どちらともいえない 2 どちらかといえばそう思わない 1 そう思わない

(3) グラフ

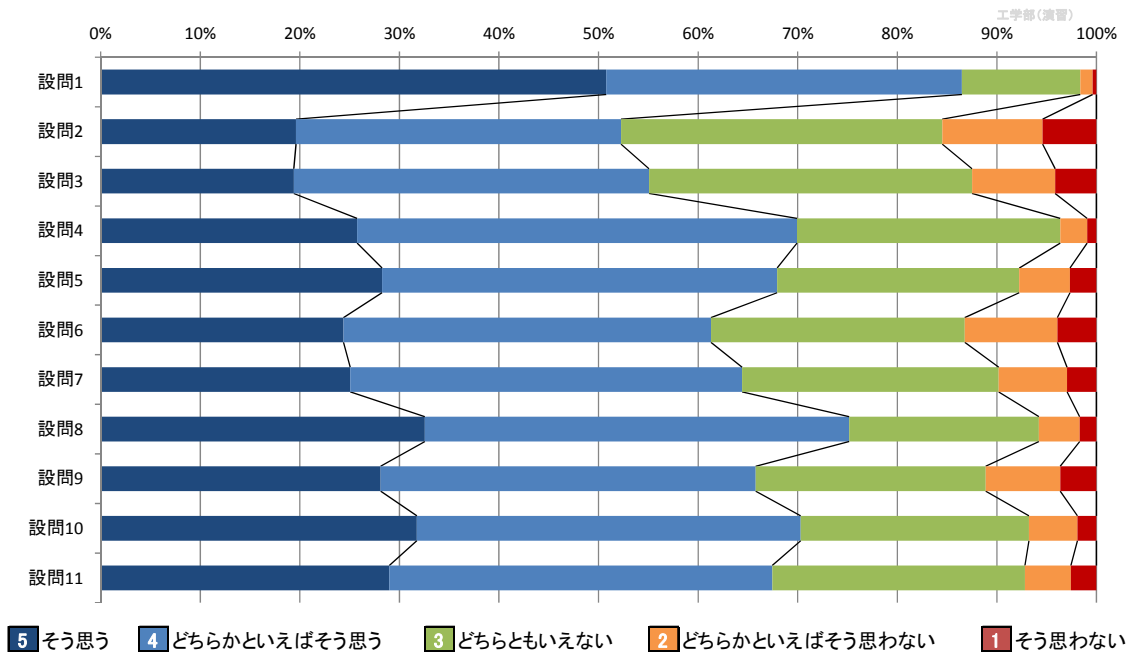


図 4.8.2 工学部(演習)

4.8.3 実験・実習

(1) 共通項目

- 設問1: この実験に積極的に参加した。
 設問2: この実験の予習を十分に行った。
 設問3: この実験の結果について十分に考察を行った。
 設問4: シラバスやテキストは、実験の目標や内容および評価方法を適切に示していた。
 設問5: 実験の内容は自分にとって興味深かった。
 設問6: 実験の範囲（量）は、自分にとって適当であった。
 設問7: 実験と他の授業との関連をよく理解できた。
 設問8: 実験の内容は役立つものであった。（実験方法の修得、器具の使用方法）
 設問9: 担当者の説明はわかりやすかった。
 設問10: 実験の内容は、周到に準備されていた。
 設問11: テキストなどの資料は、実験に対する理解を深めるのに役立った。

(2) 集計表

表 4.8.3 工学部(実験・実習)

	5	4	3	2	1	n
設問1	1,425 58.7%	797 32.9%	180 7.4%	18 0.7%	6 0.2%	2,426 100.0%
設問2	651 26.8%	861 35.5%	663 27.3%	180 7.4%	71 2.9%	2,426 100.0%
設問3	770 31.8%	1,146 47.3%	441 18.2%	53 2.2%	13 0.5%	2,423 100.0%
設問4	802 33.1%	1,083 44.7%	489 20.2%	41 1.7%	9 0.4%	2,424 100.0%
設問5	870 35.9%	1,005 41.5%	445 18.4%	77 3.2%	27 1.1%	2,424 100.0%
設問6	708 29.2%	979 40.4%	547 22.6%	145 6.0%	43 1.8%	2,422 100.0%
設問7	802 33.1%	977 40.3%	524 21.6%	105 4.3%	15 0.6%	2,423 100.0%
設問8	910 37.5%	1,056 43.5%	398 16.4%	50 2.1%	11 0.5%	2,425 100.0%
設問9	859 35.4%	1,006 41.5%	423 17.5%	96 4.0%	40 1.7%	2,424 100.0%
設問10	1,006 41.5%	947 39.1%	372 15.3%	67 2.8%	32 1.3%	2,424 100.0%
設問11	1,011 41.9%	959 39.7%	381 15.8%	45 1.9%	19 0.8%	2,415 100.0%

5 そう思う 4 どちらかといえばそう思う 3 どちらともいえない 2 どちらかといえばそう思わない 1 そう思わない

(3) グラフ

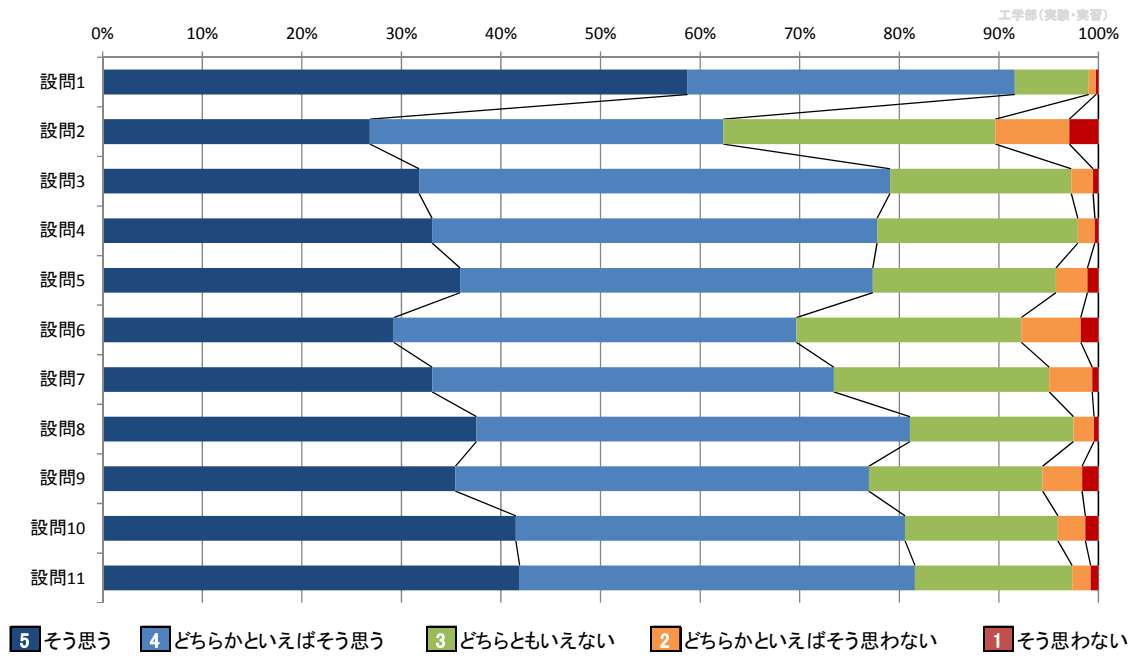


図 4.8.3 工学部(実験・実習)

4.8.4 卒業研究

(1) 共通項目

- 設問1: 研究目的を理解できた。
 設問2: 計画を立てて研究を進めた。
 設問3: 研究を主体的に進めることができた。
 設問4: 研究活動は自分にとって有意義であった。
 設問5: プレゼンテーション能力を身につけることができた。

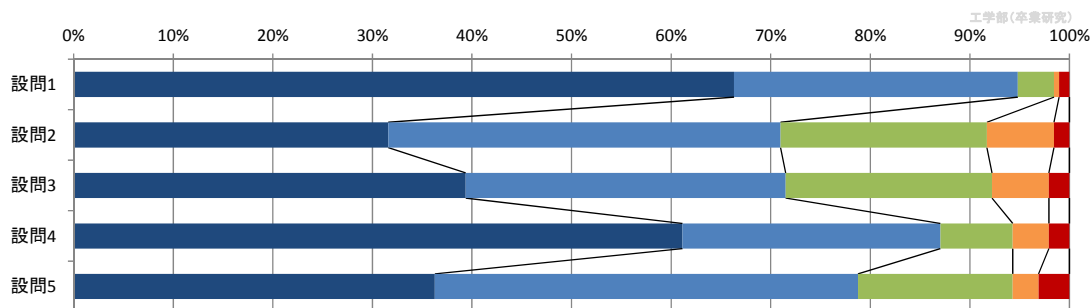
(2) 集計表

表 4.8.4 工学部(卒業研究)

	5	4	3	2	1	n
設問1	128 66.3%	55 28.5%	7 3.6%	1 0.5%	2 1.0%	193 100.0%
設問2	61 31.6%	76 39.4%	40 20.7%	13 6.7%	3 1.6%	193 100.0%
設問3	76 39.4%	62 32.1%	40 20.7%	11 5.7%	4 2.1%	193 100.0%
設問4	118 61.1%	50 25.9%	14 7.3%	7 3.6%	4 2.1%	193 100.0%
設問5	70 36.3%	82 42.5%	30 15.5%	5 2.6%	6 3.1%	193 100.0%

5 そう思う 4 どちらかといえばそう思う 3 どちらともいえない 2 どちらかといえばそう思わない 1 そう思わない

(3) グラフ



5 そう思う 4 どちらかといえばそう思う 3 どちらともいえない 2 どちらかといえばそう思わない 1 そう思わない

図 4.8.4 工学部(卒業研究)

4.9 環境科学部

4.9.1 講義

(1) 共通項目

- 設問1: シラバスは、授業の目標や計画及び評価方法を適切に示していた。
- 設問2: 授業は目的達成のため計画的に進められた。
- 設問3: 授業担当者の教え方は適切だった。
- 設問4: 授業担当者は、学生が質問や相談をしやすい環境・雰囲気作りを行った。
- 設問5: 自分は、シラバスに記載された授業目標を達成することができた。
- 設問6: 自分は、この授業によって学習意欲が喚起された。
- 設問7: 総合的にみて、この授業は自分にとって満足できるものであった。
- 設問8: 教材・教具（教科書、黒板、OHP など）の使われ方は効果的だった。
- 設問9: 授業担当者の話し方は聞き取りやすかった。
- 設問10: 抽象的な概念や理論があってもわかりやすかった。
- 設問11: 授業担当者は効果的に学生の参加（発言、作業）を促した。
- 設問12: 授業担当者は学生に適切な助言を与え、相談にのってくれた。
- 設問13: 授業担当者の授業に対する熱意を感じた。
- 設問14: 新しい知識や考え方などを習得でき、さらに勉強したくなった。
- 設問15: 自分は、この授業に意欲的に取り組んだ。
- 設問16: この授業の受講人数は適切であった。
- 設問17: 授業内容の分量は適切であった。
- 設問18: 全体として見て、授業内容のレベルは適切であった。
- 設問19: 全体として見て、授業内容を理解できた。

(2) 集計表

表 4.9.1 環境科学部(講義)

	5	4	3	2	1	n
設問1	2,079 40.3%	2,348 45.5%	620 12.0%	55 1.1%	54 1.0%	5,156 100.0%
設問2	2,137 41.5%	2,226 43.2%	639 12.4%	103 2.0%	50 1.0%	5,155 100.0%
設問3	1,845 35.8%	2,034 39.5%	866 16.8%	291 5.6%	118 2.3%	5,154 100.0%
設問4	1,593 30.9%	1,801 34.9%	1,279 24.8%	336 6.5%	145 2.8%	5,154 100.0%
設問5	1,074 20.8%	2,050 39.7%	1,569 30.4%	340 6.6%	125 2.4%	5,158 100.0%
設問6	1,256 24.4%	1,938 37.6%	1,358 26.3%	391 7.6%	211 4.1%	5,154 100.0%
設問7	1,488 28.9%	1,976 38.3%	1,148 22.3%	364 7.1%	178 3.5%	5,154 100.0%
設問8	1,741 33.8%	1,875 36.4%	1,037 20.1%	355 6.9%	150 2.9%	5,158 100.0%
設問9	1,903 36.9%	1,828 35.5%	925 17.9%	351 6.8%	147 2.9%	5,154 100.0%
設問10	1,302 25.3%	1,962 38.1%	1,378 26.7%	373 7.2%	140 2.7%	5,155 100.0%
設問11	1,346 26.1%	1,586 30.8%	1,502 29.1%	509 9.9%	210 4.1%	5,153 100.0%
設問12	1,212 23.5%	1,619 31.4%	1,818 35.3%	348 6.8%	156 3.0%	5,153 100.0%
設問13	1,959 38.0%	2,048 39.8%	908 17.6%	166 3.2%	71 1.4%	5,152 100.0%
設問14	1,241 24.1%	1,938 37.6%	1,419 27.5%	381 7.4%	174 3.4%	5,153 100.0%
設問15	1,403 27.2%	2,029 39.4%	1,261 24.5%	331 6.4%	128 2.5%	5,152 100.0%
設問16	2,070 40.7%	1,745 34.3%	826 16.2%	329 6.5%	119 2.3%	5,089 100.0%
設問17	1,674 32.9%	1,993 39.2%	1,057 20.8%	273 5.4%	91 1.8%	5,088 100.0%
設問18	1,526 30.0%	2,070 40.7%	1,105 21.7%	282 5.5%	104 2.0%	5,087 100.0%
設問19	1,154 23.0%	2,062 41.2%	1,241 24.8%	389 7.8%	163 3.3%	5,009 100.0%

5 そう思う 4 どちらかといえばそう思う 3 どちらともいえない 2 どちらかといえばそう思わない 1 そう思わない

(3) グラフ

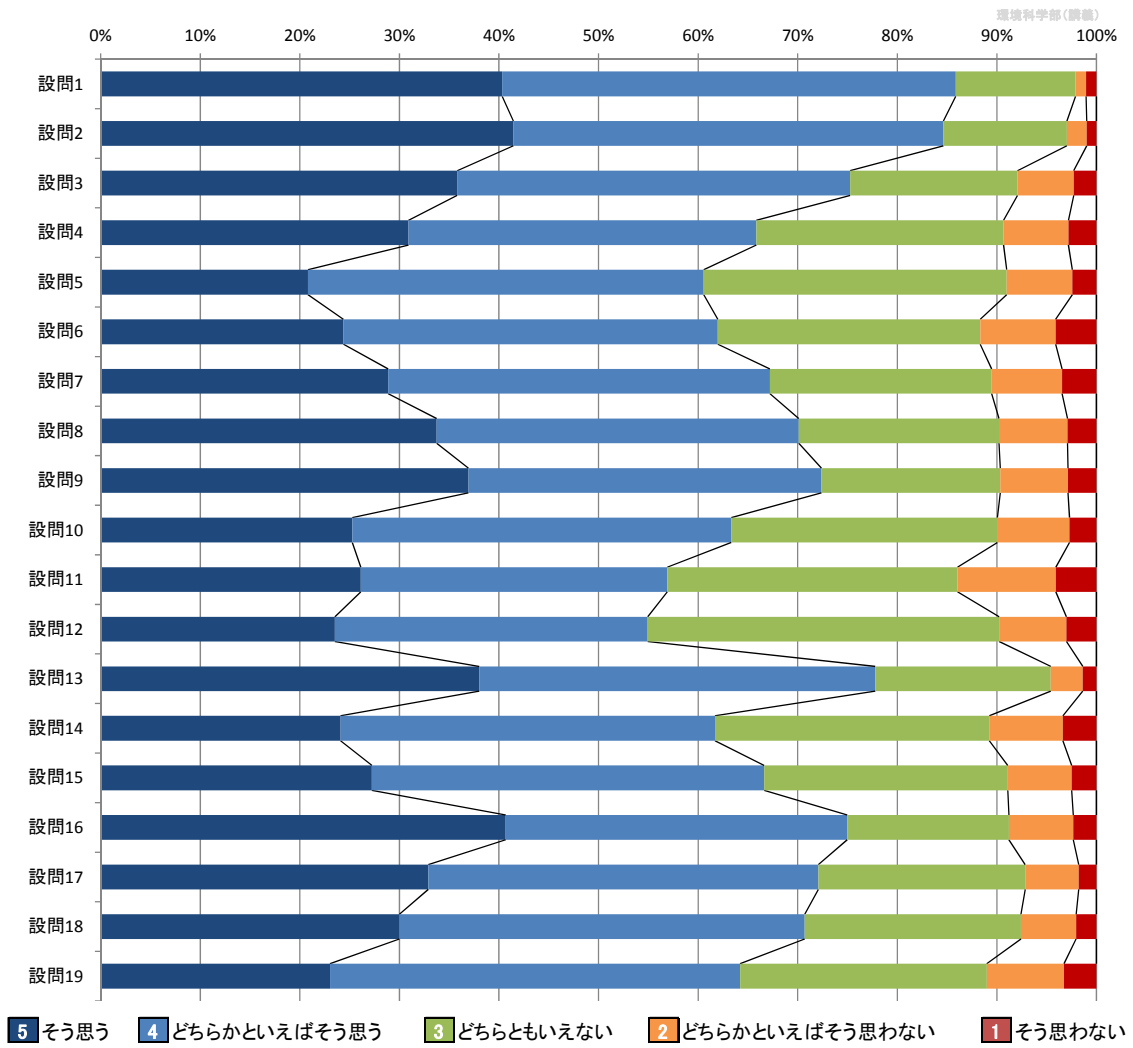


図 4.9.1 環境科学部(講義)

4.9.2 演習・実験・実習（環境政策）

(1) 共通項目

- 設問1: 演習の目的や内容及び評価方法は適切に示されていた。
 設問2: パソコンや資料提示装置等の設備は十分であった。
 設問3: 教員は提出物（レポート）の添削，返却を心掛けていた。
 設問4: 演習の受講生数は多すぎることなく適切であった。
 設問5: 演習室は狭すぎることなく適切であった。
 設問6: 自分は，この演習に意欲的に取り組んだ。
 設問7: 演習担当者は学生に適切な助言を与え，相談に乗ってくれた。
 設問8: 文献の調べ方など，論文作成に向けての基礎的な能力が身に付いた。

(2) 集計表

表 4.9.2 環境科学部(演習・実験・実習(環境政策))

	5	4	3	2	1	n
設問1	200 62.5%	103 32.2%	16 5.0%	1 0.3%	0 0.0%	320 100.0%
設問2	164 51.3%	107 33.4%	45 14.1%	3 0.9%	1 0.3%	320 100.0%
設問3	142 44.2%	76 23.7%	77 24.0%	15 4.7%	11 3.4%	321 100.0%
設問4	191 59.5%	77 24.0%	34 10.6%	16 5.0%	3 0.9%	321 100.0%
設問5	166 51.9%	89 27.8%	38 11.9%	21 6.6%	6 1.9%	320 100.0%
設問6	145 45.2%	139 43.3%	30 9.3%	6 1.9%	1 0.3%	321 100.0%
設問7	186 57.9%	80 24.9%	45 14.0%	9 2.8%	1 0.3%	321 100.0%
設問8	126 39.4%	107 33.4%	64 20.0%	16 5.0%	7 2.2%	320 100.0%

5 そう思う 4 どちらかといえばそう思う 3 どちらともいえない 2 どちらかといえばそう思わない 1 そう思わない

(3) グラフ

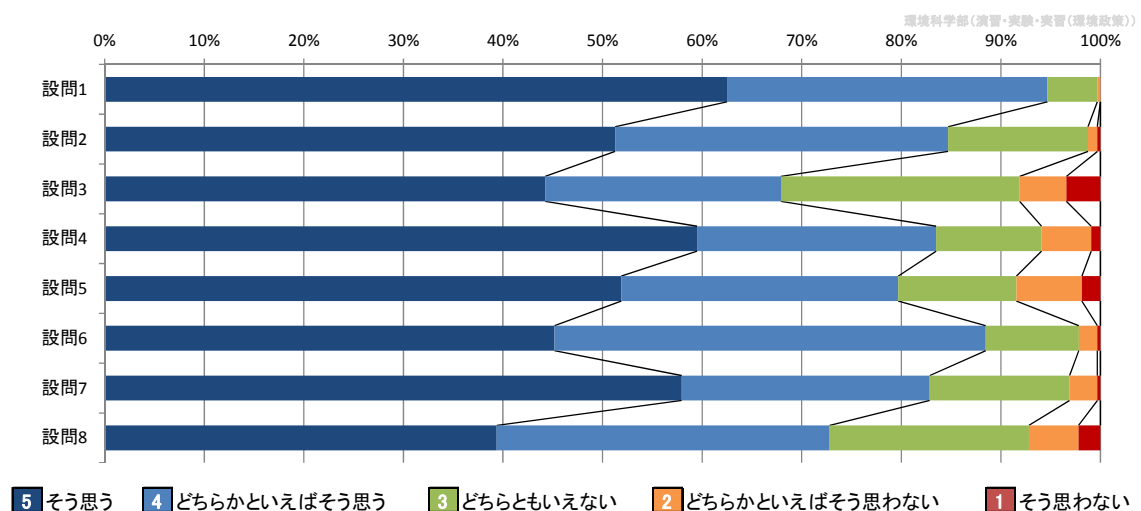


図 4.9.2 環境科学部(演習・実験・実習(環境政策))

4.9.3 演習・実験・実習（環境保全設計）

(1) 共通項目

- 設問1: 実験，演習の目的や内容及び評価方法は適切に示されていた。
 設問2: 実験，演習の受講生数は多すぎることなく適切であった。
 設問3: 実験，演習室の広さは狭すぎることなく適切であった。
 設問4: 実験，演習の装置設備等は十分であった。
 設問5: 実験時の安全性に不安はなかった。
 設問6: 自分は，この実験，演習に意欲的に取り組んだ。
 設問7: 実験，演習担当者は学生に適切な助言を与えてくれた。
 設問8: 教員は提出物（レポート）の添削，返却を心掛けていた。
 設問9: 演習担当者は学生に適切な助言を与え，相談に乗ってくれた。

(2) 集計表

表 4.9.3 環境科学部(演習・実験・実習(環境保全設計))

	5	4	3	2	1	n
設問1	267 55.2%	180 37.2%	27 5.6%	7 1.4%	3 0.6%	484 100.0%
設問2	330 68.2%	130 26.9%	19 3.9%	4 0.8%	1 0.2%	484 100.0%
設問3	283 58.5%	134 27.7%	40 8.3%	19 3.9%	8 1.7%	484 100.0%
設問4	273 56.4%	144 29.8%	53 11.0%	10 2.1%	4 0.8%	484 100.0%
設問5	327 67.6%	98 20.2%	49 10.1%	7 1.4%	3 0.6%	484 100.0%
設問6	260 53.7%	183 37.8%	30 6.2%	9 1.9%	2 0.4%	484 100.0%
設問7	260 53.7%	171 35.3%	42 8.7%	9 1.9%	2 0.4%	484 100.0%
設問8	176 36.4%	102 21.1%	144 29.8%	43 8.9%	19 3.9%	484 100.0%
設問9	228 47.3%	155 32.2%	89 18.5%	6 1.2%	4 0.8%	482 100.0%

5 そう思う 4 どちらかといえばそう思う 3 どちらともいえない 2 どちらかといえばそう思わない 1 そう思わない

(3) グラフ

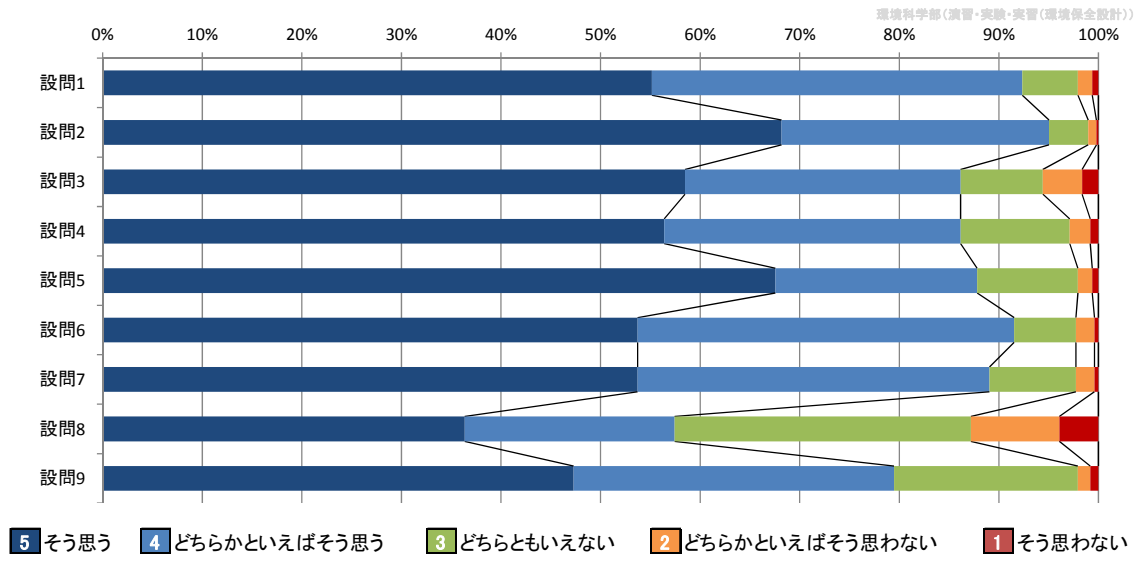


図 4.9.3 環境科学部(演習・実験・実習(環境保全設計))

4.10 水産学部

4.10.1 概論・基礎

(1) 共通項目

- 設問1: シラバスは、授業の目標や計画及び評価方法を適切に示していた。
- 設問2: 授業は目的達成のため計画的に進められた。
- 設問3: 授業担当者の教え方は適切だった。
- 設問4: 授業担当者は、学生が質問や相談をしやすい環境・雰囲気作りを行った。
- 設問5: 自分は、シラバスに記載された授業目標を達成することができた。
- 設問6: 自分は、この授業によって学習意欲が喚起された。
- 設問7: 総合的にみて、この授業は自分にとって満足できるものであった。
- 設問8: 授業の学習目標が明確に示されていた。
- 設問9: 授業内容は体系立てられていた。
- 設問10: 広い視点から解説した授業内容であった。
- 設問11: 自然や社会との関わりが理解できた。
- 設問12: 問題点や課題の所在がよく分かった。
- 設問13: 自然科学などの学問領域のなかでの位置づけが理解できた。
- 設問14: 板書や資料は見やすかった。
- 設問15: 話を明確に聞き取ることができ、その内容を理解できた。
- 設問16: 分からないときにはいつでも質問できる雰囲気がある。
- 設問17: この授業分野を独自に学習できる基本的素養を得た。
- 設問18: 授業の分量は適切だった。
- 設問19: 自分で問題意識を持ち考えようとした。
- 設問20: 進んで出席したくなる授業であった。
- 設問21: この授業を理解するために図書館を利用した。
- 設問22: 教科書・参考書を自習に役立てた。

(2) 集計表

表 4.10.1 水産学部(概論・基礎)

	5	4	3	2	1	n
設問1	1,114 40.2%	1,214 43.8%	393 14.2%	37 1.3%	16 0.6%	2,774 100.0%
設問2	1,092 39.4%	1,197 43.2%	405 14.6%	48 1.7%	29 1.0%	2,771 100.0%
設問3	1,056 38.1%	1,082 39.0%	487 17.6%	100 3.6%	47 1.7%	2,772 100.0%
設問4	833 30.1%	1,047 37.8%	670 24.2%	164 5.9%	58 2.1%	2,772 100.0%
設問5	660 23.8%	1,048 37.8%	844 30.4%	165 6.0%	56 2.0%	2,773 100.0%
設問6	785 28.3%	1,024 36.9%	698 25.2%	185 6.7%	81 2.9%	2,773 100.0%
設問7	853 30.8%	1,082 39.0%	587 21.2%	174 6.3%	75 2.7%	2,771 100.0%
設問8	928 33.5%	1,136 41.0%	579 20.9%	99 3.6%	29 1.0%	2,771 100.0%
設問9	1,044 37.7%	1,107 40.0%	500 18.1%	90 3.2%	29 1.0%	2,770 100.0%
設問10	978 35.4%	1,107 40.1%	554 20.0%	97 3.5%	28 1.0%	2,764 100.0%
設問11	846 30.6%	1,029 37.2%	703 25.4%	133 4.8%	58 2.1%	2,769 100.0%
設問12	811 29.3%	1,015 36.7%	725 26.2%	158 5.7%	60 2.2%	2,769 100.0%
設問13	805 29.1%	1,056 38.2%	714 25.8%	139 5.0%	53 1.9%	2,767 100.0%
設問14	943 34.1%	980 35.4%	553 20.0%	192 6.9%	101 3.6%	2,769 100.0%
設問15	791 28.6%	1,053 38.1%	647 23.4%	192 6.9%	84 3.0%	2,767 100.0%
設問16	698 25.5%	933 34.0%	764 27.9%	236 8.6%	111 4.0%	2,742 100.0%
設問17	633 23.1%	1,018 37.1%	810 29.6%	197 7.2%	83 3.0%	2,741 100.0%
設問18	875 31.9%	1,013 37.0%	635 23.2%	131 4.8%	85 3.1%	2,739 100.0%
設問19	665 24.3%	932 34.0%	863 31.5%	193 7.0%	85 3.1%	2,738 100.0%
設問20	795 29.0%	934 34.1%	723 26.4%	155 5.7%	130 4.7%	2,737 100.0%
設問21	734 26.9%	657 24.0%	664 24.3%	219 8.0%	459 16.8%	2,733 100.0%
設問22	624 23.4%	643 24.1%	743 27.9%	255 9.6%	401 15.0%	2,666 100.0%

5 そう思う 4 どちらかといえばそう思う 3 どちらともいえない 2 どちらかといえばそう思わない 1 そう思わない

(3) グラフ

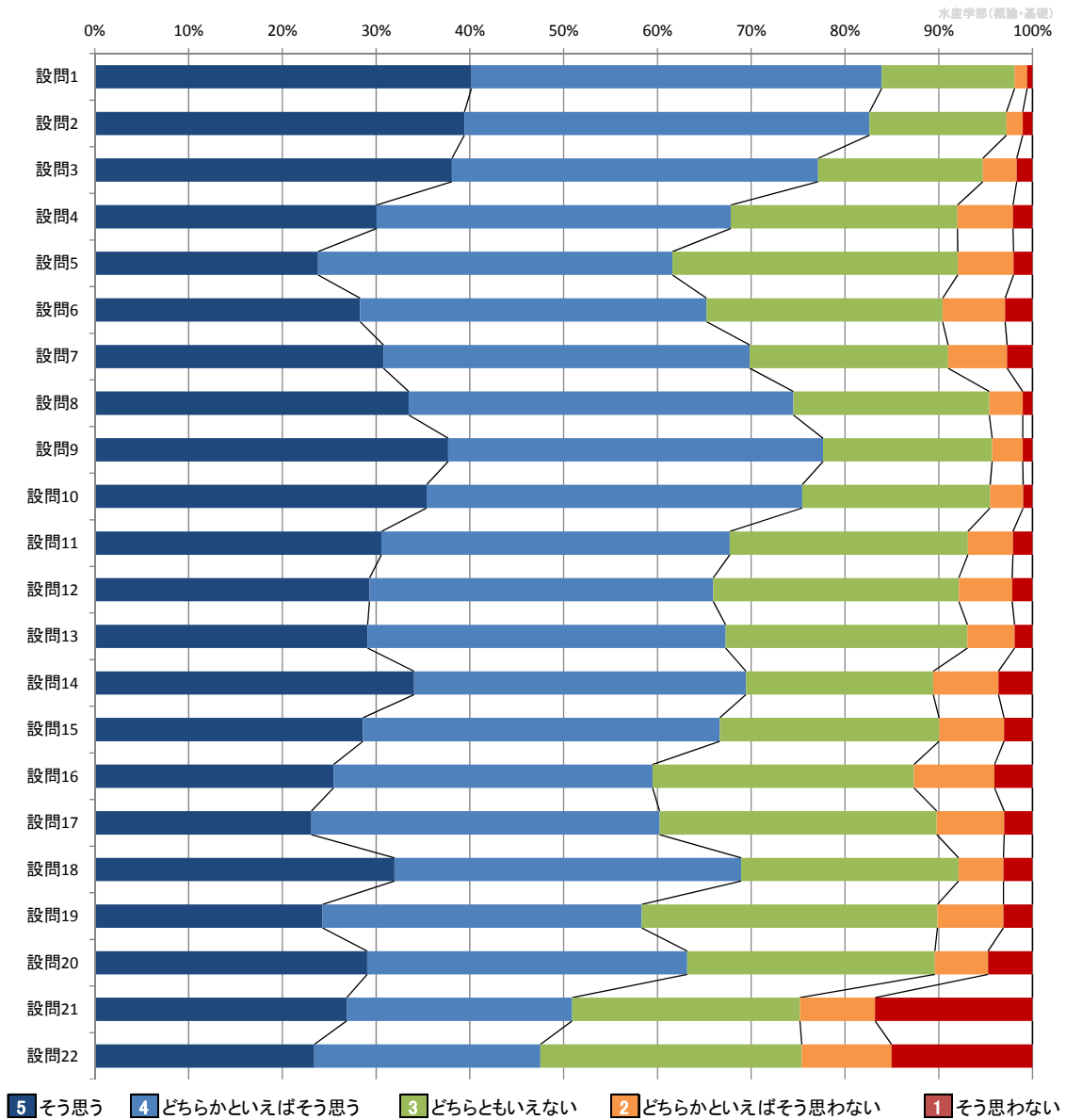


図 4.10.1 水産学部(概論・基礎)

4.10.2 コース

(1) 共通項目

- 設問1: シラバスは、授業の目標や計画及び評価方法を適切に示していた。
- 設問2: 授業は目的達成のため計画的に進められた。
- 設問3: 授業担当者の教え方は適切だった。
- 設問4: 授業担当者は、学生が質問や相談をしやすい環境・雰囲気作りを行った。
- 設問5: 自分は、シラバスに記載された授業目標を達成することができた。
- 設問6: 自分は、この授業によって学習意欲が喚起された。
- 設問7: 総合的にみて、この授業は自分にとって満足できるものであった。
- 設問8: 授業の学習目標が明確に示されていた。
- 設問9: 授業内容は体系立てられていた。
- 設問10: 自然や社会との関わりが理解できた。
- 設問11: 問題点や課題の所在がよく分かった。
- 設問12: 板書や資料は見やすかった。
- 設問13: 話を明確に聞き取ることができ、その内容を理解できた。
- 設問14: 分からないときにはいつでも質問できる雰囲気がある。
- 設問15: 授業の分量は適切だった。
- 設問16: 自分で問題意識を持ち考えようとした。
- 設問17: 進んで出席したくなる授業であった。
- 設問18: この授業を理解するために図書館を利用した。
- 設問19: 教科書・参考書を自習に役立てた。
- 設問20: 関連の情報を的確に受け入れる能力を習得した。
- 設問21: 授業から得た知識や技術を論理的に記述でき、第3者に説明できる。

(2) 集計表

表 4.10.2 水産学部(コース)

	5	4	3	2	1	n
設問1	669 45.1%	640 43.2%	159 10.7%	8 0.5%	7 0.5%	1,483 100.0%
設問2	689 46.5%	601 40.6%	166 11.2%	18 1.2%	8 0.5%	1,482 100.0%
設問3	677 45.7%	555 37.4%	196 13.2%	39 2.6%	16 1.1%	1,483 100.0%
設問4	572 38.6%	519 35.1%	288 19.5%	84 5.7%	17 1.1%	1,480 100.0%
設問5	409 27.6%	593 40.0%	364 24.6%	87 5.9%	29 2.0%	1,482 100.0%
設問6	506 34.1%	555 37.4%	302 20.4%	79 5.3%	40 2.7%	1,482 100.0%
設問7	551 37.2%	573 38.7%	259 17.5%	67 4.5%	31 2.1%	1,481 100.0%
設問8	643 43.4%	586 39.6%	216 14.6%	27 1.8%	9 0.6%	1,481 100.0%
設問9	678 45.7%	572 38.6%	185 12.5%	37 2.5%	11 0.7%	1,483 100.0%
設問10	605 40.8%	558 37.6%	242 16.3%	61 4.1%	17 1.1%	1,483 100.0%
設問11	526 35.5%	606 40.9%	265 17.9%	62 4.2%	22 1.5%	1,481 100.0%
設問12	563 38.0%	507 34.2%	273 18.4%	101 6.8%	37 2.5%	1,481 100.0%
設問13	465 31.4%	589 39.8%	290 19.6%	104 7.0%	32 2.2%	1,480 100.0%
設問14	480 32.4%	503 34.0%	353 23.9%	108 7.3%	36 2.4%	1,480 100.0%
設問15	546 36.9%	524 35.5%	307 20.8%	75 5.1%	26 1.8%	1,478 100.0%
設問16	389 26.3%	600 40.6%	375 25.4%	81 5.5%	33 2.2%	1,478 100.0%
設問17	498 33.6%	550 37.2%	300 20.3%	91 6.1%	41 2.8%	1,480 100.0%
設問18	358 24.2%	299 20.2%	399 27.0%	109 7.4%	312 21.1%	1,477 100.0%
設問19	385 26.0%	351 23.7%	393 26.6%	104 7.0%	245 16.6%	1,478 100.0%
設問20	343 23.2%	531 35.9%	433 29.3%	100 6.8%	72 4.9%	1,479 100.0%
設問21	291 19.9%	450 30.7%	463 31.6%	147 10.0%	114 7.8%	1,465 100.0%

5 そう思う 4 どちらかといえばそう思う 3 どちらともいえない 2 どちらかといえばそう思わない 1 そう思わない

(3) グラフ

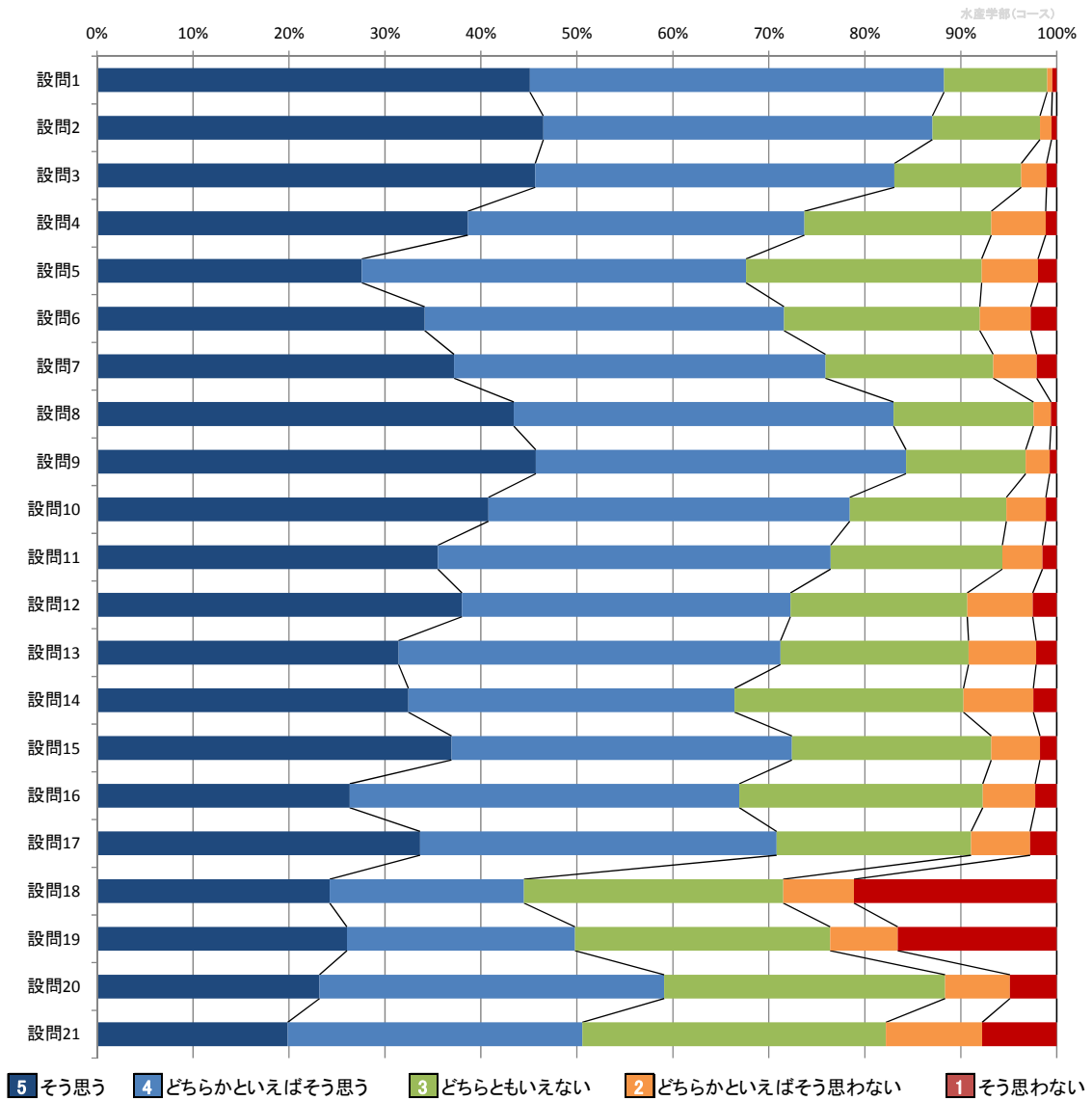


図 4.10.2 水産学部(コース)

4.10.3 実験・実習

(1) 共通項目

- 設問1: シラバスは、授業の目標や計画及び評価方法を適切に示していた。
- 設問2: 授業は目的達成のため計画的に進められた。
- 設問3: 授業担当者の教え方は適切だった。
- 設問4: 授業担当者は、学生が質問や相談をしやすい環境・雰囲気作りを行った。
- 設問5: 自分は、シラバスに記載された授業目標を達成することができた。
- 設問6: 自分は、この授業によって学習意欲が喚起された。
- 設問7: 総合的にみて、この授業は自分にとって満足できるものであった。
- 設問8: 授業の学習目標が明確に示されていた。
- 設問9: 授業内容は体系立てられていた。
- 設問10: 分からないときにはいつでも質問できる雰囲気がある。
- 設問11: 授業の分量は適切だった。
- 設問12: 自分で問題意識を持ち考えようとした。
- 設問13: 進んで出席したくなる授業であった。
- 設問14: この授業を理解するために図書館を利用した。
- 設問15: 教科書・参考書を自習に役立てた。
- 設問16: 課題に一生懸命取り組んだ。
- 設問17: 関連の情報を的確に受け入れる能力を習得した。
- 設問18: 習得した専門知識や技術を応用できる。
- 設問19: 方法論が理解できた。

(2) 集計表

表 4.10.3 水産学部(実験・実習)

	5	4	3	2	1	n
設問1	543 52.0%	402 38.5%	94 9.0%	2 0.2%	3 0.3%	1,044 100.0%
設問2	591 56.6%	348 33.3%	89 8.5%	11 1.1%	5 0.5%	1,044 100.0%
設問3	608 58.3%	314 30.1%	91 8.7%	20 1.9%	10 1.0%	1,043 100.0%
設問4	655 62.8%	275 26.4%	77 7.4%	23 2.2%	13 1.2%	1,043 100.0%
設問5	361 34.6%	499 47.8%	151 14.5%	25 2.4%	7 0.7%	1,043 100.0%
設問6	455 43.6%	384 36.8%	145 13.9%	42 4.0%	17 1.6%	1,043 100.0%
設問7	529 50.8%	365 35.0%	114 10.9%	25 2.4%	9 0.9%	1,042 100.0%
設問8	519 49.8%	399 38.3%	108 10.4%	14 1.3%	3 0.3%	1,043 100.0%
設問9	544 52.2%	365 35.0%	117 11.2%	14 1.3%	2 0.2%	1,042 100.0%
設問10	636 61.1%	273 26.2%	90 8.6%	33 3.2%	9 0.9%	1,041 100.0%
設問11	519 49.9%	341 32.8%	129 12.4%	32 3.1%	20 1.9%	1,041 100.0%
設問12	354 34.0%	441 42.3%	192 18.4%	40 3.8%	15 1.4%	1,042 100.0%
設問13	480 46.1%	338 32.5%	153 14.7%	38 3.7%	32 3.1%	1,041 100.0%
設問14	195 18.8%	187 18.0%	216 20.8%	87 8.4%	355 34.1%	1,040 100.0%
設問15	194 18.7%	221 21.3%	243 23.4%	89 8.6%	293 28.2%	1,040 100.0%
設問16	636 61.1%	318 30.5%	70 6.7%	10 1.0%	7 0.7%	1,041 100.0%
設問17	340 32.7%	450 43.2%	213 20.5%	30 2.9%	8 0.8%	1,041 100.0%
設問18	257 24.8%	415 40.0%	287 27.6%	55 5.3%	24 2.3%	1,038 100.0%
設問19	301 29.2%	441 42.8%	235 22.8%	36 3.5%	18 1.7%	1,031 100.0%

5 そう思う 4 どちらかといえばそう思う 3 どちらともいえない 2 どちらかといえばそう思わない 1 そう思わない

(3) グラフ

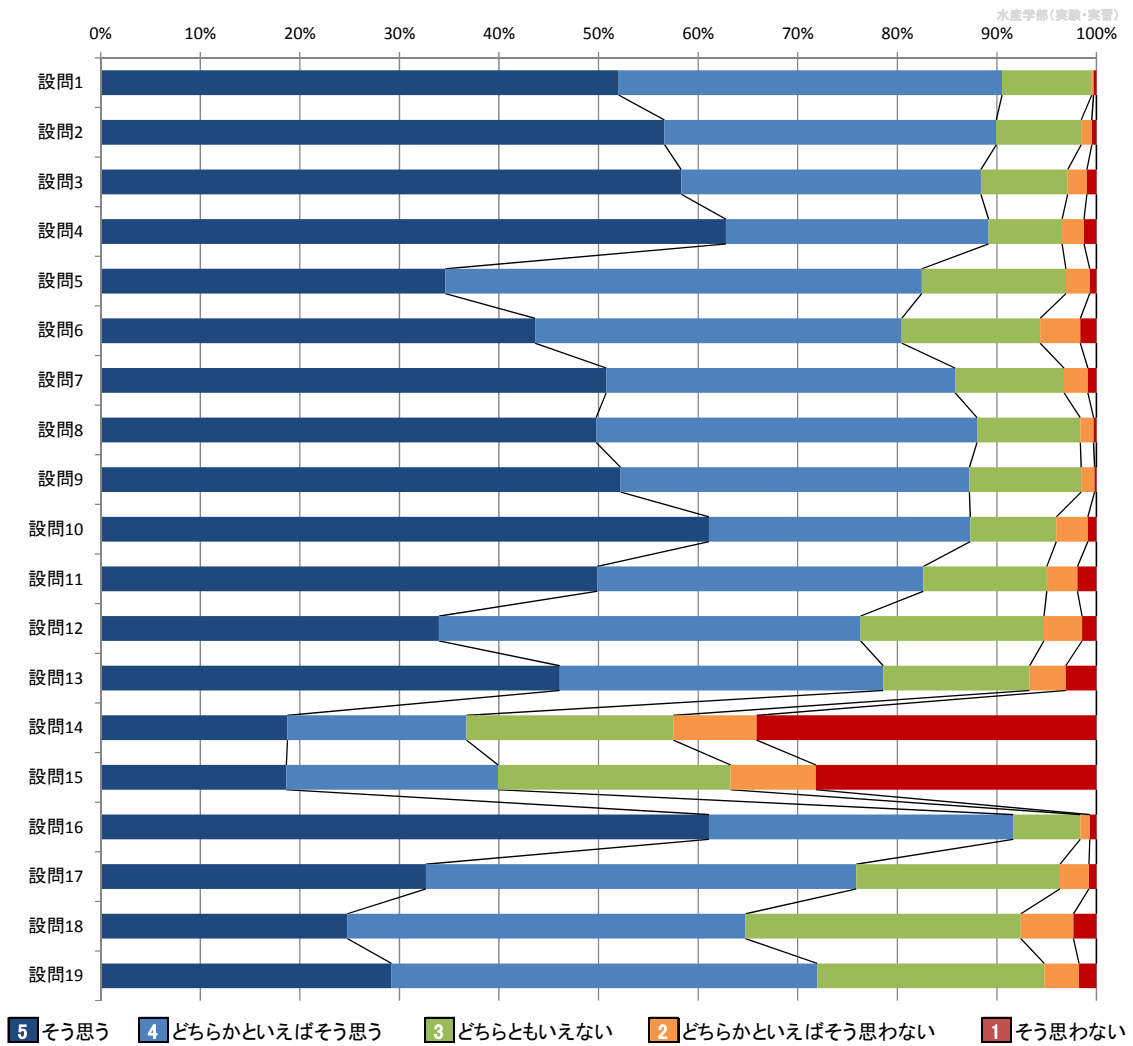


図 4.10.3 水産学部(実験・実習)

4.10.4 その他

(1) 共通項目

- 設問1: シラバスは、授業の目標や計画及び評価方法を適切に示していた。
 設問2: 授業は目的達成のため計画的に進められた。
 設問3: 授業担当者の教え方は適切だった。
 設問4: 授業担当者は、学生が質問や相談をしやすい環境・雰囲気作りを行った。
 設問5: 自分は、シラバスに記載された授業目標を達成することができた。
 設問6: 自分は、この授業によって学習意欲が喚起された。
 設問7: 総合的にみて、この授業は自分にとって満足できるものであった。

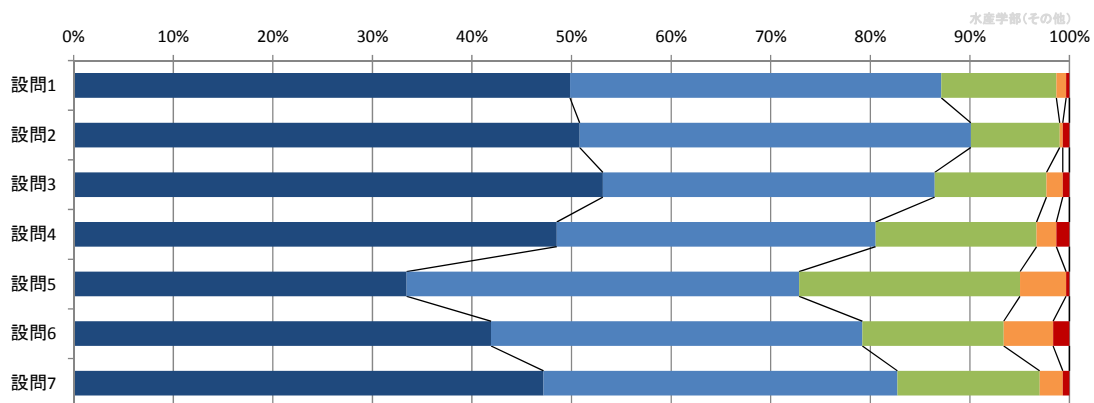
(2) 集計表

表 4.10.4 水産学部(その他)

	5	4	3	2	1	n
設問1	151 49.8%	113 37.3%	35 11.6%	3 1.0%	1 0.3%	303 100.0%
設問2	154 50.8%	119 39.3%	27 8.9%	1 0.3%	2 0.7%	303 100.0%
設問3	161 53.1%	101 33.3%	34 11.2%	5 1.7%	2 0.7%	303 100.0%
設問4	147 48.5%	97 32.0%	49 16.2%	6 2.0%	4 1.3%	303 100.0%
設問5	101 33.4%	119 39.4%	67 22.2%	14 4.6%	1 0.3%	302 100.0%
設問6	127 41.9%	113 37.3%	43 14.2%	15 5.0%	5 1.7%	303 100.0%
設問7	142 47.2%	107 35.5%	43 14.3%	7 2.3%	2 0.7%	301 100.0%

5 そう思う 4 どちらかといえばそう思う 3 どちらともいえない 2 どちらかといえばそう思わない 1 そう思わない

(3) グラフ



5 そう思う 4 どちらかといえばそう思う 3 どちらともいえない 2 どちらかといえばそう思わない 1 そう思わない

図 4.10.4 水産学部(その他)

4.10.5 卒業研究

(1) 共通項目

設問1: 授業を理解できた。

(2) 集計表

表 4.10.5 水産学部(卒業研究)

	5	4	3	2	1	n
設問1	163 51.9%	127 40.4%	21 6.7%	1 0.3%	2 0.6%	314 100.0%

5 そう思う 4 どちらかといえばそう思う 3 どちらともいえない 2 どちらかといえばそう思わない 1 そう思わない

(3) グラフ

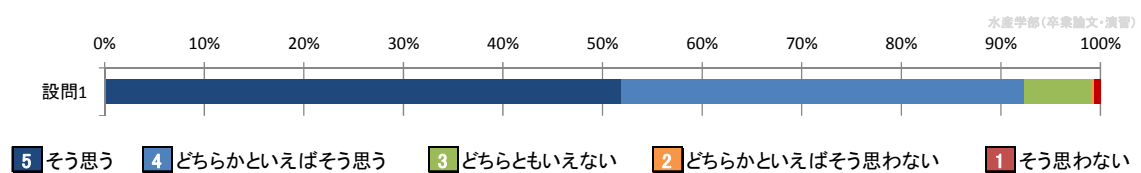


図 4.10.5 水産学部(卒業研究)

4.11 医学部保健学科

4.11.1 講義

(1) 共通項目

設問1: シラバスは、授業の目標や計画及び評価方法を適切に示していた。

設問2: 授業は目的達成のため計画的に進められた。

設問3: 授業担当者の教え方は適切だった。

設問4: 授業担当者は、学生が質問や相談をしやすい環境・雰囲気作りを行った。

設問5: 自分は、シラバスに記載された授業目標を達成することができた。

設問6: 自分は、この授業によって学習意欲が喚起された。

設問7: 総合的にみて、この授業は自分にとって満足できるものであった。

(2) 集計表

表 4.11.1 医学部保健学科(講義)

	5	4	3	2	1	n
設問1	3,586 58.9%	2,067 33.9%	388 6.4%	40 0.7%	9 0.1%	6,090 100.0%
設問2	3,535 58.0%	2,043 33.5%	422 6.9%	74 1.2%	16 0.3%	6,090 100.0%
設問3	3,279 53.9%	1,945 31.9%	630 10.3%	172 2.8%	63 1.0%	6,089 100.0%
設問4	3,052 50.1%	2,015 33.1%	793 13.0%	162 2.7%	66 1.1%	6,088 100.0%
設問5	2,199 36.1%	2,654 43.6%	1,016 16.7%	160 2.6%	57 0.9%	6,086 100.0%
設問6	2,750 45.2%	2,246 36.9%	785 12.9%	209 3.4%	91 1.5%	6,081 100.0%
設問7	2,945 48.4%	2,134 35.1%	750 12.3%	181 3.0%	69 1.1%	6,079 100.0%

5 そう思う 4 どちらかといえばそう思う 3 どちらともいえない 2 どちらかといえばそう思わない 1 そう思わない

(3) グラフ

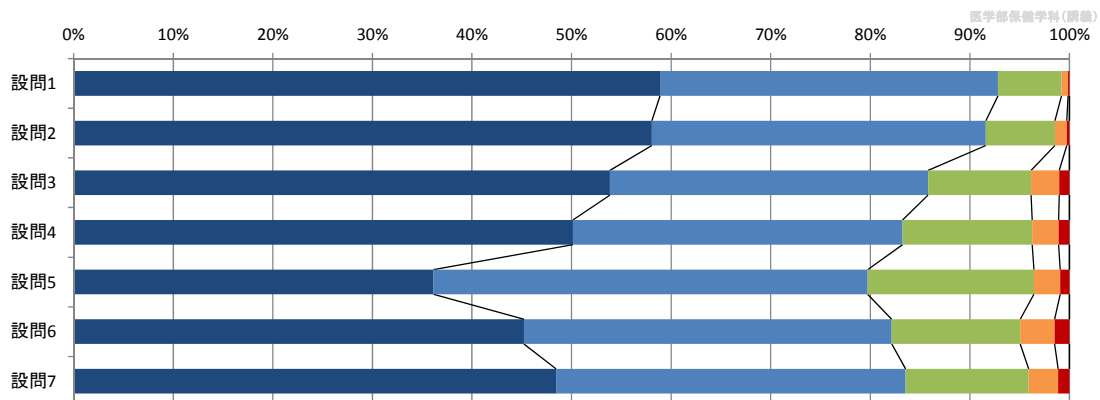


図 4.11.1 医学部保健学科(講義)

5 そう思う 4 どちらかといえばそう思う 3 どちらともいえない 2 どちらかといえばそう思わない 1 そう思わない

4.11.2 演習・実験・実習

(1) 共通項目

設問1: シラバスは、学習目標や内容及び評価方法を適切に示していた。

設問2: 担当教員（臨地・臨床実習では実習指導者も含む）は、学生が質問や相談をしやすい環境・雰囲気作りを行った。

設問3: 担当教員（臨地・臨床実習では実習指導者も含む）の指導は適切であった。

設問4: レポート・記録・発表資料などの指導、助言は適切であった。

設問5: 発表をする機会があり、有意義であった。

設問6: 担当教員（臨地・臨床実習では実習指導者も含む）とディスカッションをする機会があった。

設問7: 自分は、シラバスに記載された目標を達成することができた。

設問8: 専門分野における学習意欲が喚起された。

設問9: 自分は各課題に対し、意欲的に取り組んだ。

設問10: 総合的にみて、自分にとって満足できるものであった。

(2) 集計表

表 4.11.2 医学部保健学科(演習・実験・実習)

	5	4	3	2	1	n
設問1	860 63.9%	427 31.7%	57 4.2%	2 0.1%	0 0.0%	1,346 100.0%
設問2	942 70.0%	315 23.4%	60 4.5%	18 1.3%	11 0.8%	1,346 100.0%
設問3	913 67.9%	329 24.5%	73 5.4%	23 1.7%	7 0.5%	1,345 100.0%
設問4	827 61.5%	396 29.4%	101 7.5%	19 1.4%	2 0.1%	1,345 100.0%
設問5	792 59.0%	386 28.7%	141 10.5%	19 1.4%	5 0.4%	1,343 100.0%
設問6	868 64.6%	343 25.5%	114 8.5%	13 1.0%	6 0.4%	1,344 100.0%
設問7	570 42.4%	611 45.4%	137 10.2%	22 1.6%	5 0.4%	1,345 100.0%
設問8	835 62.2%	414 30.8%	75 5.6%	15 1.1%	3 0.2%	1,342 100.0%
設問9	813 60.5%	456 34.0%	65 4.8%	8 0.6%	1 0.1%	1,343 100.0%
設問10	818 61.0%	426 31.8%	82 6.1%	12 0.9%	2 0.1%	1,340 100.0%

5 そう思う 4 どちらかといえばそう思う 3 どちらともいえない 2 どちらかといえばそう思わない 1 そう思わない

(3) グラフ

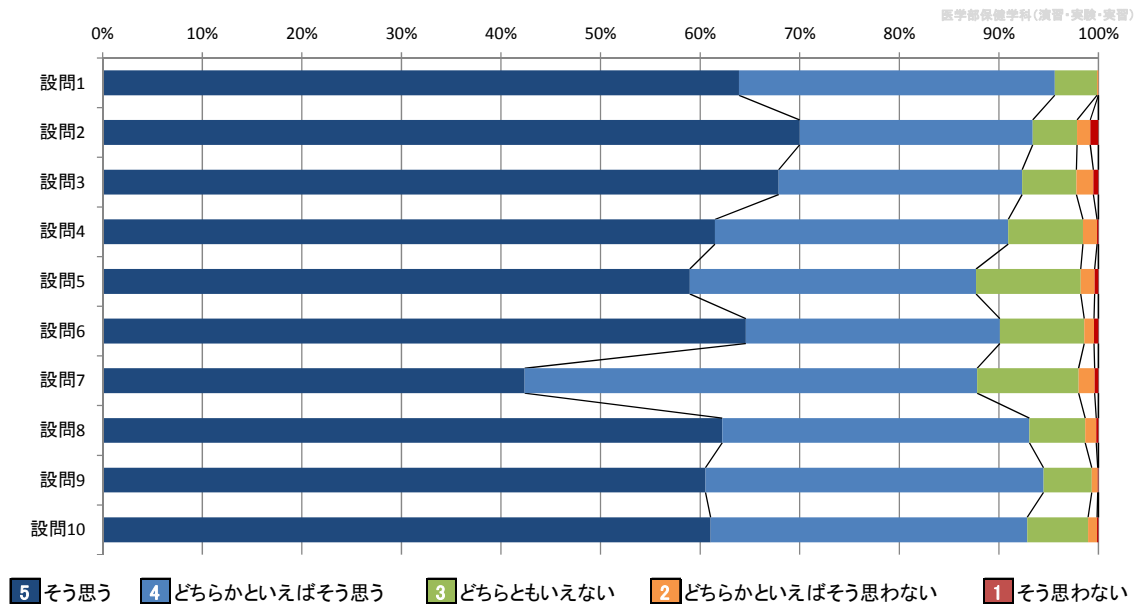


図 4.11.2 医学部保健学科(演習・実験・実習)

4.12 教育学研究科

4.12.1 大学院

(1) 共通項目

- 設問1: 授業を理解できた。
 設問2: 講義内容はおおむねシラバスに則したものであった。
 設問3: 毎回の講義(特講・演習)の学習課題がわかりやすかった。
 設問4: 重要なポイントがどこか、わかりやすかった。
 設問5: 問題を自分で考えてみようという意欲が刺激された。
 設問6: 講義での必要な場面でディスカッションが行われた。
 設問7: 教材・教具(OHP, VTR, スライド等)は講義の理解に役立った。
 設問8: 実践的な事柄についてもふれられ、参考になった。
 設問9: 参考文献等も必要に応じて紹介された。
 設問10: 受講生一人ひとりの理解度への配慮がなされていた。
 設問11: 評価方法は講義のねらいをふまえたものであった。

(2) 集計表

表 4.12.1 教育学研究科(大学院)

	5	4	3	2	1	n
設問1	165 48.7%	130 38.3%	34 10.0%	6 1.8%	4 1.2%	339 100.0%
設問2	162 47.8%	116 34.2%	55 16.2%	3 0.9%	3 0.9%	339 100.0%
設問3	163 48.1%	131 38.6%	33 9.7%	12 3.5%	0 0.0%	339 100.0%
設問4	143 42.4%	115 34.1%	61 18.1%	13 3.9%	5 1.5%	337 100.0%
設問5	150 44.2%	118 34.8%	52 15.3%	16 4.7%	3 0.9%	339 100.0%
設問6	178 52.5%	101 29.8%	43 12.7%	16 4.7%	1 0.3%	339 100.0%
設問7	181 53.6%	87 25.7%	60 17.8%	9 2.7%	1 0.3%	338 100.0%
設問8	181 53.4%	105 31.0%	41 12.1%	11 3.2%	1 0.3%	339 100.0%
設問9	144 42.5%	100 29.5%	60 17.7%	26 7.7%	9 2.7%	339 100.0%
設問10	129 38.1%	116 34.2%	65 19.2%	16 4.7%	13 3.8%	339 100.0%
設問11	151 44.7%	98 29.0%	78 23.1%	7 2.1%	4 1.2%	338 100.0%

5 そう思う 4 どちらかといえばそう思う 3 どちらともいえない 2 どちらかといえばそう思わない 1 そう思わない

(3) グラフ

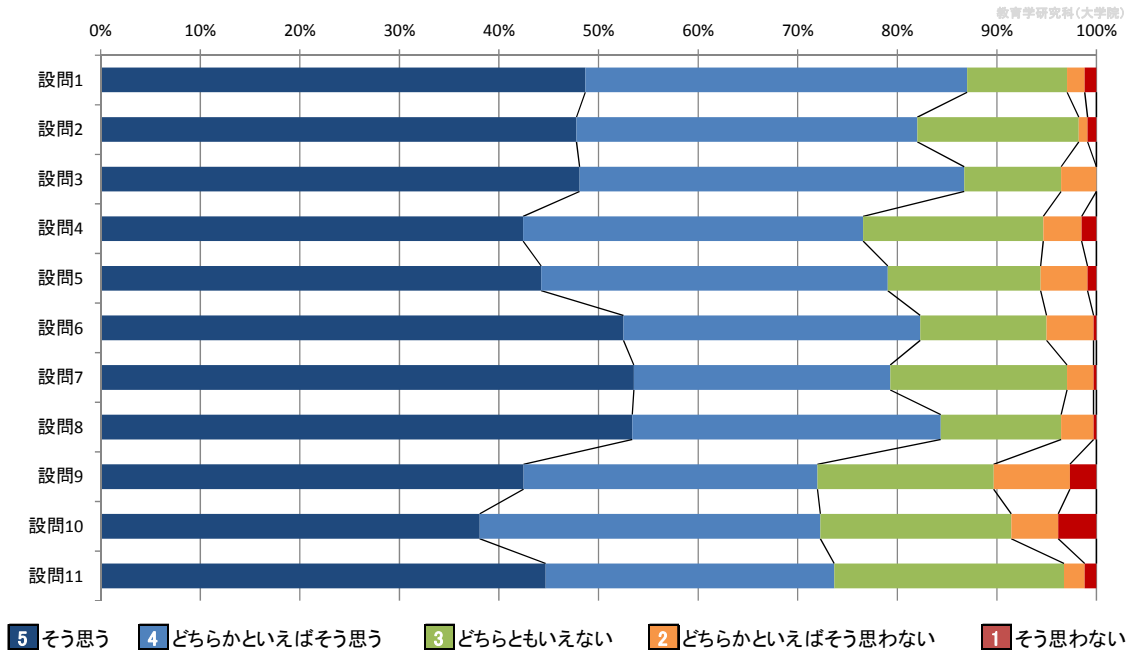


図 4.12.1 教育学研究科(大学院)

4.13 生産科学研究科

4.13.1 大学院（工学）

(1) 共通項目

- 設問1: 授業を理解できた。
 設問2: シラバスは、授業の目標や内容及び評価方法を適切に示していた。
 設問3: 教材・教具（教科書、黒板、OHPなど）の使われ方は効果的だった。
 設問4: 授業担当者の話し方は聞き取りやすかった。
 設問5: 抽象的な概念や理論がわかりやすく説明された。
 設問6: 授業担当者は効果的に学生の参加（発言、作業など）を促した。
 設問7: 授業担当者は学生に適切な助言を与え、相談にのってくれた。
 設問8: 授業担当者の授業に対する熱意を感じた。
 設問9: 新しい知識や考え方などを習得でき、さらに勉強したくなった。
 設問10: 自分は、この授業に意欲的に取り組んだ。
 設問11: 授業内容に対して、学問的関心をもった。

(2) 集計表

表 4.13.1 生産科学研究科(大学院(工学))

	5	4	3	2	1	n
設問1	372 29.5%	554 43.9%	241 19.1%	53 4.2%	42 3.3%	1,262 100.0%
設問2	427 33.9%	524 41.6%	273 21.6%	18 1.4%	19 1.5%	1,261 100.0%
設問3	494 39.1%	480 38.0%	217 17.2%	46 3.6%	26 2.1%	1,263 100.0%
設問4	559 44.2%	438 34.7%	195 15.4%	44 3.5%	28 2.2%	1,264 100.0%
設問5	473 37.4%	446 35.3%	258 20.4%	56 4.4%	31 2.5%	1,264 100.0%
設問6	529 41.9%	398 31.5%	262 20.7%	47 3.7%	28 2.2%	1,264 100.0%
設問7	410 32.5%	450 35.6%	324 25.7%	47 3.7%	32 2.5%	1,263 100.0%
設問8	519 41.3%	475 37.8%	207 16.5%	36 2.9%	19 1.5%	1,256 100.0%
設問9	391 31.1%	476 37.9%	293 23.3%	51 4.1%	45 3.6%	1,256 100.0%
設問10	457 36.5%	468 37.4%	260 20.8%	36 2.9%	30 2.4%	1,251 100.0%
設問11	432 34.7%	498 40.0%	242 19.4%	41 3.3%	33 2.6%	1,246 100.0%

5 そう思う 4 どちらかといえばそう思う 3 どちらともいえない 2 どちらかといえばそう思わない 1 そう思わない

(3) グラフ

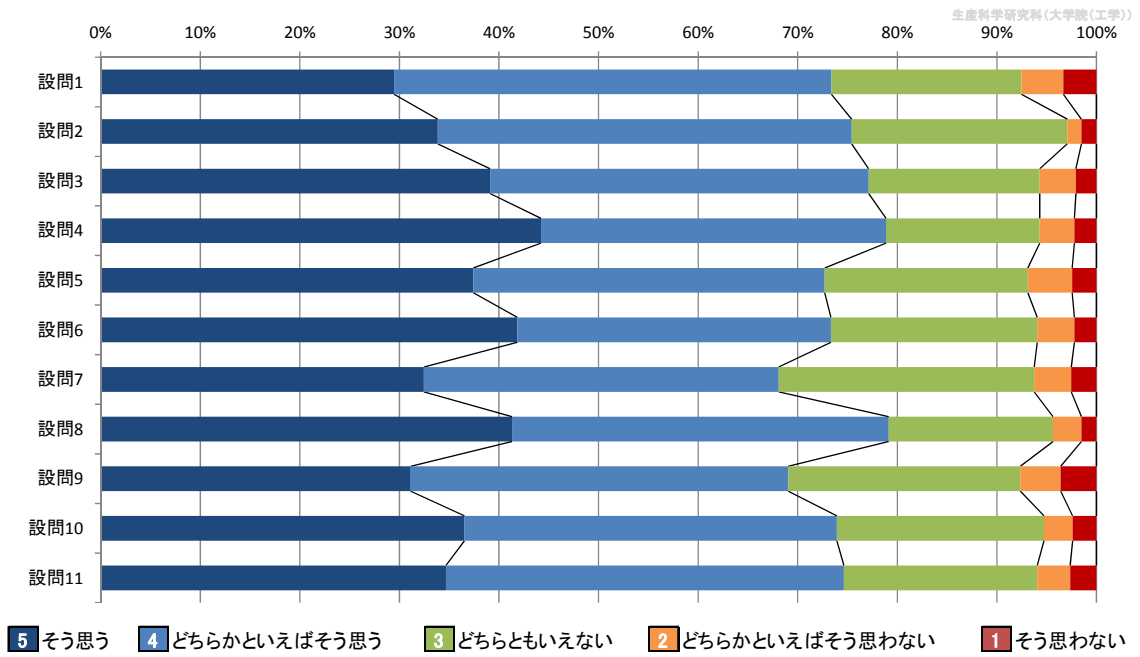


図 4.13.1 生産科学研究科(大学院(工学))

4.13.2 大学院（水産）

(1) 共通項目

設問1: 授業を理解できた。

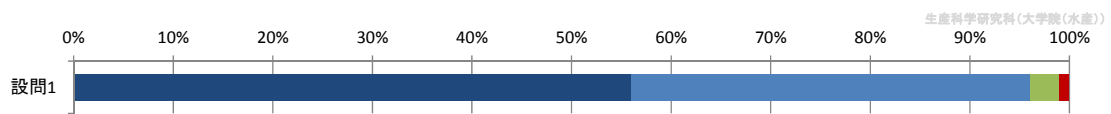
(2) 集計表

表 4.13.2 生産科学研究科(大学院(水産))

	5	4	3	2	1	n
設問1	56 56.0%	40 40.0%	3 3.0%	0 0.0%	1 1.0%	100 100.0%

5 そう思う 4 どちらかといえばそう思う 3 どちらともいえない 2 どちらかといえばそう思わない 1 そう思わない

(3) グラフ



5 そう思う 4 どちらかといえばそう思う 3 どちらともいえない 2 どちらかといえばそう思わない 1 そう思わない

図 4.13.2 生産科学研究科(大学院(水産))

4.13.3 大学院（環境）

(1) 共通項目

- 設問1: 授業を理解できた。
 設問2: シラバスは、授業の目標や内容及び評価方法を適切に示していた。
 設問3: 教材・教具（教科書、黒板、OHPなど）の使われ方は効果的だった。
 設問4: 授業担当者の話し方は聞き取りやすかった。
 設問5: 抽象的な概念や理論がわかりやすく説明された。
 設問6: 授業担当者は効果的に学生の参加（発言、作業など）を促した。
 設問7: 授業担当者は学生に適切な助言を与え、相談にのってくれた。
 設問8: 授業担当者の授業に対する熱意を感じた。
 設問9: 新しい知識や考え方などを習得でき、さらに勉強したくなった。
 設問10: 自分は、この授業に意欲的に取り組んだ。
 設問11: 授業内容に対して、学問的関心をもった。

(2) 集計表

表 4.13.3 生産科学研究科(大学院(環境))

	5	4	3	2	1	n
設問1	53 35.6%	57 38.3%	21 14.1%	8 5.4%	10 6.7%	149 100.0%
設問2	72 48.3%	40 26.8%	22 14.8%	7 4.7%	8 5.4%	149 100.0%
設問3	80 53.7%	32 21.5%	18 12.1%	9 6.0%	10 6.7%	149 100.0%
設問4	89 59.7%	36 24.2%	15 10.1%	5 3.4%	4 2.7%	149 100.0%
設問5	78 52.3%	29 19.5%	24 16.1%	6 4.0%	12 8.1%	149 100.0%
設問6	87 58.4%	17 11.4%	21 14.1%	13 8.7%	11 7.4%	149 100.0%
設問7	81 54.4%	22 14.8%	31 20.8%	5 3.4%	10 6.7%	149 100.0%
設問8	76 51.0%	37 24.8%	18 12.1%	7 4.7%	11 7.4%	149 100.0%
設問9	69 46.3%	48 32.2%	14 9.4%	4 2.7%	14 9.4%	149 100.0%
設問10	76 51.0%	40 26.8%	16 10.7%	9 6.0%	8 5.4%	149 100.0%
設問11	77 51.7%	37 24.8%	20 13.4%	5 3.4%	10 6.7%	149 100.0%

5 そう思う 4 どちらかといえばそう思う 3 どちらともいえない 2 どちらかといえばそう思わない 1 そう思わない

(3) グラフ

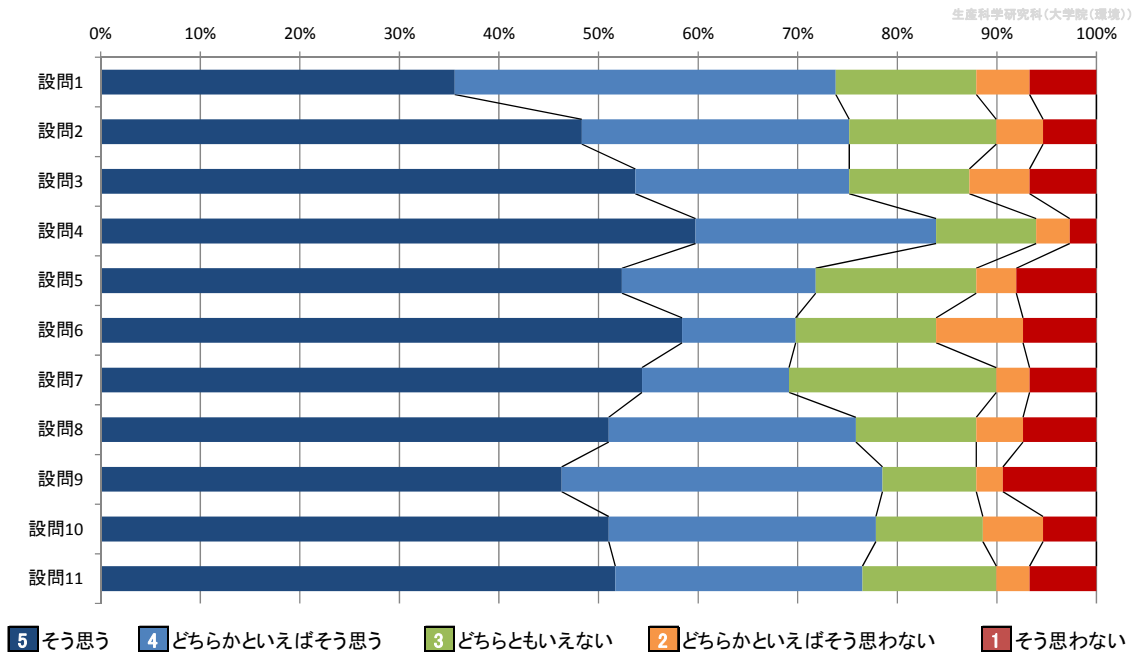


図 4.13.3 生産科学研究科(大学院(環境))

4.13.4 大学院（後期）

(1) 共通項目

設問1: 授業を理解できた。

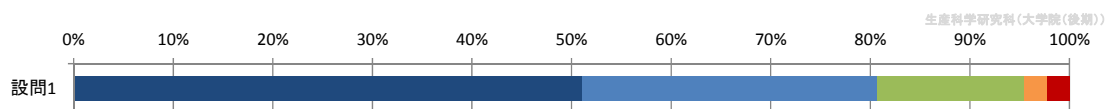
(2) 集計表

表 4.13.4 生産科学研究科(大学院(後期))

	5	4	3	2	1	n
設問1	45 51.1%	26 29.5%	13 14.8%	2 2.3%	2 2.3%	88 100.0%

5 そう思う 4 どちらかといえばそう思う 3 どちらともいえない 2 どちらかといえばそう思わない 1 そう思わない

(3) グラフ



5 そう思う 4 どちらかといえばそう思う 3 どちらともいえない 2 どちらかといえばそう思わない 1 そう思わない

図 4.13.4 生産科学研究科(大学院(後期))

4.13.5 修士論文

(1) 共通項目

- 設問1: 研究目的を理解できた。
 設問2: 計画を立てて研究を進めた。
 設問3: 研究を主体的に進めることができた。
 設問4: 研究活動は自分にとって有意義であった。
 設問5: プレゼンテーション能力を身につけることができた。

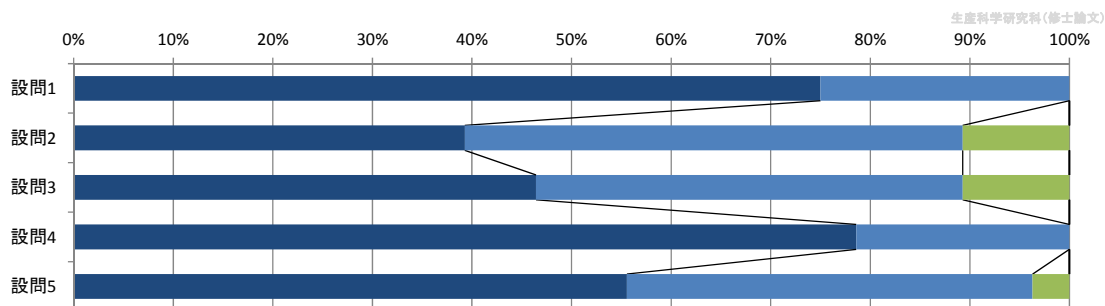
(2) 集計表

表 4.13.5 生産科学研究科(修士論文)

	5	4	3	2	1	n
設問1	21 75.0%	7 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	28 100.0%
設問2	11 39.3%	14 50.0%	3 10.7%	0 0.0%	0 0.0%	28 100.0%
設問3	13 46.4%	12 42.9%	3 10.7%	0 0.0%	0 0.0%	28 100.0%
設問4	22 78.6%	6 21.4%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	28 100.0%
設問5	15 55.6%	11 40.7%	1 3.7%	0 0.0%	0 0.0%	27 100.0%

5 そう思う 4 どちらかといえばそう思う 3 どちらともいえない 2 どちらかといえばそう思わない 1 そう思わない

(3) グラフ



5 そう思う 4 どちらかといえばそう思う 3 どちらともいえない 2 どちらかといえばそう思わない 1 そう思わない

図 4.13.5 生産科学研究科(修士論文)

4.14 国際健康開発研究科

4.14.1 大学院

(1) 共通項目

設問1: 授業を理解できた。

設問2: シラバスは、授業の目標や計画及び評価方法を適切に示していた。

設問3: 授業は目標達成のため計画的に進められた。

設問4: 授業担当者の教え方は適切だった。

設問5: 授業担当者は、学生が質問や相談をしやすい環境・雰囲気作りを行った。

設問6: 自分は、シラバスに記載された授業目標を達成することができた。

設問7: 自分は、この授業によって学習意欲が喚起された。

設問8: 総合的にみて、この授業は自分にとって満足できるものであった。

(2) 集計表

表 4.14.1 国際健康開発研究科(大学院)

	5	4	3	2	1	n
設問1	48 36.4%	57 43.2%	15 11.4%	10 7.6%	2 1.5%	132 100.0%
設問2	53 40.2%	55 41.7%	15 11.4%	6 4.5%	3 2.3%	132 100.0%
設問3	58 43.9%	47 35.6%	14 10.6%	7 5.3%	6 4.5%	132 100.0%
設問4	61 46.2%	31 23.5%	27 20.5%	11 8.3%	2 1.5%	132 100.0%
設問5	97 73.5%	17 12.9%	13 9.8%	3 2.3%	2 1.5%	132 100.0%
設問6	31 23.5%	50 37.9%	33 25.0%	10 7.6%	8 6.1%	132 100.0%
設問7	69 52.3%	37 28.0%	17 12.9%	3 2.3%	6 4.5%	132 100.0%
設問8	67 50.8%	33 25.0%	21 15.9%	6 4.5%	5 3.8%	132 100.0%

5 そう思う 4 どちらかといえばそう思う 3 どちらともいえない 2 どちらかといえばそう思わない 1 そう思わない

(3) グラフ

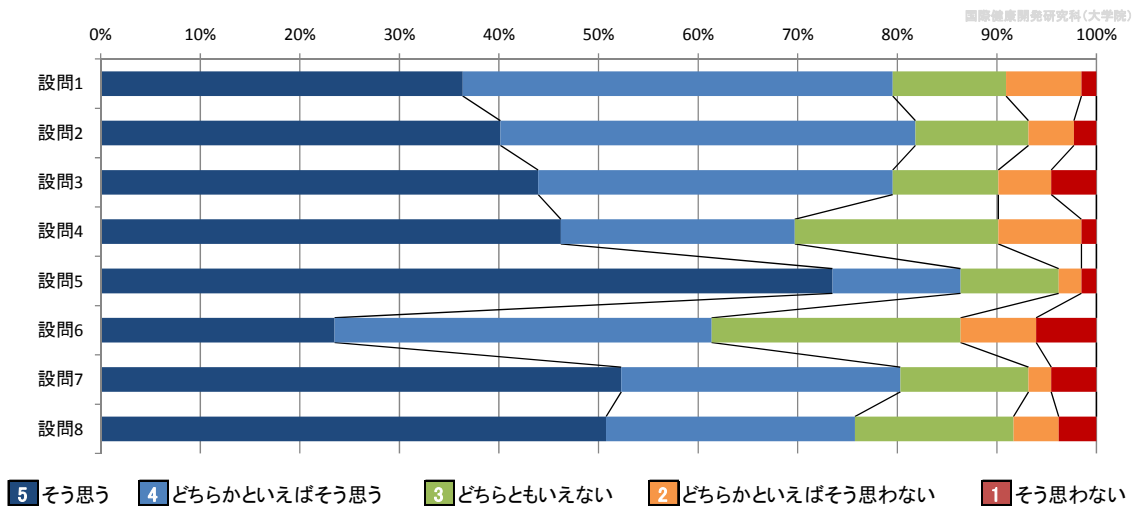


図 4.14.2 国際健康開発研究科(大学院)

4.15 医歯薬学総合研究科

4.15.1 大学院（医）

(1) 共通項目

設問1: 授業を理解できた。

設問2: 自分は、シラバスに記載された授業目標を達成することができた。

設問3: 総合的にみて、この授業は自分にとって満足できるものであった。

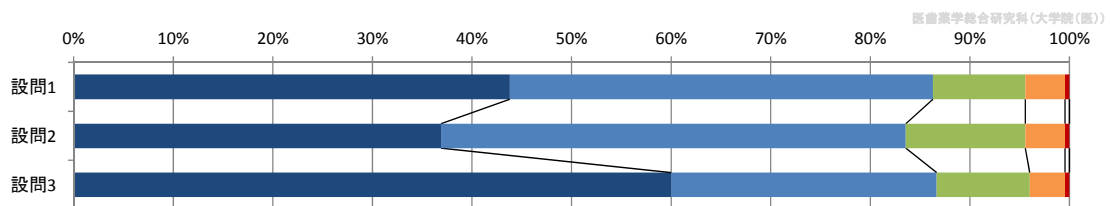
(2) 集計表

表 4.15.1 医歯薬学総合研究科(大学院(医))

	5	4	3	2	1	n
設問1	99 43.8%	96 42.5%	21 9.3%	9 4.0%	1 0.4%	226 100.0%
設問2	83 36.9%	105 46.7%	27 12.0%	9 4.0%	1 0.4%	225 100.0%
設問3	135 60.0%	60 26.7%	21 9.3%	8 3.6%	1 0.4%	225 100.0%

5 そう思う 4 どちらかといえばそう思う 3 どちらともいえない 2 どちらかといえばそう思わない 1 そう思わない

(3) グラフ



5 そう思う 4 どちらかといえばそう思う 3 どちらともいえない 2 どちらかといえばそう思わない 1 そう思わない

図 4.15.1 医歯薬学総合研究科(大学院(医))

4.15.2 大学院（薬）

(1) 共通項目

設問1: 授業を理解できた。

設問2: 自分は、シラバスに記載された授業目標を達成することができた。

設問3: 総合的にみて、この授業は自分にとって満足できるものであった。

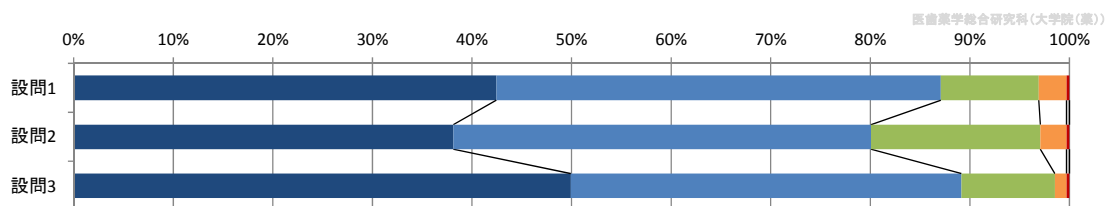
(2) 集計表

表 4.15.2 医歯薬学総合研究科(大学院(薬))

	5	4	3	2	1	n
設問1	289 42.4%	304 44.6%	67 9.8%	19 2.8%	2 0.3%	681 100.0%
設問2	260 38.1%	286 41.9%	116 17.0%	18 2.6%	2 0.3%	682 100.0%
設問3	340 49.9%	267 39.2%	64 9.4%	8 1.2%	2 0.3%	681 100.0%

5 そう思う 4 どちらかといえばそう思う 3 どちらともいえない 2 どちらかといえばそう思わない 1 そう思わない

(3) グラフ



5 そう思う 4 どちらかといえばそう思う 3 どちらともいえない 2 どちらかといえばそう思わない 1 そう思わない

図 4.15.2 医歯薬学総合研究科(大学院(薬))

4.15.3 大学院（特別コース）

(1) 共通項目

- 設問1: How well did this lecture meet your expectations and fulfillment of learning objectives?
 設問2: How satisfied were you with the lecture?
 設問3: How do you rate the lecturer's efforts in creating good learning environment?
 設問4: Were you happy with the amount of information provided?
 設問5: Were you happy with the planning and time-keeping of the lecture?
 設問6: Were you satisfied with the quality of supportive materials (e.g. handouts, visual aids)?
 設問7: How satisfied are you with your degree of understanding on this topic?
 設問8: What is the overall impression of this lecture?

(2) 集計表

表 4.15.3 医歯薬学総合研究科(大学院(特別コース))

	4	3	2	1	n
設問1	25 61.0%	12 29.3%	3 7.3%	1 2.4%	41 100.0%
設問2	25 61.0%	12 29.3%	3 7.3%	1 2.4%	41 100.0%
設問3	28 68.3%	11 26.8%	1 2.4%	1 2.4%	41 100.0%
設問4	27 65.9%	11 26.8%	2 4.9%	1 2.4%	41 100.0%
設問5	31 75.6%	9 22.0%	0 0.0%	1 2.4%	41 100.0%
設問6	26 65.0%	13 32.5%	0 0.0%	1 2.5%	40 100.0%
設問7	21 52.5%	13 32.5%	5 12.5%	1 2.5%	40 100.0%
設問8	23 62.2%	10 27.0%	3 8.1%	1 2.7%	37 100.0%

4 Excellent 3 Good 2 Need to improve 1 Poor

(3) グラフ

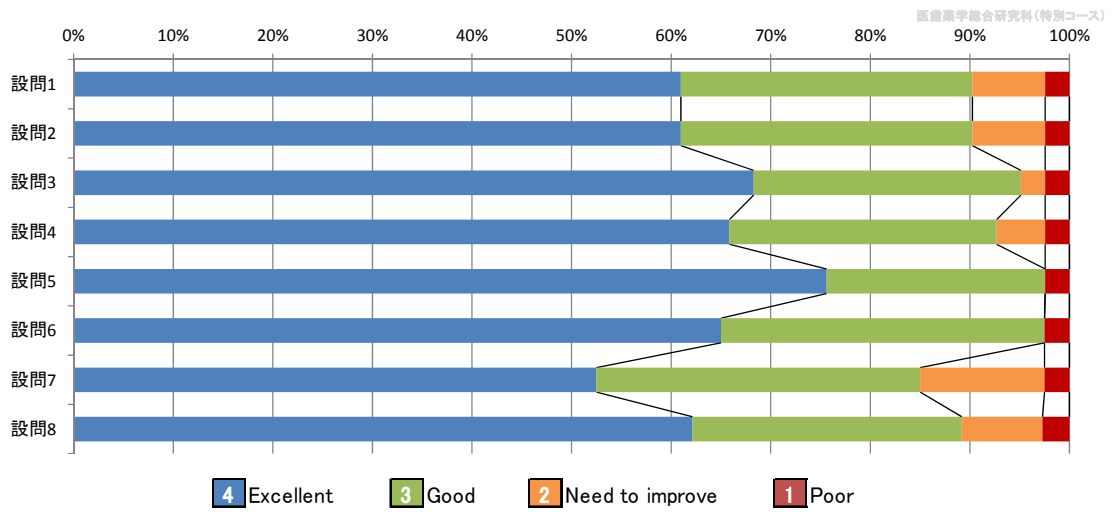


図 4.15.3 医歯薬学総合研究科(大学院(特別コース))

4.15.4 大学院（熱研：講義）

(1) 共通項目

- 設問1: How well did this lecture meet your expectations and fulfillment of learning objectives?
 設問2: How satisfied were you with the style of teaching?
 設問3: How do you rate the lecturer's efforts in creating good learning environment?
 設問4: Were you happy with the amount of information provided?
 設問5: Were you happy with the planning and time-keeping of the lecture?
 設問6: Were you satisfied with the quality of supportive materials (e.g. handouts, visual aids)?
 設問7: How satisfied are you with your degree of understanding on this topic?
 設問8: What is the overall impression of this lecture?

(2) 集計表

表 4.15.4 医歯薬学総合研究科(大学院(熱研:講義))

	4	3	2	1	n
設問1	863 66.4%	421 32.4%	15 1.2%	0 0.0%	1,299 100.0%
設問2	799 61.4%	464 35.7%	37 2.8%	1 0.1%	1,301 100.0%
設問3	850 65.4%	425 32.7%	23 1.8%	1 0.1%	1,299 100.0%
設問4	819 63.0%	450 34.6%	32 2.5%	0 0.0%	1,301 100.0%
設問5	903 69.6%	373 28.8%	21 1.6%	0 0.0%	1,297 100.0%
設問6	849 65.3%	428 32.9%	24 1.8%	0 0.0%	1,301 100.0%
設問7	761 58.5%	499 38.4%	41 3.2%	0 0.0%	1,301 100.0%
設問8	828 63.7%	450 34.6%	22 1.7%	0 0.0%	1,300 100.0%

4 Excellent 3 Good 2 Need to improve 1 Poor

(3) グラフ

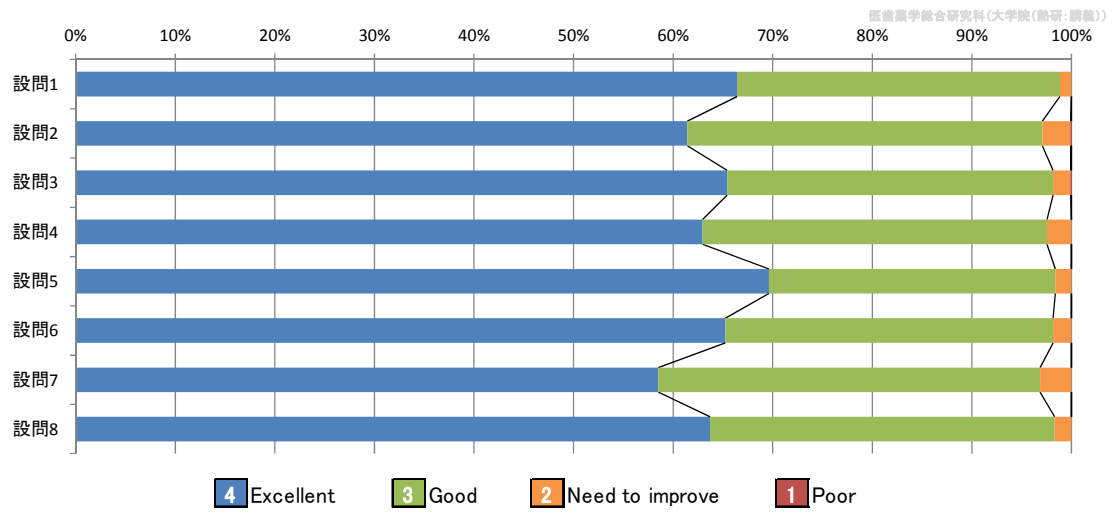


図 4.15.4 医歯薬学総合研究科(大学院(熱研:講義))

4.15.5 大学院（熱研：実習）

(1) 共通項目

- 設問1: How well did this session meet your expectations and fulfillment of learning objectives?
 設問2: How satisfied were you with the style of teaching?
 設問3: How adequate was the level of supervision provided to individual students?
 設問4: Were you happy with the amount of information provided?
 設問5: Were you happy with the planning and time-keeping of the session?
 設問6: Were you satisfied with the quality of supportive materials (e.g. lab resources, handouts, displays)?
 設問7: How satisfied are you with your degree of understanding on this topic?
 設問8: What is the overall impression of this session?

(2) 集計表

表 4.15.5 医歯薬学総合研究科(大学院(熱研:実習))

	4	3	2	1	n
設問1	137 72.9%	49 26.1%	2 1.1%	0 0.0%	188 100.0%
設問2	128 67.7%	54 28.6%	7 3.7%	0 0.0%	189 100.0%
設問3	131 69.3%	55 29.1%	3 1.6%	0 0.0%	189 100.0%
設問4	125 66.1%	60 31.7%	4 2.1%	0 0.0%	189 100.0%
設問5	132 70.2%	52 27.7%	4 2.1%	0 0.0%	188 100.0%
設問6	138 73.4%	50 26.6%	0 0.0%	0 0.0%	188 100.0%
設問7	115 60.8%	64 33.9%	10 5.3%	0 0.0%	189 100.0%
設問8	128 68.1%	56 29.8%	4 2.1%	0 0.0%	188 100.0%

4 Excellent 3 Good 2 Need to improve 1 Poor

(3) グラフ

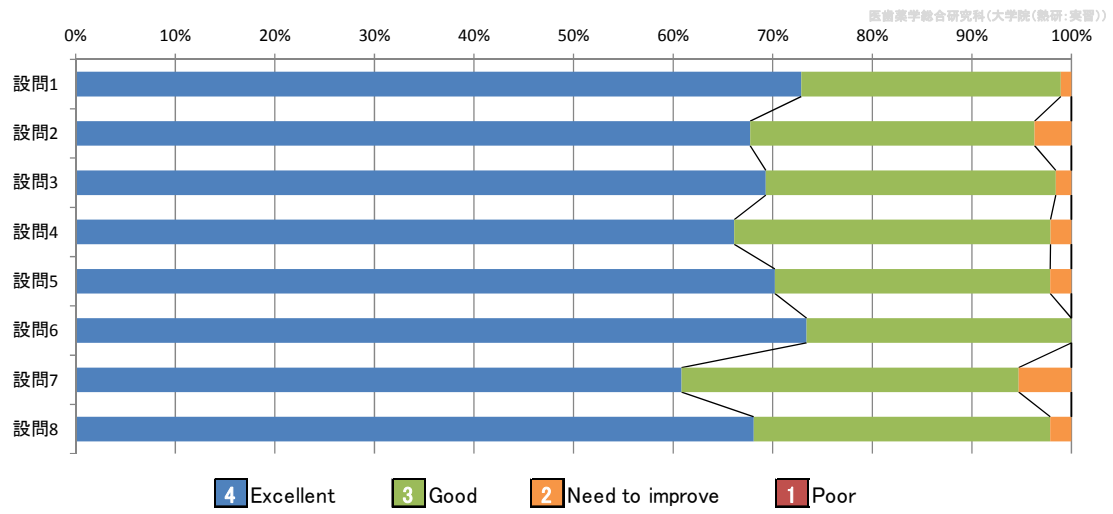


図 4.15.5 医歯薬学総合研究科(大学院(熱研:実習))

4.16 熱帯医学研究所

4.16.1 熱帯医学研究所研修課程

(1) 共通項目

- 設問1: 講義（実習）の内容は研修課程として適切である
 設問2: 講義（実習）はわかりやすく構成されている
 設問3: 講義（実習）は量的に適切である（時間配分は適切である）
 設問4: 板書、スライドや配付資料等は適切である
 設問5: この講義（実習）を来年の受講生が受講するように推薦する

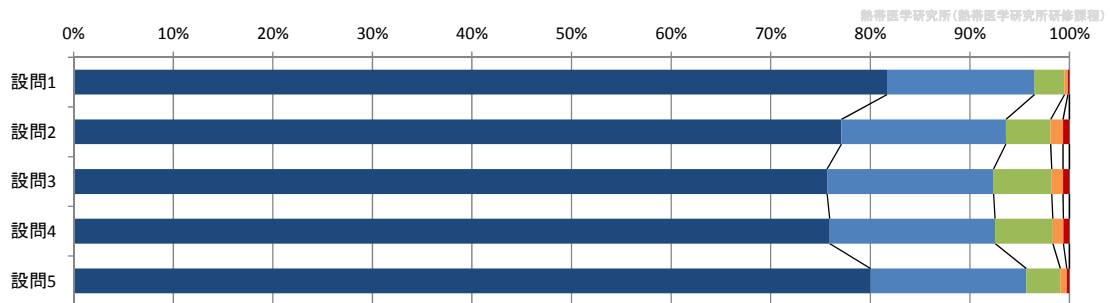
(2) 集計表

表 4.16.1 熱帯医学研究所(熱帯医学研究所研修課程)

	5	4	3	2	1	n
設問1	1,512 81.7%	274 14.8%	56 3.0%	6 0.3%	3 0.2%	1,851 100.0%
設問2	1,427 77.1%	306 16.5%	83 4.5%	23 1.2%	12 0.6%	1,851 100.0%
設問3	1,399 75.7%	309 16.7%	108 5.8%	21 1.1%	12 0.6%	1,849 100.0%
設問4	1,403 75.9%	307 16.6%	107 5.8%	20 1.1%	11 0.6%	1,848 100.0%
設問5	1,477 80.0%	289 15.7%	63 3.4%	12 0.7%	5 0.3%	1,846 100.0%

5 そう思う 4 どちらかといえばそう思う 3 どちらともいえない 2 どちらかといえばそう思わない 1 そう思わない

(3) グラフ



5 そう思う 4 どちらかといえばそう思う 3 どちらともいえない 2 どちらかといえばそう思わない 1 そう思わない

図 4.16.1 熱帯医学研究所(熱帯医学研究所研修課程)

5. 全学共通項目集計結果

5.1 実施状況

平成 21 年度の部局・カテゴリー別の授業評価実施状況は表 5.1.1 の通りである。

表 5.1.1 授業評価部局別実施状況(共通項目を含むもののみ)

部局名	実施数	有効回答数	最小回答数	最大回答数	平均回答数
全学教育	261	16,677	1	258	63.9
教育学部	386	11,247	1	231	29.1
経済学部	131	8,776	2	194	67.0
医学部	66	3,849	5	101	58.3
歯学部	57	2,467	24	50	43.3
薬学部	80	4,073	1	90	50.9
工学部	361	15,998	1	127	44.3
環境科学部	106	5,160	6	132	48.7
水産学部	141	5,605	3	118	39.8
医学部保健学科	133	6,090	5	120	45.8
総計	1,722	79,942	1	258	46.4

5.2 大学全体

(1) 共通項目

設問1: シラバスは、授業の目標や計画及び評価方法を適切に示していた。

設問2: 授業は目的達成のため計画的に進められた。

設問3: 授業担当者の教え方は適切だった。

設問4: 授業担当者は、学生が質問や相談をしやすい環境・雰囲気作りを行った。

設問5: 自分は、シラバスに記載された授業目標を達成することができた。

設問6: 自分は、この授業によって学習意欲が喚起された。

設問7: 総合的にみて、この授業は自分にとって満足できるものであった。

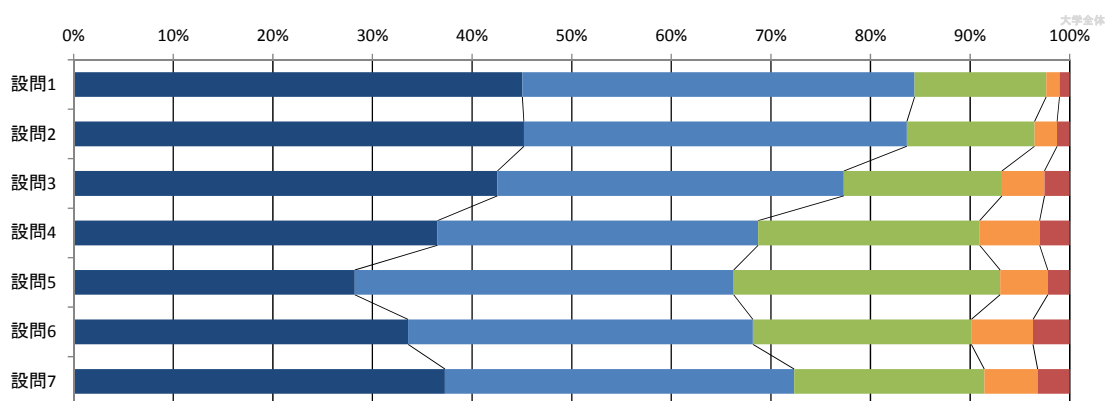
(2) 集計表

表 5.2.1 大学全体

	5	4	3	2	1	n
設問1	36,002 45.1%	31,460 39.4%	10,563 13.2%	1,069 1.3%	819 1.0%	79,913 100.0%
設問2	36,126 45.2%	30,717 38.4%	10,244 12.8%	1,806 2.3%	1,018 1.3%	79,911 100.0%
設問3	33,978 42.5%	27,766 34.8%	12,678 15.9%	3,419 4.3%	2,021 2.5%	79,862 100.0%
設問4	29,171 36.5%	25,717 32.2%	17,758 22.2%	4,821 6.0%	2,406 3.0%	79,873 100.0%
設問5	22,545 28.2%	30,385 38.0%	21,356 26.7%	3,832 4.8%	1,748 2.2%	79,866 100.0%
設問6	26,817 33.6%	27,639 34.6%	17,519 21.9%	4,958 6.2%	2,935 3.7%	79,868 100.0%
設問7	29,766 37.3%	27,988 35.1%	15,243 19.1%	4,277 5.4%	2,569 3.2%	79,843 100.0%

5 そう思う 4 どちらかといえばそう思う 3 どちらともいえない 2 どちらかといえばそう思わない 1 そう思わない

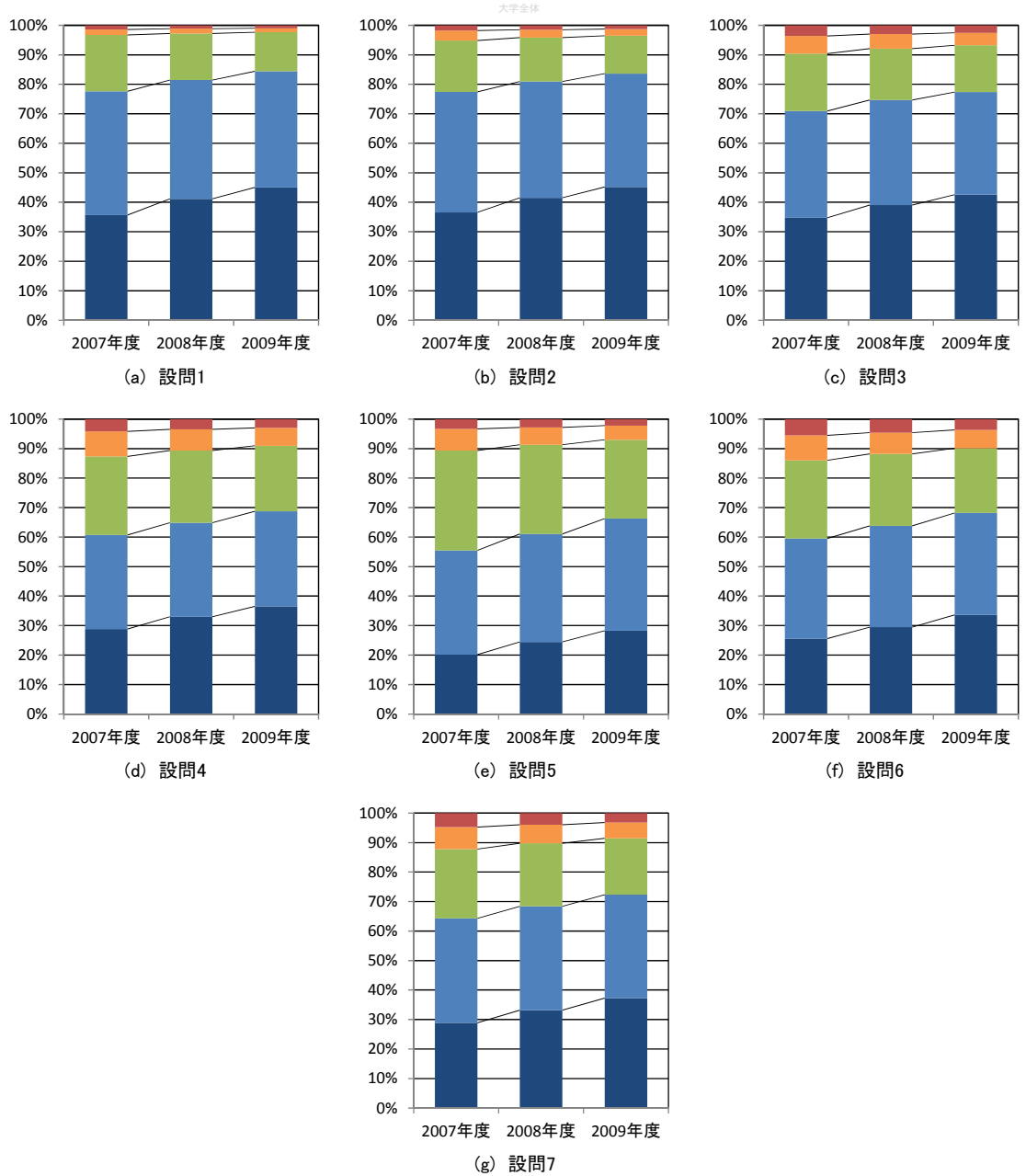
(3) グラフ



5 そう思う 4 どちらかといえばそう思う 3 どちらともいえない 2 どちらかといえばそう思わない 1 そう思わない

図 5.2.1 大学全体

(4) 過去3年間の推移



5 そう思う 4 どちらかといえばそう思う 3 どちらともいえない 2 どちらかといえばそう思わない 1 そう思わない

図 5.2.2 過去3年間の推移(大学全体)

5.3 全学教育

(1) 共通項目

設問1: シラバスは、授業の目標や計画及び評価方法を適切に示していた。

設問2: 授業は目的達成のため計画的に進められた。

設問3: 授業担当者の教え方は適切だった。

設問4: 授業担当者は、学生が質問や相談をしやすい環境・雰囲気作りを行った。

設問5: 自分は、シラバスに記載された授業目標を達成することができた。

設問6: 自分は、この授業によって学習意欲が喚起された。

設問7: 総合的にみて、この授業は自分にとって満足できるものであった。

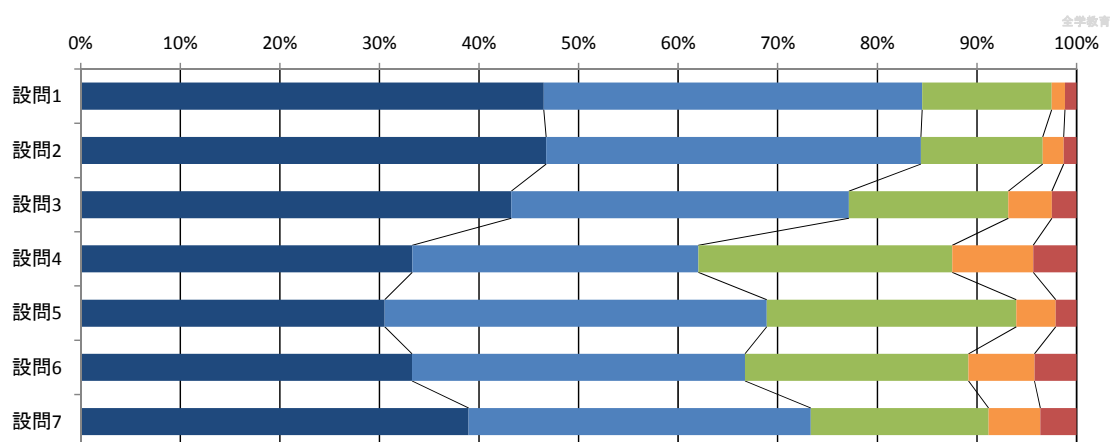
(2) 集計表

表 5.3.1 全学教育

	5	4	3	2	1	n
設問1	7,751 46.5%	6,336 38.0%	2,167 13.0%	223 1.3%	194 1.2%	16,671 100.0%
設問2	7,792 46.7%	6,274 37.6%	2,041 12.2%	350 2.1%	215 1.3%	16,672 100.0%
設問3	7,205 43.3%	5,645 33.9%	2,666 16.0%	729 4.4%	410 2.5%	16,655 100.0%
設問4	5,548 33.3%	4,786 28.7%	4,248 25.5%	1,357 8.1%	722 4.3%	16,661 100.0%
設問5	5,086 30.5%	6,390 38.4%	4,174 25.1%	659 4.0%	346 2.1%	16,655 100.0%
設問6	5,541 33.3%	5,572 33.5%	3,739 22.4%	1,102 6.6%	703 4.2%	16,657 100.0%
設問7	6,485 39.0%	5,719 34.4%	2,974 17.9%	861 5.2%	607 3.6%	16,646 100.0%

5 そう思う 4 どちらかといえばそう思う 3 どちらともいえない 2 どちらかといえばそう思わない 1 そう思わない

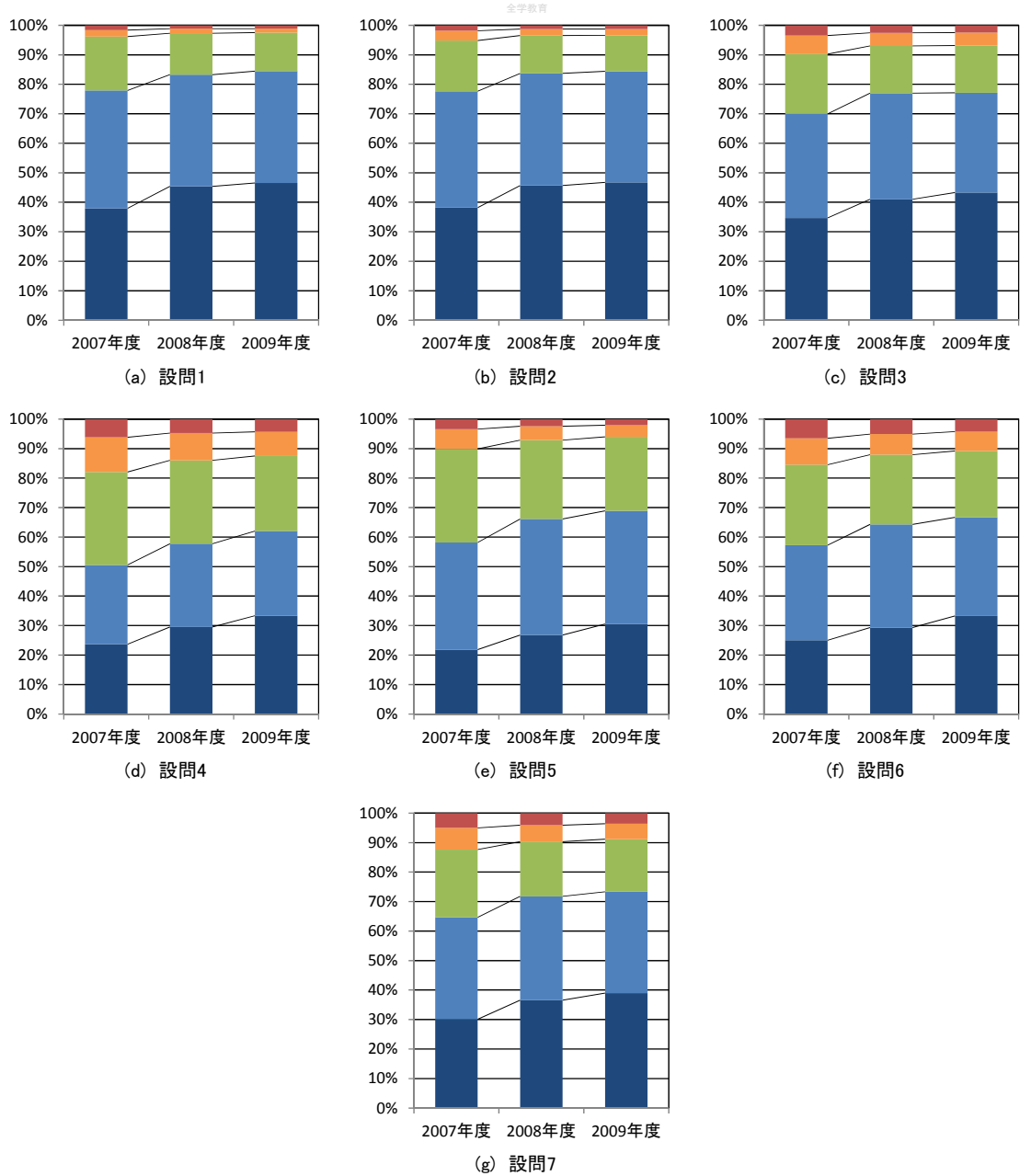
(3) グラフ



5 そう思う 4 どちらかといえばそう思う 3 どちらともいえない 2 どちらかといえばそう思わない 1 そう思わない

図 5.3.1 全学教育

(4) 過去3年間の推移



5 そう思う 4 どちらかといえばそう思う 3 どちらともいえない 2 どちらかといえばそう思わない 1 そう思わない

図 5.3.2 過去3年間の推移(全学教育)

5.4 教育学部

(1) 共通項目

設問1: シラバスは、授業の目標や計画及び評価方法を適切に示していた。

設問2: 授業は目的達成のため計画的に進められた。

設問3: 授業担当者の教え方は適切だった。

設問4: 授業担当者は、学生が質問や相談をしやすい環境・雰囲気作りを行った。

設問5: 自分は、シラバスに記載された授業目標を達成することができた。

設問6: 自分は、この授業によって学習意欲が喚起された。

設問7: 総合的にみて、この授業は自分にとって満足できるものであった。

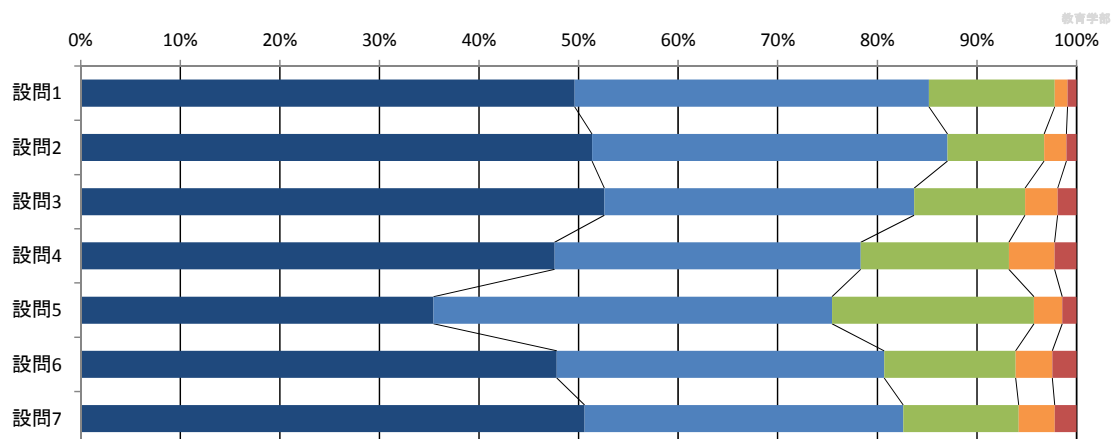
(2) 集計表

表 5.4.1 教育学部

	5	4	3	2	1	n
設問1	5,573 49.6%	3,999 35.6%	1,421 12.6%	144 1.3%	100 0.9%	11,237 100.0%
設問2	5,772 51.4%	4,012 35.7%	1,090 9.7%	253 2.3%	113 1.0%	11,240 100.0%
設問3	5,909 52.6%	3,496 31.1%	1,251 11.1%	368 3.3%	212 1.9%	11,236 100.0%
設問4	5,347 47.6%	3,453 30.7%	1,673 14.9%	513 4.6%	249 2.2%	11,235 100.0%
設問5	3,981 35.4%	4,496 40.0%	2,280 20.3%	320 2.8%	160 1.4%	11,237 100.0%
設問6	5,372 47.8%	3,695 32.9%	1,482 13.2%	415 3.7%	273 2.4%	11,237 100.0%
設問7	5,683 50.6%	3,595 32.0%	1,304 11.6%	406 3.6%	244 2.2%	11,232 100.0%

5 そう思う 4 どちらかといえばそう思う 3 どちらともいえない 2 どちらかといえばそう思わない 1 そう思わない

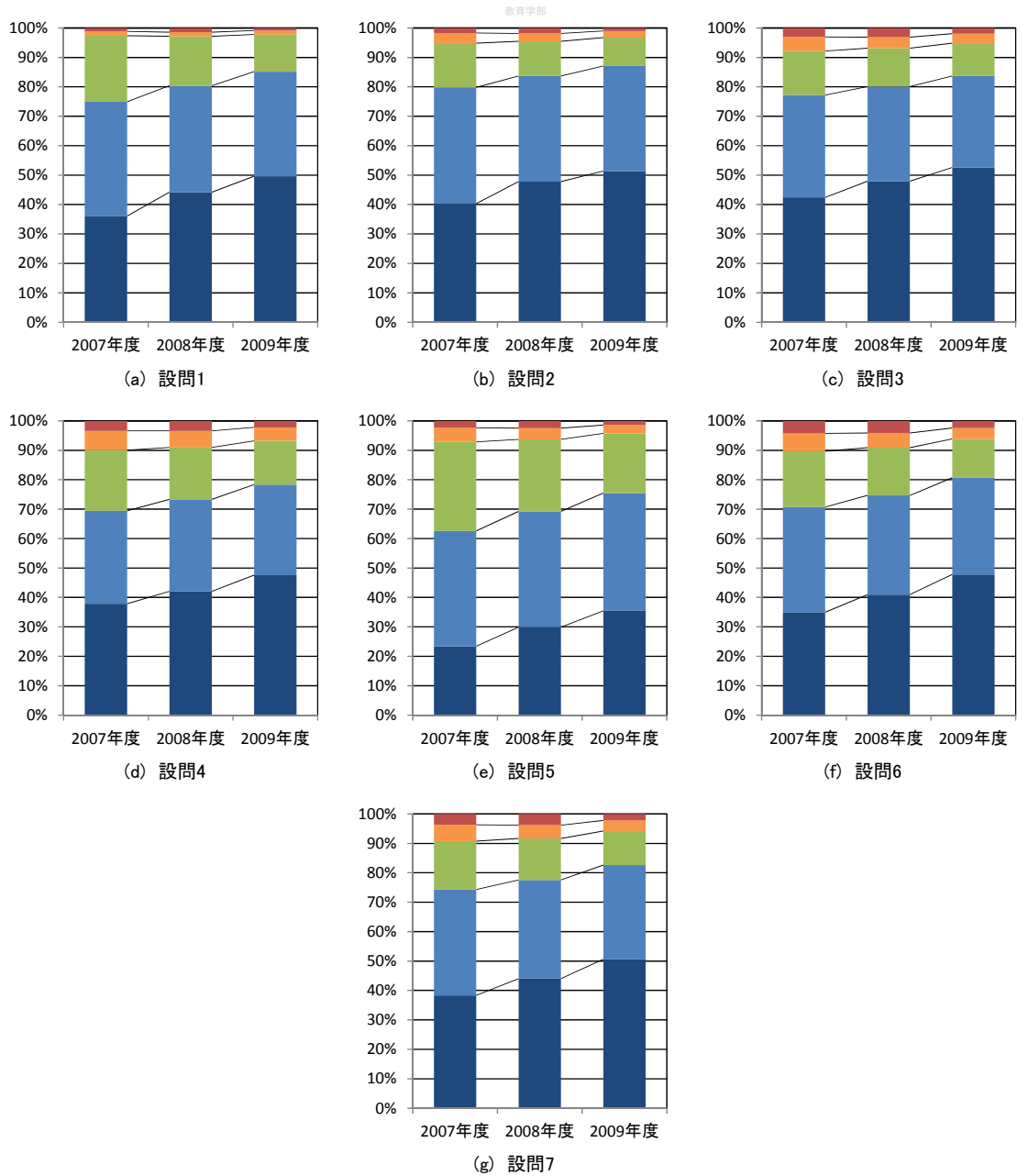
(3) グラフ



5 そう思う 4 どちらかといえばそう思う 3 どちらともいえない 2 どちらかといえばそう思わない 1 そう思わない

図 5.4.1 教育学部

(4) 過去3年間の推移



5 そう思う 4 どちらかといえばそう思う 3 どちらともいえない 2 どちらかといえばそう思わない 1 そう思わない

図 5.4.2 過去3年間の推移(教育学部)

5.5 経済学部

(1) 共通項目

設問1: シラバスは、授業の目標や計画及び評価方法を適切に示していた。

設問2: 授業は目的達成のため計画的に進められた。

設問3: 授業担当者の教え方は適切だった。

設問4: 授業担当者は、学生が質問や相談をしやすい環境・雰囲気作りを行った。

設問5: 自分は、シラバスに記載された授業目標を達成することができた。

設問6: 自分は、この授業によって学習意欲が喚起された。

設問7: 総合的にみて、この授業は自分にとって満足できるものであった。

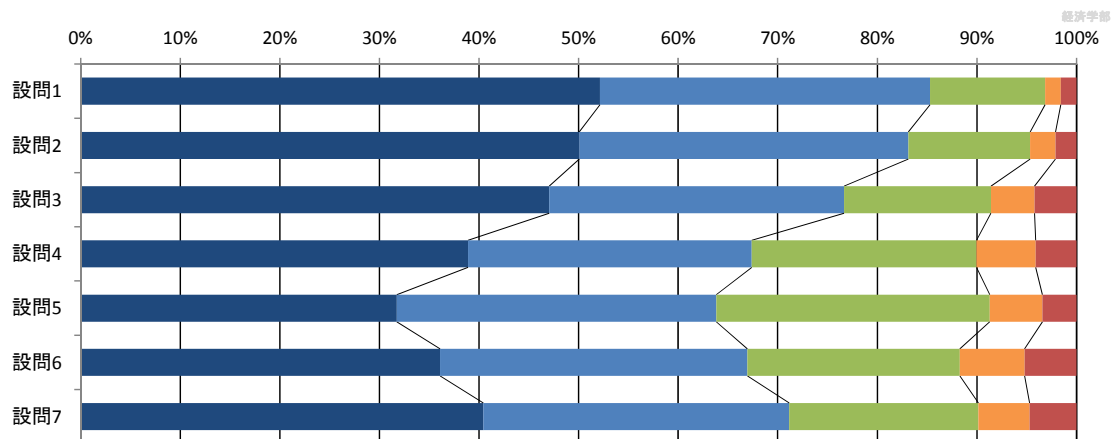
(2) 集計表

表 5.5.1 経済学部

	5	4	3	2	1	n
設問1	4,581 52.2%	2,909 33.1%	1,016 11.6%	137 1.6%	139 1.6%	8,782 100.0%
設問2	4,396 50.1%	2,901 33.0%	1,075 12.2%	224 2.6%	184 2.1%	8,780 100.0%
設問3	4,126 47.1%	2,594 29.6%	1,295 14.8%	382 4.4%	370 4.2%	8,767 100.0%
設問4	3,415 38.9%	2,502 28.5%	1,981 22.6%	522 5.9%	359 4.1%	8,779 100.0%
設問5	2,784 31.7%	2,814 32.1%	2,409 27.5%	464 5.3%	299 3.4%	8,770 100.0%
設問6	3,169 36.1%	2,709 30.9%	1,872 21.3%	571 6.5%	457 5.2%	8,778 100.0%
設問7	3,547 40.4%	2,696 30.7%	1,667 19.0%	452 5.2%	412 4.7%	8,774 100.0%

5 そう思う 4 どちらかといえばそう思う 3 どちらともいえない 2 どちらかといえばそう思わない 1 そう思わない

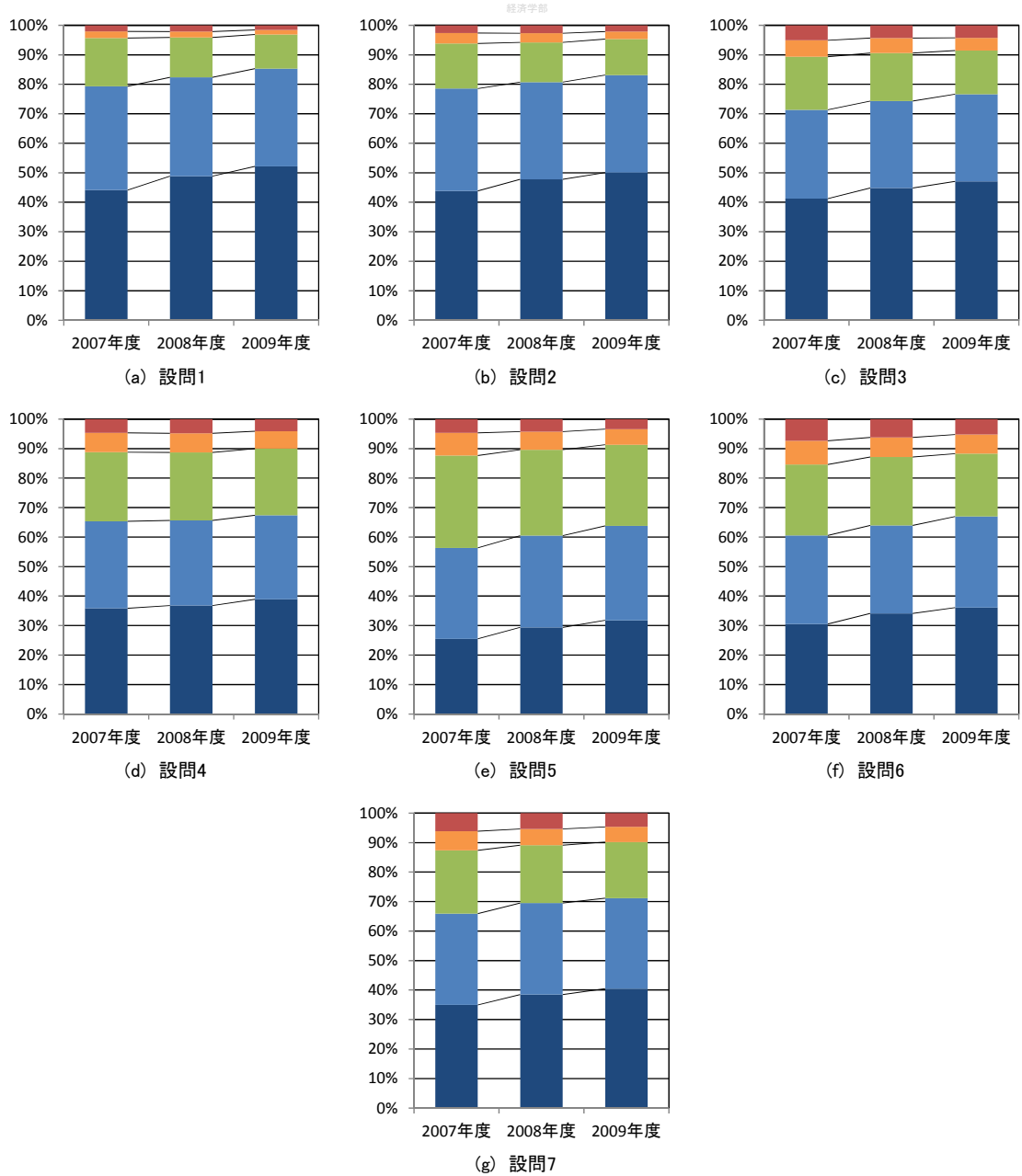
(3) グラフ



5 そう思う 4 どちらかといえばそう思う 3 どちらともいえない 2 どちらかといえばそう思わない 1 そう思わない

図 5.5.1 経済学部

(4) 過去3年間の推移



5 そう思う
 4 どちらかといえばそう思う
 3 どちらともいえない
 2 どちらかといえばそう思わない
 1 そう思わない

図 5.5.2 過去3年間の推移(経済学部)

5.6 医学部医学科

(1) 共通項目

設問1: シラバスは、授業の目標や計画及び評価方法を適切に示していた。

設問2: 授業は目的達成のため計画的に進められた。

設問3: 授業担当者の教え方は適切だった。

設問4: 授業担当者は、学生が質問や相談をしやすい環境・雰囲気作りを行った。

設問5: 自分は、シラバスに記載された授業目標を達成することができた。

設問6: 自分は、この授業によって学習意欲が喚起された。

設問7: 総合的にみて、この授業は自分にとって満足できるものであった。

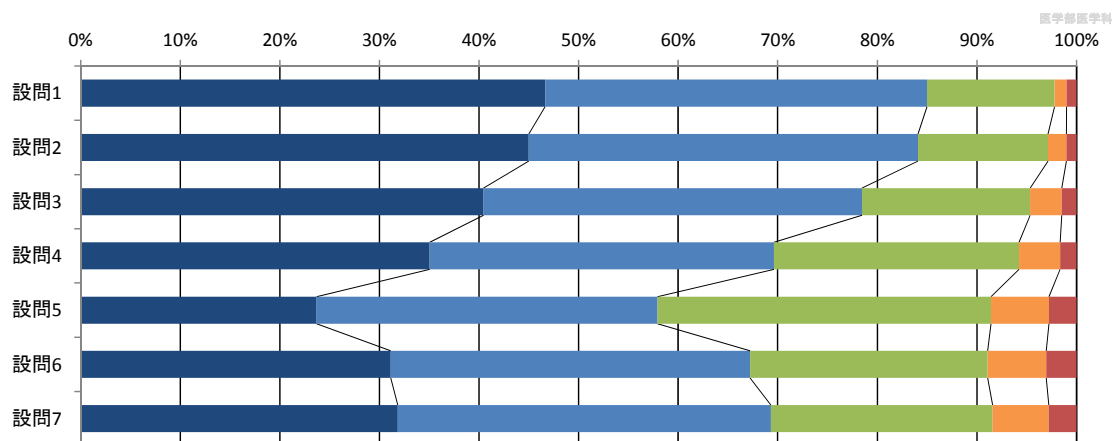
(2) 集計表

表 5.6.1 医学部医学科

	5	4	3	2	1	n
設問1	1,792 46.6%	1,473 38.3%	492 12.8%	47 1.2%	38 1.0%	3,842 100.0%
設問2	1,730 45.0%	1,502 39.1%	502 13.1%	71 1.8%	39 1.0%	3,844 100.0%
設問3	1,555 40.5%	1,460 38.0%	649 16.9%	122 3.2%	57 1.5%	3,843 100.0%
設問4	1,346 35.0%	1,328 34.6%	945 24.6%	159 4.1%	63 1.6%	3,841 100.0%
設問5	909 23.7%	1,314 34.2%	1,285 33.5%	224 5.8%	106 2.8%	3,838 100.0%
設問6	1,196 31.1%	1,386 36.1%	916 23.8%	227 5.9%	116 3.0%	3,841 100.0%
設問7	1,224 31.8%	1,441 37.5%	856 22.3%	217 5.6%	107 2.8%	3,845 100.0%

5 そう思う 4 どちらかといえばそう思う 3 どちらともいえない 2 どちらかといえばそう思わない 1 そう思わない

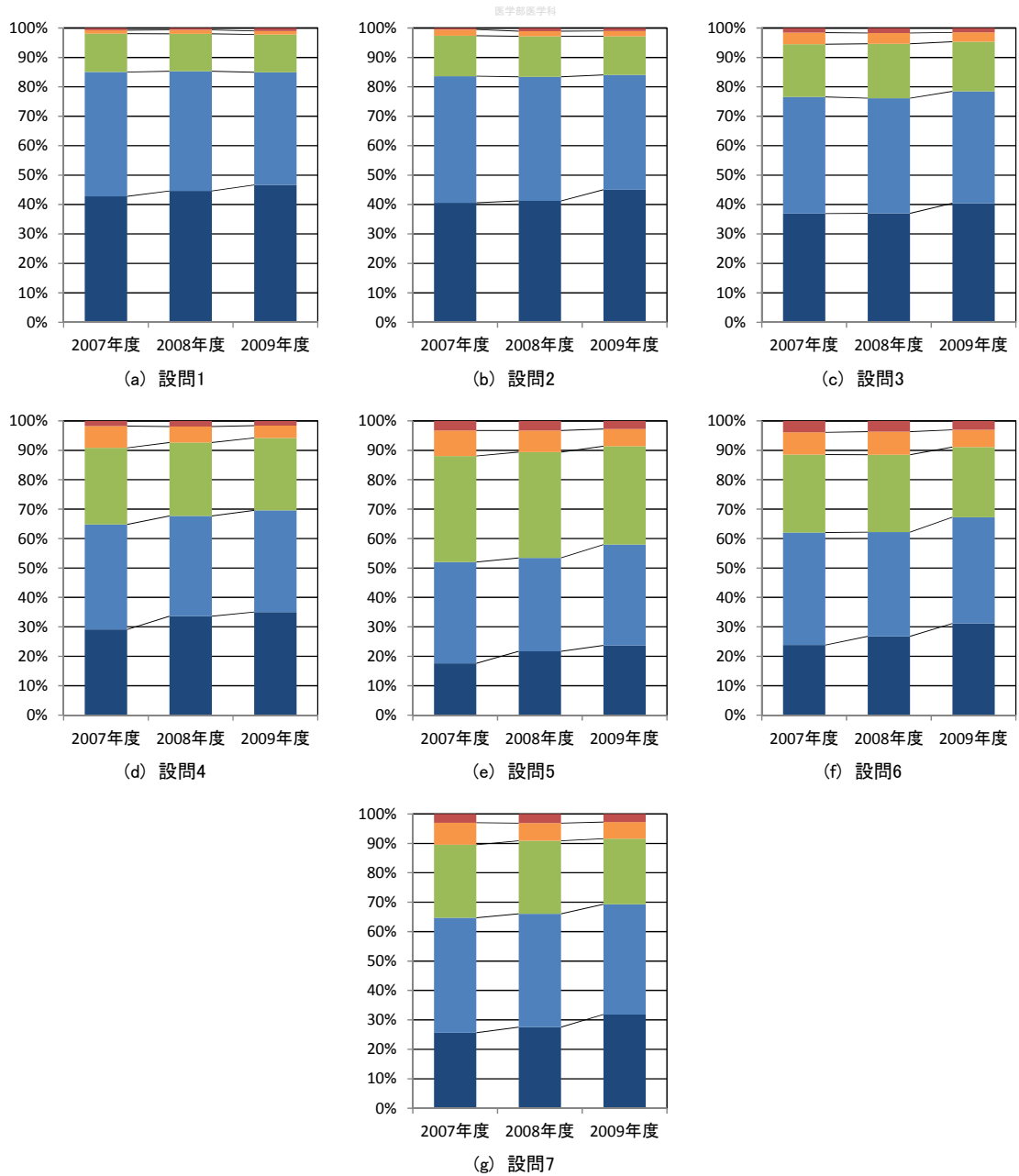
(3) グラフ



5 そう思う 4 どちらかといえばそう思う 3 どちらともいえない 2 どちらかといえばそう思わない 1 そう思わない

図 5.6.1 医学部医学科

(4) 過去3年間の推移



5 そう思う 4 どちらかといえばそう思う 3 どちらともいえない 2 どちらかといえばそう思わない 1 そう思わない

図 5.6.2 過去3年間の推移(医学部医学科)

5.7 歯学部

(1) 共通項目

設問1: シラバスは、授業の目標や計画及び評価方法を適切に示していた。

設問2: 授業は目的達成のため計画的に進められた。

設問3: 授業担当者の教え方は適切だった。

設問4: 授業担当者は、学生が質問や相談をしやすい環境・雰囲気作りを行った。

設問5: 自分は、シラバスに記載された授業目標を達成することができた。

設問6: 自分は、この授業によって学習意欲が喚起された。

設問7: 総合的にみて、この授業は自分にとって満足できるものであった。

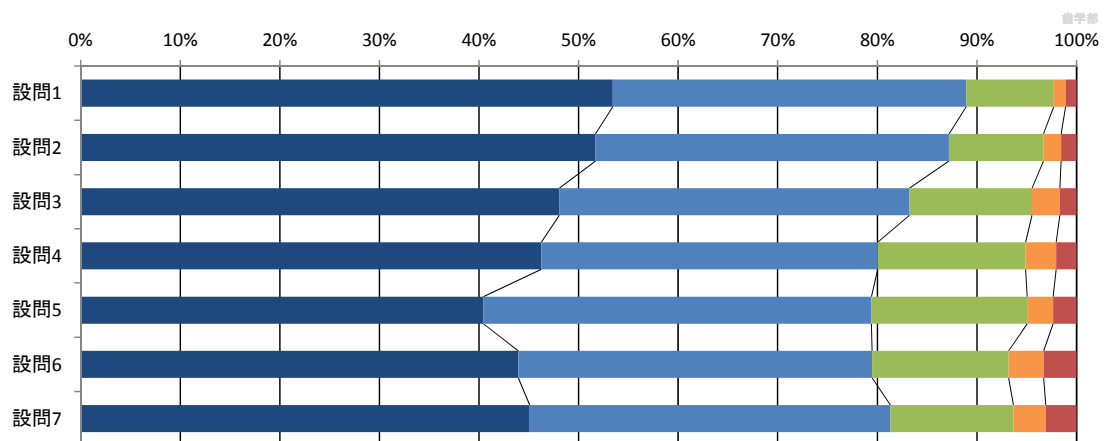
(2) 集計表

表 5.7.1 歯学部

	5	4	3	2	1	n
設問1	1,318 53.4%	875 35.5%	217 8.8%	29 1.2%	27 1.1%	2,466 100.0%
設問2	1,275 51.7%	876 35.5%	234 9.5%	44 1.8%	38 1.5%	2,467 100.0%
設問3	1,185 48.1%	867 35.2%	303 12.3%	69 2.8%	41 1.7%	2,465 100.0%
設問4	1,140 46.2%	833 33.8%	366 14.8%	76 3.1%	50 2.0%	2,465 100.0%
設問5	997 40.4%	960 38.9%	386 15.7%	64 2.6%	58 2.4%	2,465 100.0%
設問6	1,084 44.0%	876 35.5%	338 13.7%	87 3.5%	81 3.3%	2,466 100.0%
設問7	1,111 45.1%	893 36.2%	304 12.3%	80 3.2%	76 3.1%	2,464 100.0%

5 そう思う 4 どちらかといえばそう思う 3 どちらともいえない 2 どちらかといえばそう思わない 1 そう思わない

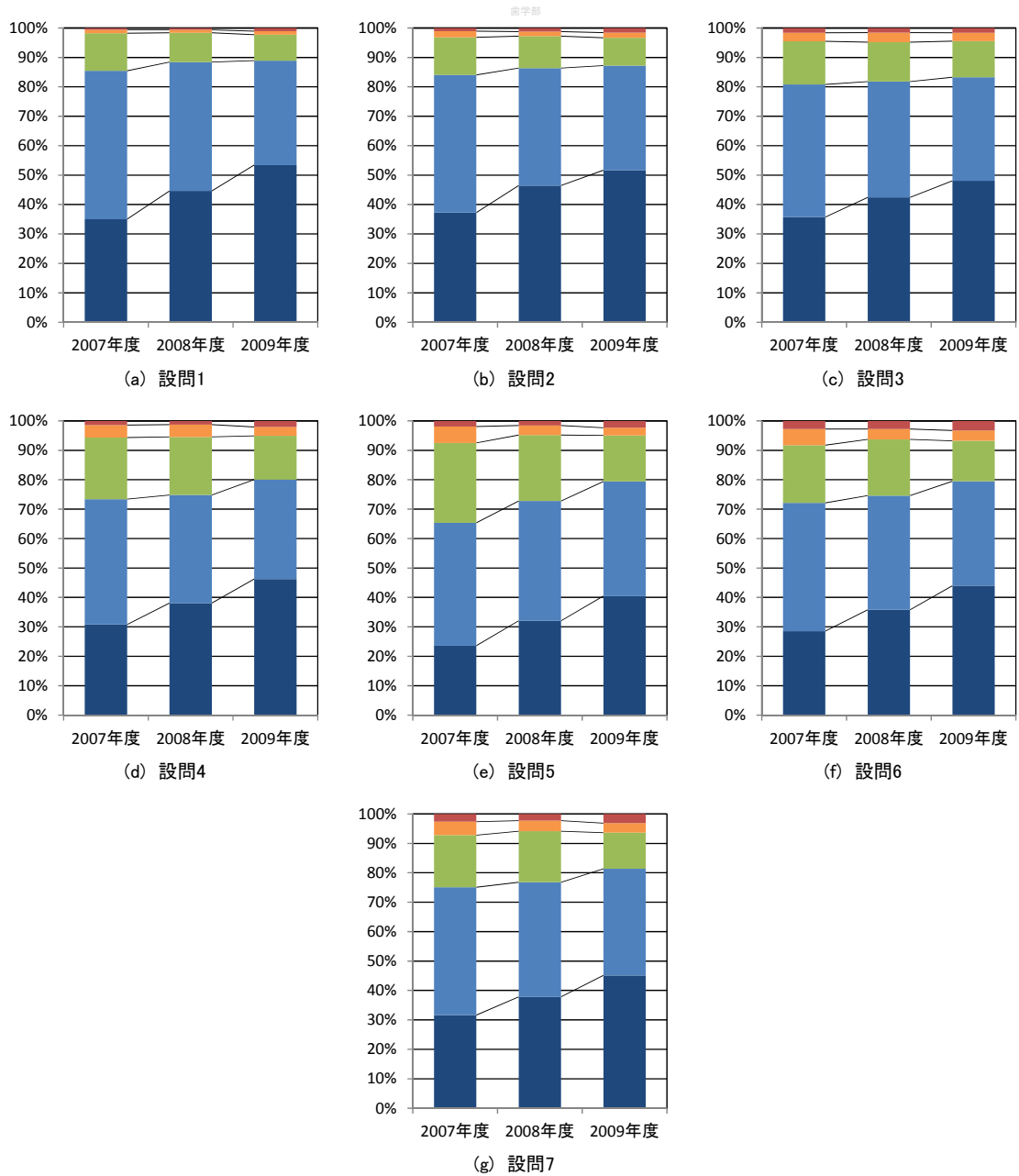
(3) グラフ



5 そう思う 4 どちらかといえばそう思う 3 どちらともいえない 2 どちらかといえばそう思わない 1 そう思わない

図 5.7.1 歯学部

(4) 過去3年間の推移



5 そう思う 4 どちらかといえばそう思う 3 どちらともいえない 2 どちらかといえばそう思わない 1 そう思わない

図 5.7.2 過去3年間の推移(歯学部)

5.8 薬学部

(1) 共通項目

設問1: シラバスは、授業の目標や計画及び評価方法を適切に示していた。

設問2: 授業は目的達成のため計画的に進められた。

設問3: 授業担当者の教え方は適切だった。

設問4: 授業担当者は、学生が質問や相談をしやすい環境・雰囲気作りを行った。

設問5: 自分は、シラバスに記載された授業目標を達成することができた。

設問6: 自分は、この授業によって学習意欲が喚起された。

設問7: 総合的にみて、この授業は自分にとって満足できるものであった。

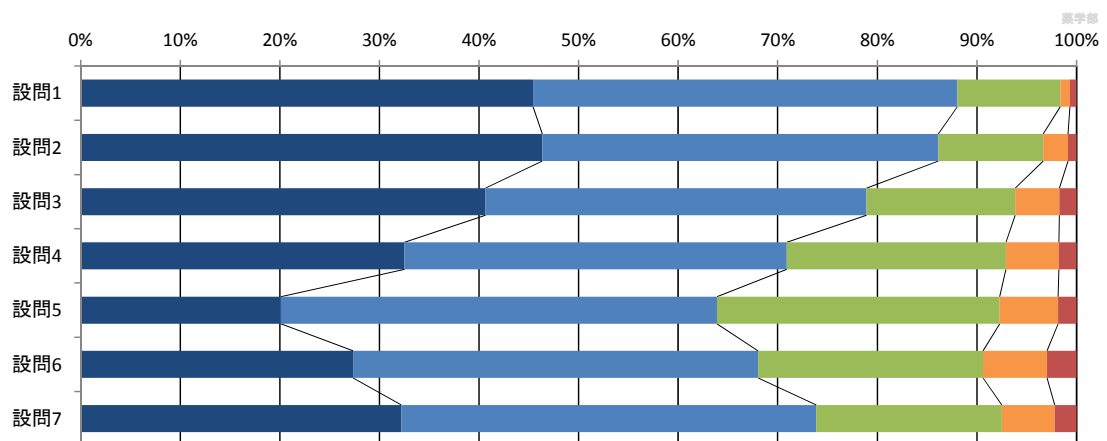
(2) 集計表

表 5.8.1 薬学部

	5	4	3	2	1	n
設問1	1,850 45.4%	1,735 42.6%	421 10.3%	39 1.0%	27 0.7%	4,072 100.0%
設問2	1,887 46.4%	1,619 39.8%	429 10.5%	102 2.5%	34 0.8%	4,071 100.0%
設問3	1,654 40.7%	1,556 38.2%	607 14.9%	181 4.4%	70 1.7%	4,068 100.0%
設問4	1,324 32.5%	1,562 38.4%	896 22.0%	216 5.3%	72 1.8%	4,070 100.0%
設問5	818 20.1%	1,783 43.8%	1,155 28.4%	239 5.9%	75 1.8%	4,070 100.0%
設問6	1,114 27.4%	1,655 40.7%	920 22.6%	262 6.4%	120 2.9%	4,071 100.0%
設問7	1,311 32.2%	1,696 41.7%	759 18.6%	216 5.3%	89 2.2%	4,071 100.0%

5 そう思う 4 どちらかといえばそう思う 3 どちらともいえない 2 どちらかといえばそう思わない 1 そう思わない

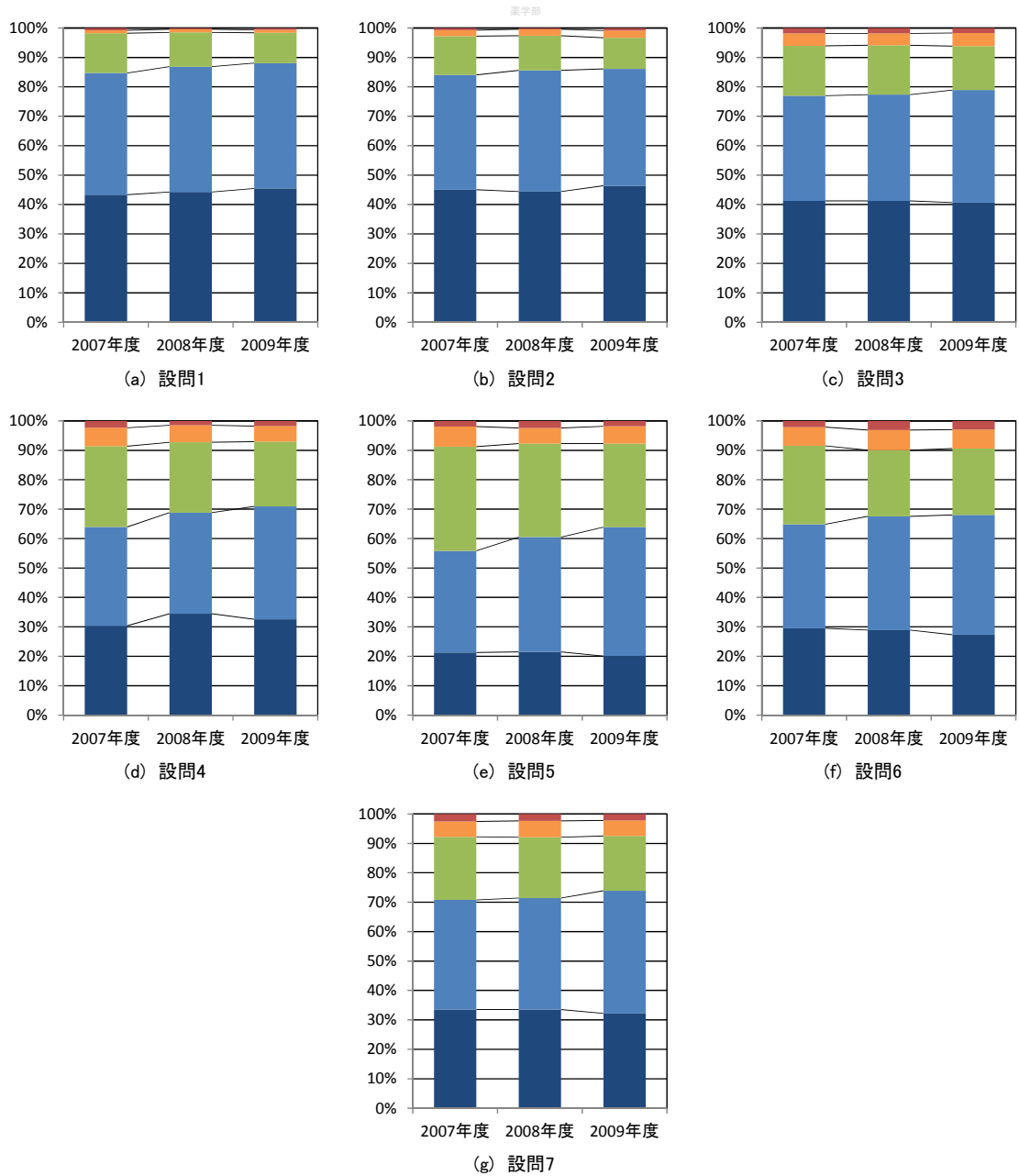
(3) グラフ



5 そう思う 4 どちらかといえばそう思う 3 どちらともいえない 2 どちらかといえばそう思わない 1 そう思わない

図 5.8.1 薬学部

(4) 過去3年間の推移



5 そう思う 4 どちらかといえばそう思う 3 どちらともいえない 2 どちらかといえばそう思わない 1 そう思わない

図 5.8.2 過去3年間の推移(薬学部)

5.9 工学部

(1) 共通項目

設問1: シラバスは、授業の目標や計画及び評価方法を適切に示していた。

設問2: 授業は目的達成のため計画的に進められた。

設問3: 授業担当者の教え方は適切だった。

設問4: 授業担当者は、学生が質問や相談をしやすい環境・雰囲気作りを行った。

設問5: 自分は、シラバスに記載された授業目標を達成することができた。

設問6: 自分は、この授業によって学習意欲が喚起された。

設問7: 総合的にみて、この授業は自分にとって満足できるものであった。

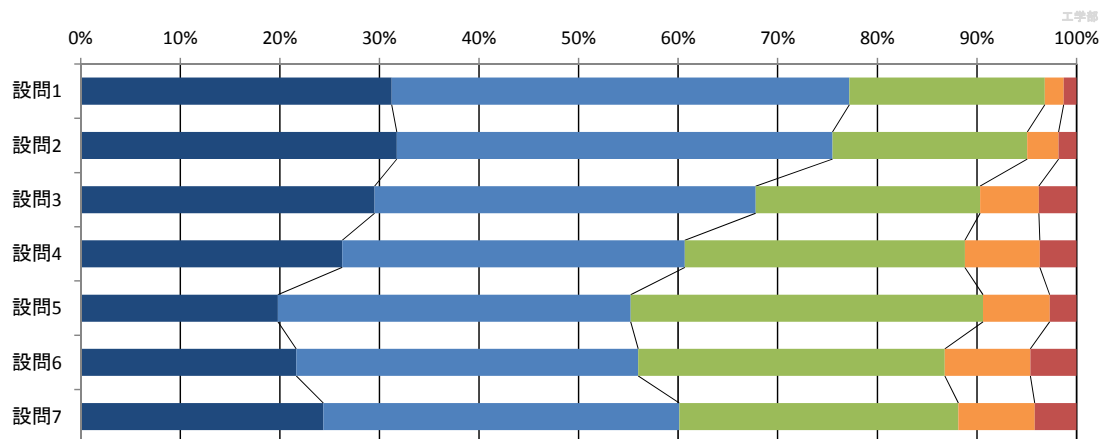
(2) 集計表

表 5.9.1 工学部

	5	4	3	2	1	n
設問1	4,995 31.2%	7,349 46.0%	3,140 19.6%	305 1.9%	204 1.3%	15,993 100.0%
設問2	5,076 31.7%	6,999 43.8%	3,125 19.5%	507 3.2%	285 1.8%	15,992 100.0%
設問3	4,718 29.5%	6,117 38.3%	3,603 22.5%	941 5.9%	605 3.8%	15,984 100.0%
設問4	4,199 26.3%	5,499 34.4%	4,493 28.1%	1,203 7.5%	588 3.7%	15,982 100.0%
設問5	3,166 19.8%	5,665 35.4%	5,656 35.4%	1,071 6.7%	429 2.7%	15,987 100.0%
設問6	3,462 21.7%	5,486 34.3%	4,921 30.8%	1,373 8.6%	740 4.6%	15,982 100.0%
設問7	3,897 24.4%	5,711 35.7%	4,478 28.0%	1,227 7.7%	670 4.2%	15,983 100.0%

5 そう思う 4 どちらかといえばそう思う 3 どちらともいえない 2 どちらかといえばそう思わない 1 そう思わない

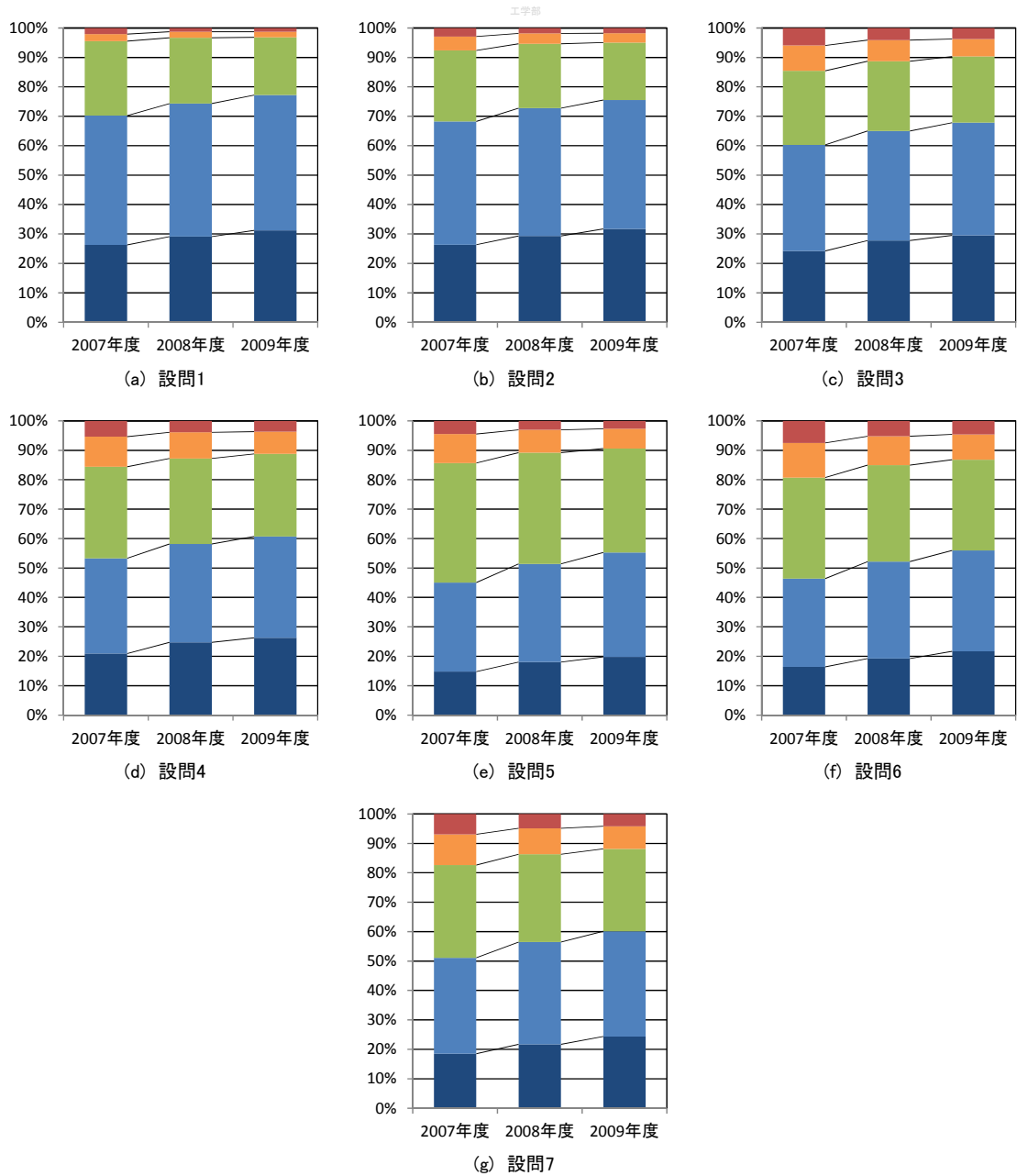
(3) グラフ



5 そう思う 4 どちらかといえばそう思う 3 どちらともいえない 2 どちらかといえばそう思わない 1 そう思わない

図 5.9.1 工学部

(4) 過去3年間の推移



5 そう思う 4 どちらかといえばそう思う 3 どちらともいえない 2 どちらかといえばそう思わない 1 そう思わない

図 5.9.2 過去3年間の推移(工学部)

5.10 環境科学部

(1) 共通項目

設問1: シラバスは、授業の目標や計画及び評価方法を適切に示していた。

設問2: 授業は目的達成のため計画的に進められた。

設問3: 授業担当者の教え方は適切だった。

設問4: 授業担当者は、学生が質問や相談をしやすい環境・雰囲気作りを行った。

設問5: 自分は、シラバスに記載された授業目標を達成することができた。

設問6: 自分は、この授業によって学習意欲が喚起された。

設問7: 総合的にみて、この授業は自分にとって満足できるものであった。

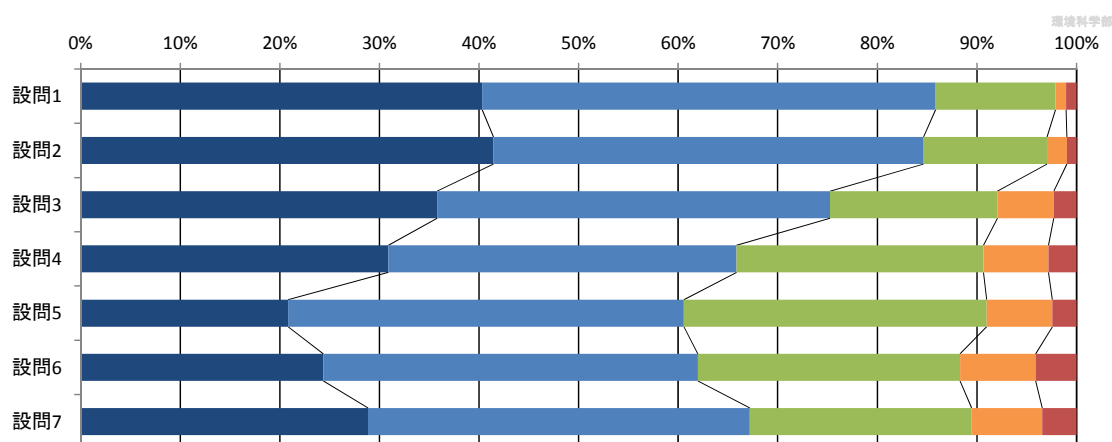
(2) 集計表

表 5.10.1 環境科学部

	5	4	3	2	1	n
設問1	2,079 40.3%	2,348 45.5%	620 12.0%	55 1.1%	54 1.0%	5,156 100.0%
設問2	2,137 41.5%	2,226 43.2%	639 12.4%	103 2.0%	50 1.0%	5,155 100.0%
設問3	1,845 35.8%	2,034 39.5%	866 16.8%	291 5.6%	118 2.3%	5,154 100.0%
設問4	1,593 30.9%	1,801 34.9%	1,279 24.8%	336 6.5%	145 2.8%	5,154 100.0%
設問5	1,074 20.8%	2,050 39.7%	1,569 30.4%	340 6.6%	125 2.4%	5,158 100.0%
設問6	1,256 24.4%	1,938 37.6%	1,358 26.3%	391 7.6%	211 4.1%	5,154 100.0%
設問7	1,488 28.9%	1,976 38.3%	1,148 22.3%	364 7.1%	178 3.5%	5,154 100.0%

5 そう思う 4 どちらかといえばそう思う 3 どちらともいえない 2 どちらかといえばそう思わない 1 そう思わない

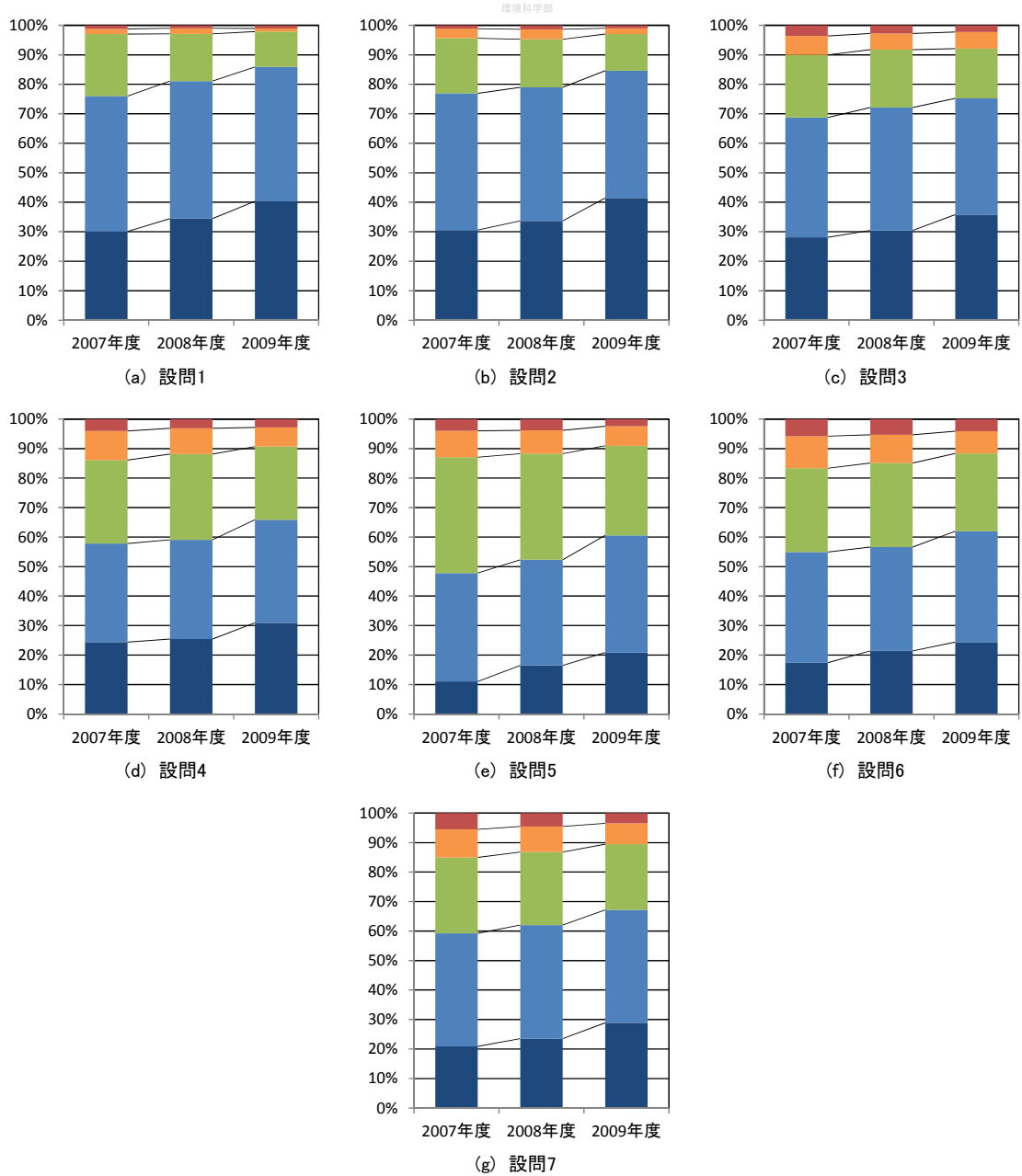
(3) グラフ



5 そう思う 4 どちらかといえばそう思う 3 どちらともいえない 2 どちらかといえばそう思わない 1 そう思わない

図 5.10.1 環境科学部

(4) 過去3年間の推移



5 ■ そう思う 4 ■ どちらかといえばそう思う 3 ■ どちらともいえない 2 ■ どちらかといえばそう思わない 1 ■ そう思わない

図 5.10.2 過去3年間の推移(環境科学部)

5.11 水産学部

(1) 共通項目

設問1: シラバスは、授業の目標や計画及び評価方法を適切に示していた。

設問2: 授業は目的達成のため計画的に進められた。

設問3: 授業担当者の教え方は適切だった。

設問4: 授業担当者は、学生が質問や相談をしやすい環境・雰囲気作りを行った。

設問5: 自分は、シラバスに記載された授業目標を達成することができた。

設問6: 自分は、この授業によって学習意欲が喚起された。

設問7: 総合的にみて、この授業は自分にとって満足できるものであった。

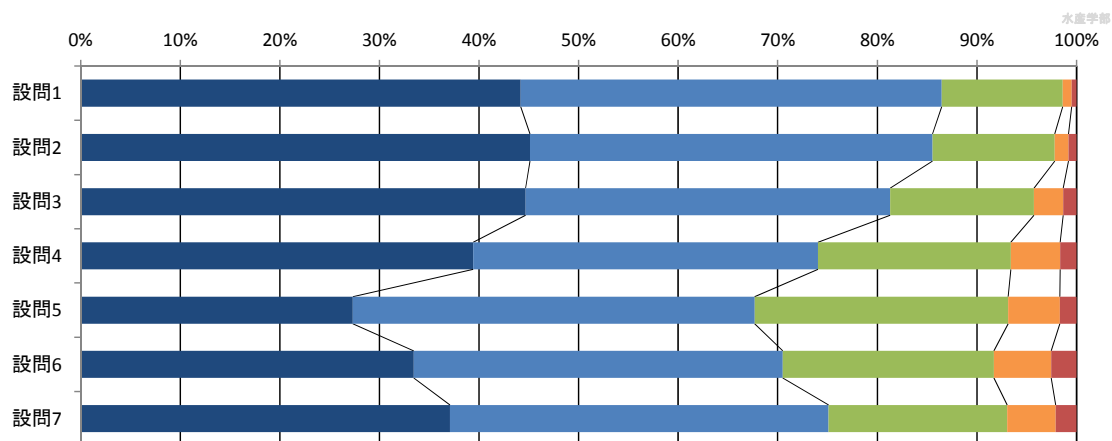
(2) 集計表

表 5.11.1 水産学部

	5	4	3	2	1	n
設問1	2,477 44.2%	2,369 42.3%	681 12.2%	50 0.9%	27 0.5%	5,604 100.0%
設問2	2,526 45.1%	2,265 40.4%	687 12.3%	78 1.4%	44 0.8%	5,600 100.0%
設問3	2,502 44.7%	2,052 36.6%	808 14.4%	164 2.9%	75 1.3%	5,601 100.0%
設問4	2,207 39.4%	1,938 34.6%	1,084 19.4%	277 4.9%	92 1.6%	5,598 100.0%
設問5	1,531 27.3%	2,259 40.3%	1,426 25.5%	291 5.2%	93 1.7%	5,600 100.0%
設問6	1,873 33.4%	2,076 37.1%	1,188 21.2%	321 5.7%	143 2.6%	5,601 100.0%
設問7	2,075 37.1%	2,127 38.0%	1,003 17.9%	273 4.9%	117 2.1%	5,595 100.0%

5 そう思う 4 どちらかといえばそう思う 3 どちらともいえない 2 どちらかといえばそう思わない 1 そう思わない

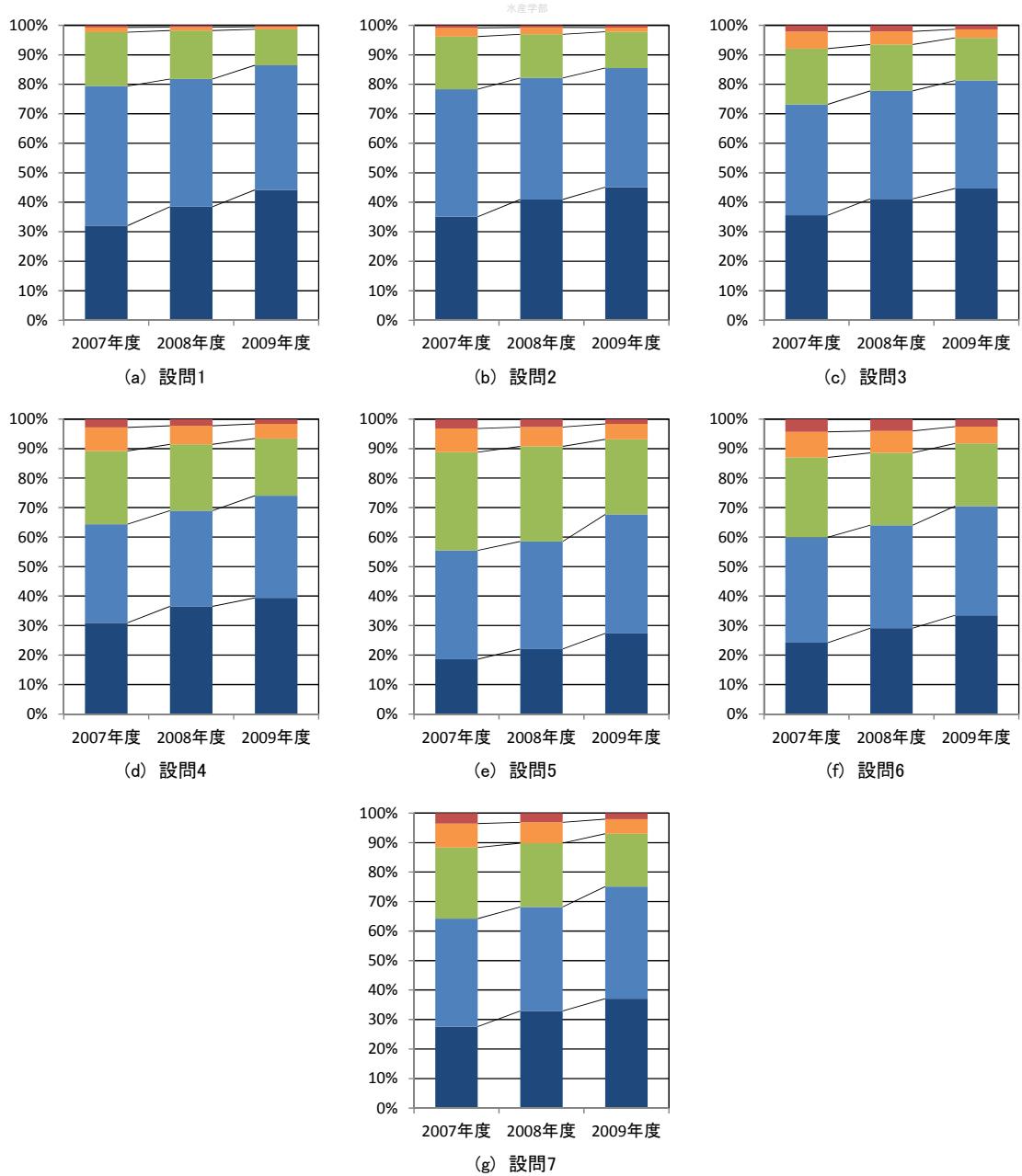
(3) グラフ



5 そう思う 4 どちらかといえばそう思う 3 どちらともいえない 2 どちらかといえばそう思わない 1 そう思わない

図 5.11.1 水産学部

(4) 過去3年間の推移



5 そう思う
 4 どちらかといえばそう思う
 3 どちらともいえない
 2 どちらかといえばそう思わない
 1 そう思わない

図 5.11.2 過去3年間の推移(水産学部)

5.12 医学部保健学科

(1) 共通項目

- 設問1: シラバスは、授業の目標や計画及び評価方法を適切に示していた。
 設問2: 授業は目的達成のため計画的に進められた。
 設問3: 授業担当者の教え方は適切だった。
 設問4: 授業担当者は、学生が質問や相談をしやすい環境・雰囲気作りを行った。
 設問5: 自分は、シラバスに記載された授業目標を達成することができた。
 設問6: 自分は、この授業によって学習意欲が喚起された。
 設問7: 総合的にみて、この授業は自分にとって満足できるものであった。

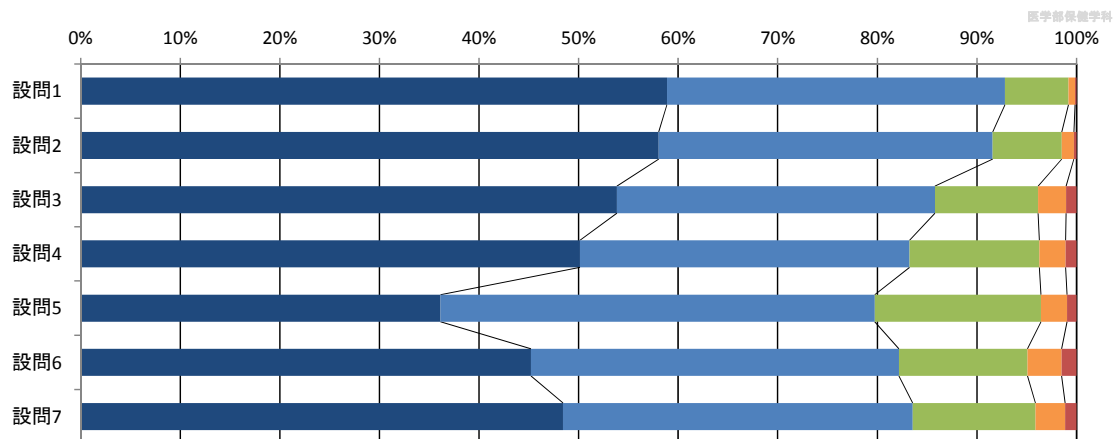
(2) 集計表

表 5.12.1 医学部保健学科

	5	4	3	2	1	n
設問1	3,586 58.9%	2,067 33.9%	388 6.4%	40 0.7%	9 0.1%	6,090 100.0%
設問2	3,535 58.0%	2,043 33.5%	422 6.9%	74 1.2%	16 0.3%	6,090 100.0%
設問3	3,279 53.9%	1,945 31.9%	630 10.3%	172 2.8%	63 1.0%	6,089 100.0%
設問4	3,052 50.1%	2,015 33.1%	793 13.0%	162 2.7%	66 1.1%	6,088 100.0%
設問5	2,199 36.1%	2,654 43.6%	1,016 16.7%	160 2.6%	57 0.9%	6,086 100.0%
設問6	2,750 45.2%	2,246 36.9%	785 12.9%	209 3.4%	91 1.5%	6,081 100.0%
設問7	2,945 48.4%	2,134 35.1%	750 12.3%	181 3.0%	69 1.1%	6,079 100.0%

5 そう思う 4 どちらかといえばそう思う 3 どちらともいえない 2 どちらかといえばそう思わない 1 そう思わない

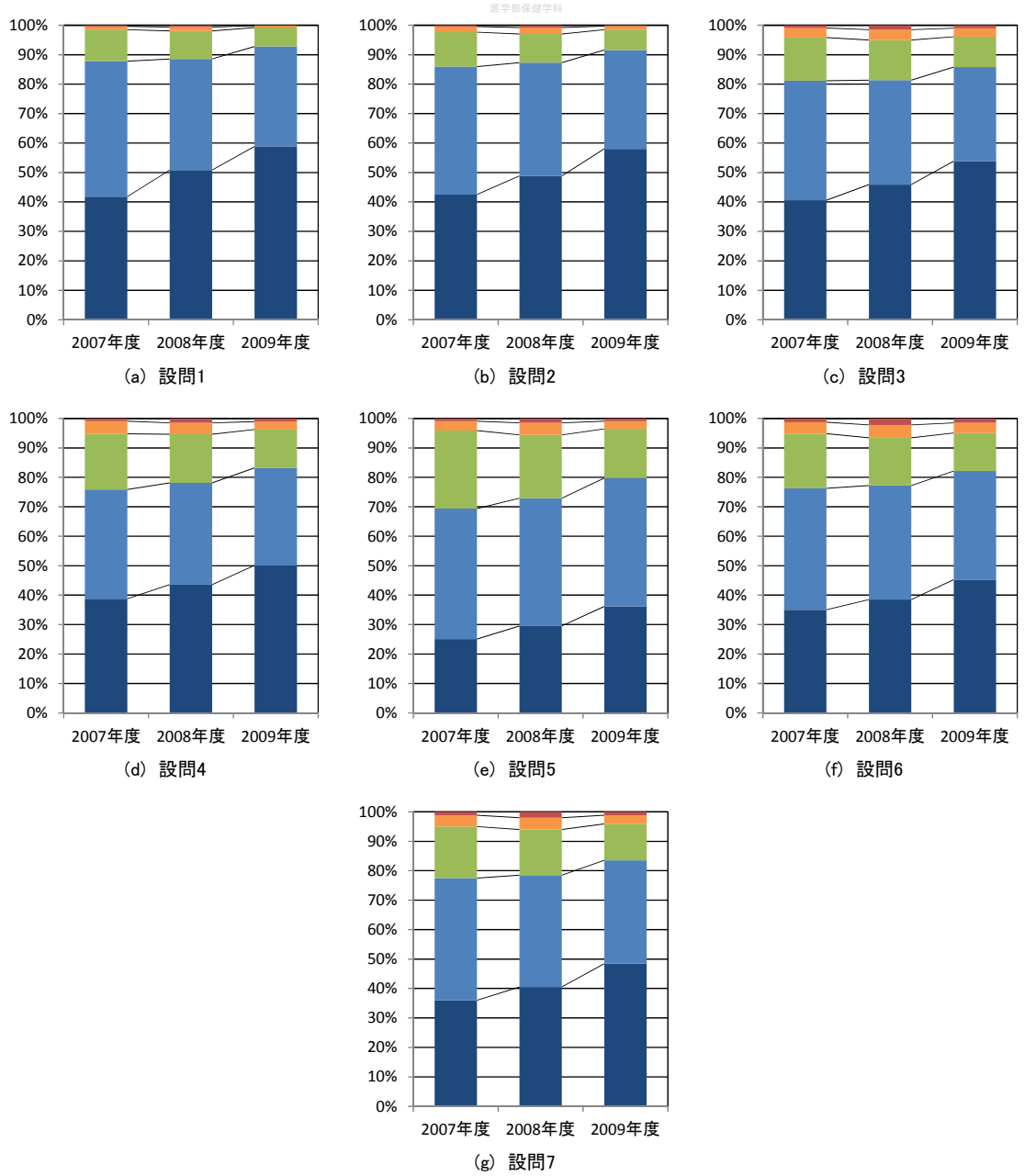
(3) グラフ



5 そう思う 4 どちらかといえばそう思う 3 どちらともいえない 2 どちらかといえばそう思わない 1 そう思わない

図 5.12.1 医学部保健学科

(4) 過去3年間の推移



5 ■ そう思う 4 ■ どちらかといえばそう思う 3 ■ どちらともいえない 2 ■ どちらかといえばそう思わない 1 ■ そう思わない

図 5.12.2 過去3年間の推移(医学部保健学科)